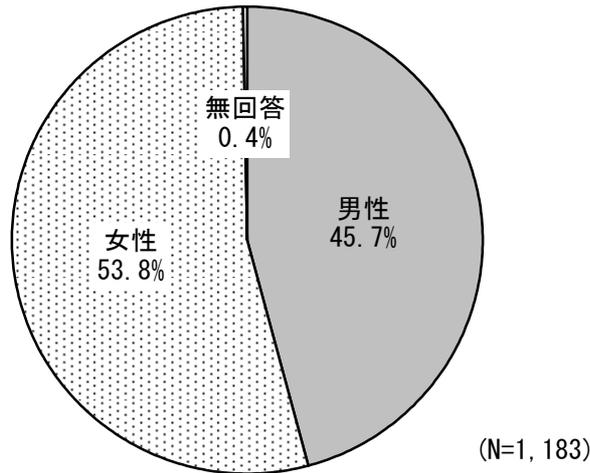


## II 調査結果

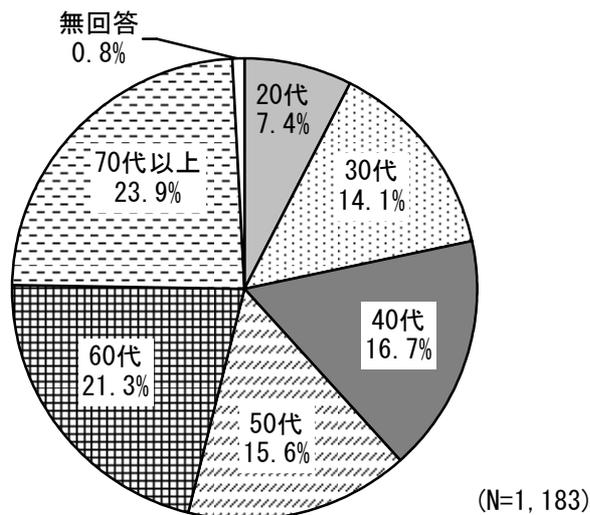
### 1 回答者の属性

#### F 1 性別



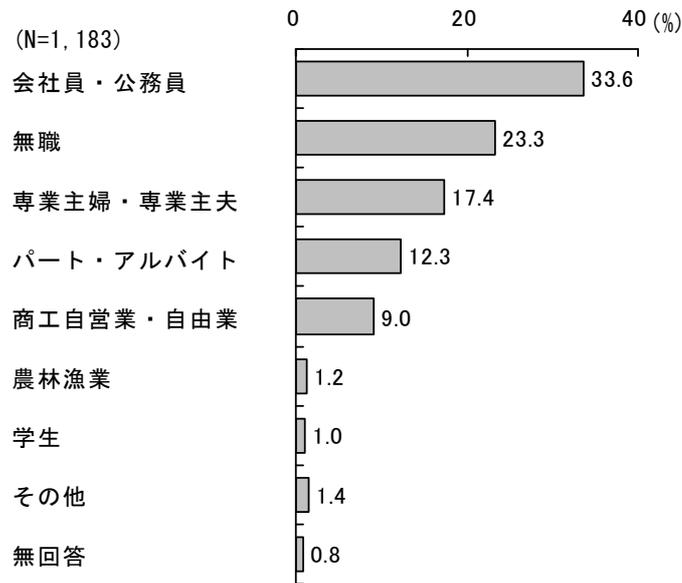
性別は、「女性」(53.8%)が、「男性」(45.7%)より多くなっている。

#### F 2 年齢



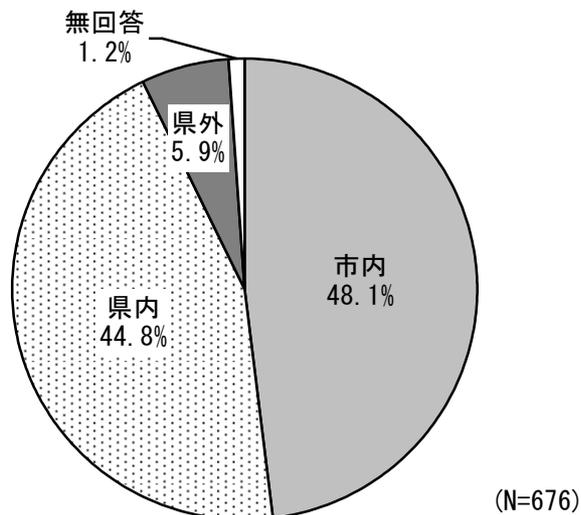
年齢は、「70代以上」(23.9%)が最も多く、次いで「60代」(21.3%)、「40代」(16.7%)、「50代」(15.6%)などとなっている。

F 3 職業



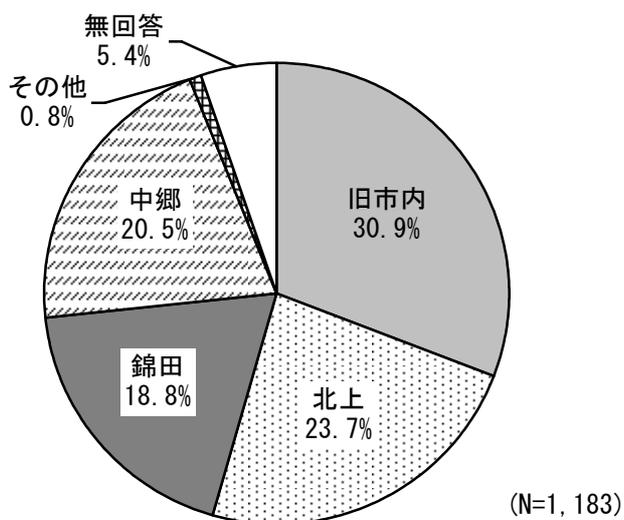
職業は、「会社員・公務員」(33.6%)が最も多く、次いで「無職」(23.3%)、「専業主婦・専業主夫」(17.4%)などとなっている。

F 4 職場（通学先）の所在地



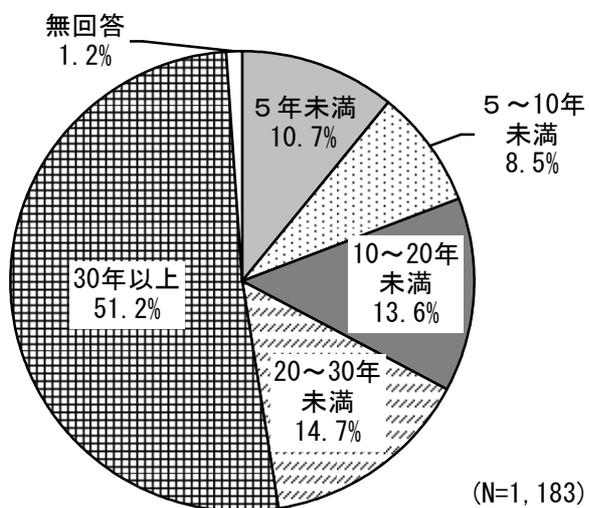
職場（通学先）の所在地は、「市内」(48.1%)が最も多く、次いで「県内」(44.8%)、「県外」(5.9%)となっている。「県内」、「県外」を合わせた“三島市外”は50.7%となっている。

## F 5 居住地区



居住地区は、「旧市内」(30.9%)が最も多く、次いで「北上」(23.7%)、「中郷」(20.5%)、「錦田」(18.8%)となっている。

## F 6 三島市在住歴

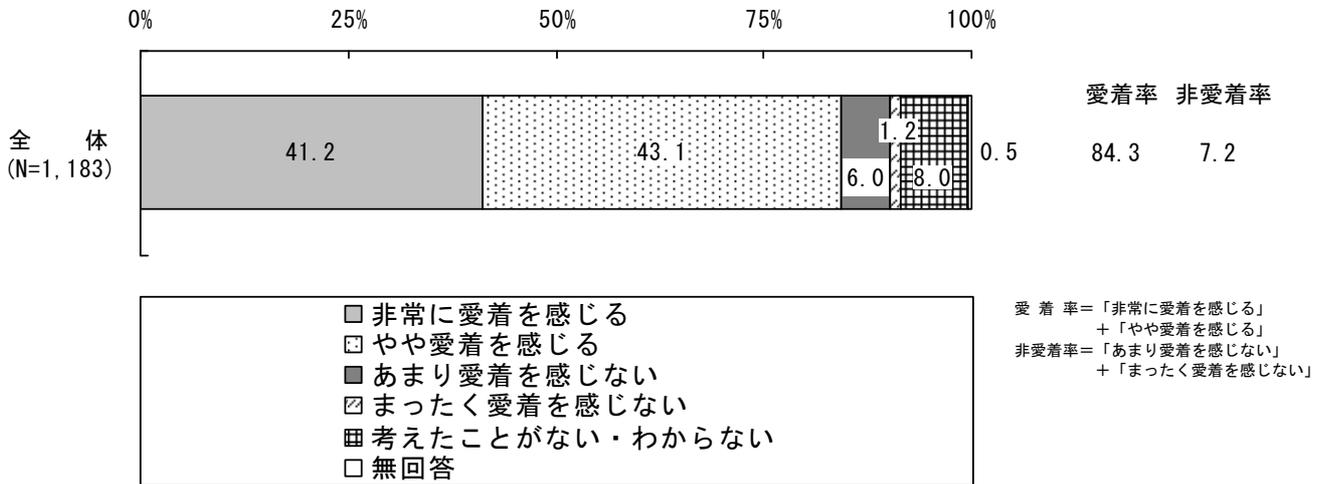


三島市在住歴は、「30年以上」(51.2%)が最も多く、次いで「20~30年未満」(14.7%)、「10~20年未満」(13.6%)、「5年未満」(10.7%)、「5~10年未満」(8.5%)となっている。

## 2 『居住環境』について

### 1) 三島市への愛着度

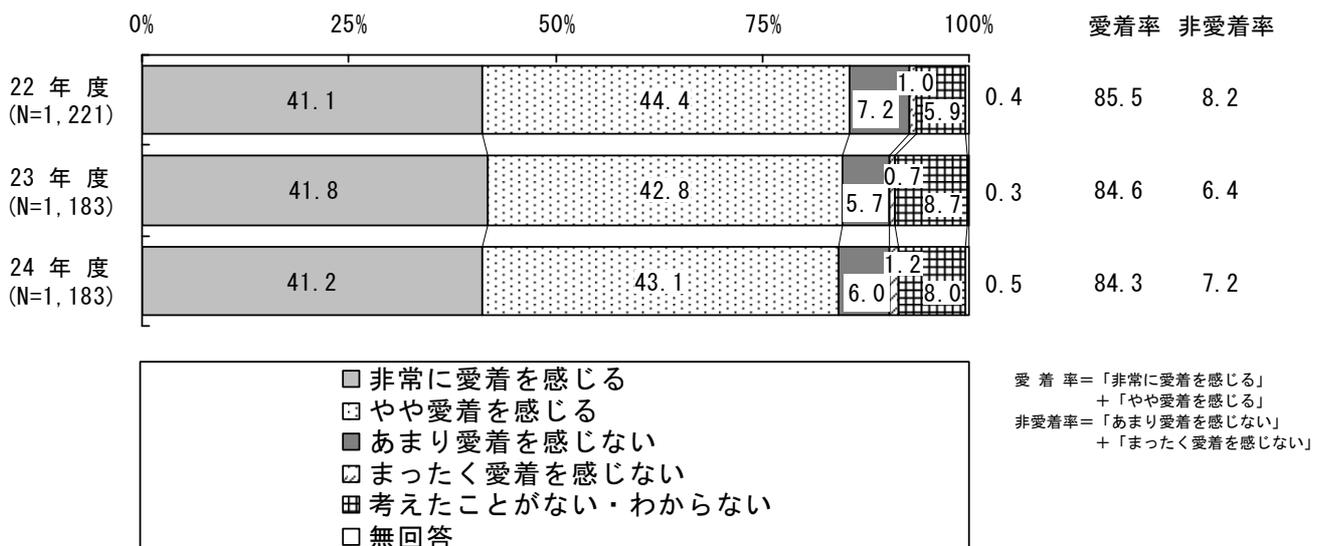
問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(〇はひとつ)



**\*\*\* 三島市への“愛着率”は 84.3% \*\*\***

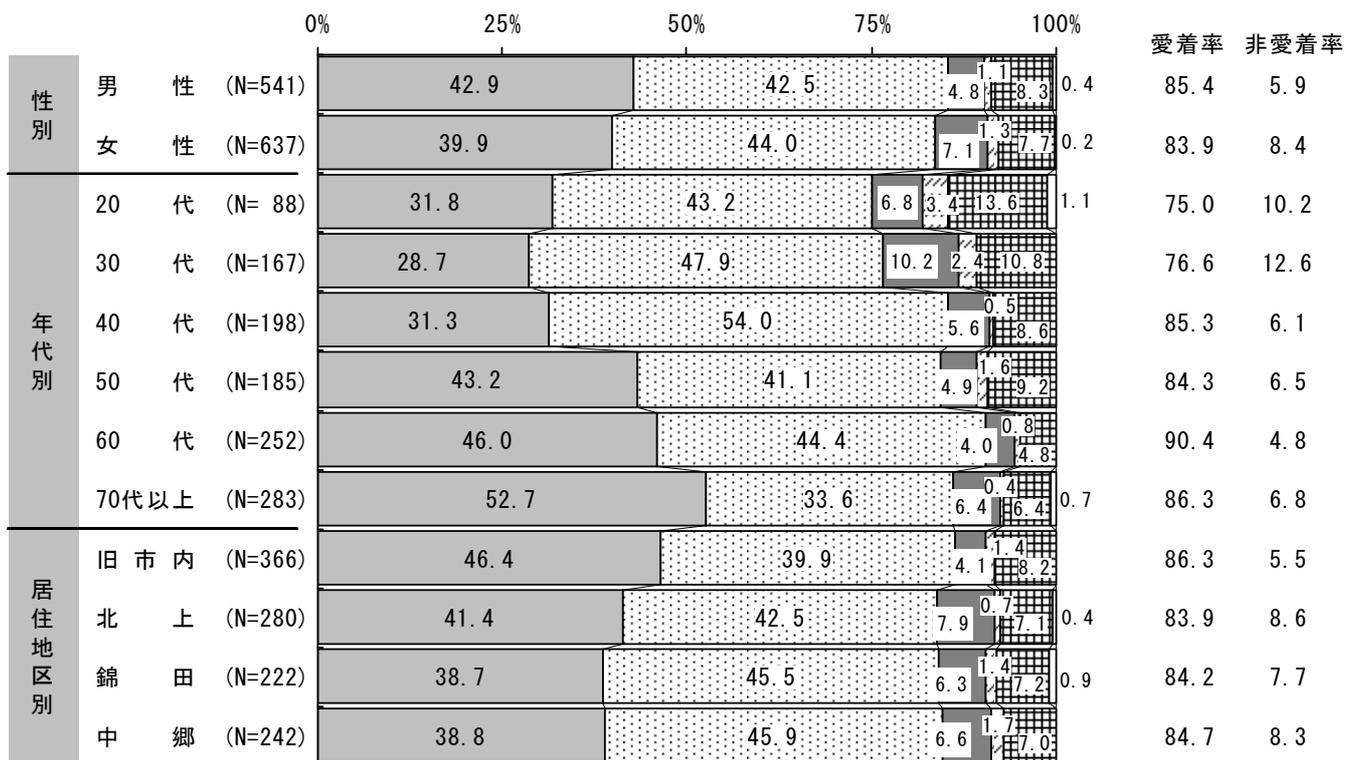
三島市への愛着度について聞いたところ、「非常に愛着を感じる」(41.2%)、「やや愛着を感じる」(43.1%)を合わせた“愛着率”は84.3%となっている。一方、「あまり愛着を感じない」(6.0%)、「まったく愛着を感じない」(1.2%)を合わせた“非愛着率”は7.2%となっている。

#### 【時系列比較】



時系列でみると、“愛着率”(84.3%)は、22年度調査(85.5%)や23年度調査(84.6%)と同様の傾向を示し、8割台半ばとなっている。

【属性別比較】



- 非常に愛着を感じる
- ▨ やや愛着を感じる
- あまり愛着を感じない
- ▩ まったく愛着を感じない
- 田 考えたことがない・わからない
- 無回答

愛着率 = 「非常に愛着を感じる」 + 「やや愛着を感じる」  
 非愛着率 = 「あまり愛着を感じない」 + 「まったく愛着を感じない」

性別

性別でみると、“愛着率”（男性 85.4%、女性 83.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも8割台半ばとなっている。

年代別

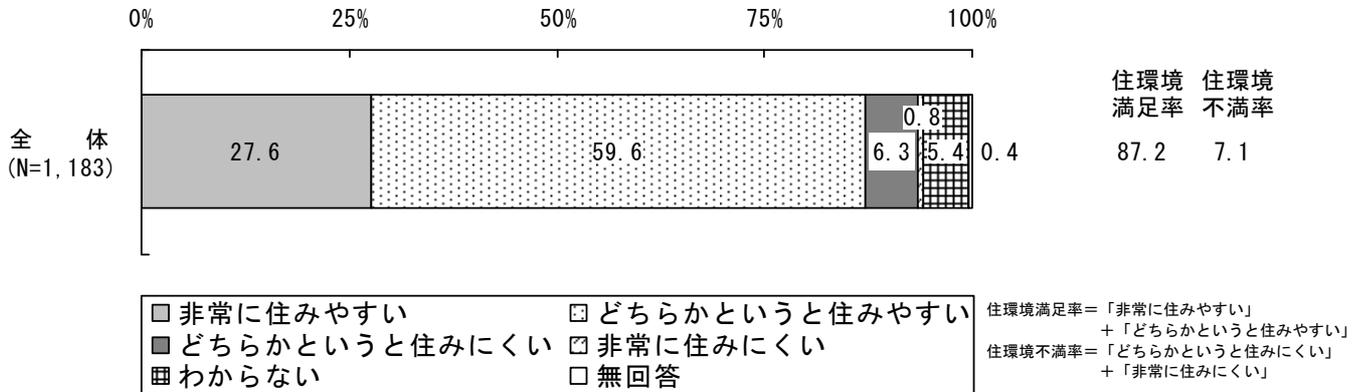
年代別でみると、“愛着率”は、60代（90.4%）が多く、70代以上（86.3%）、40代（85.3%）、50代（84.3%）で8割を超えている。「非常に愛着を感じる」は、30代以上で年代が上がるほど割合が多くなっており、70代以上（52.7%）では半数を超えている。

居住地区別

居住地区別でみると、“愛着率”は旧市内（86.3%）が多く、次いで中郷（84.7%）、錦田（84.2%）、北上（83.9%）と、いずれも8割を超えている。「非常に愛着を感じる」は、旧市内（46.4%）が多くなっている。

2) 三島市の住みやすさ

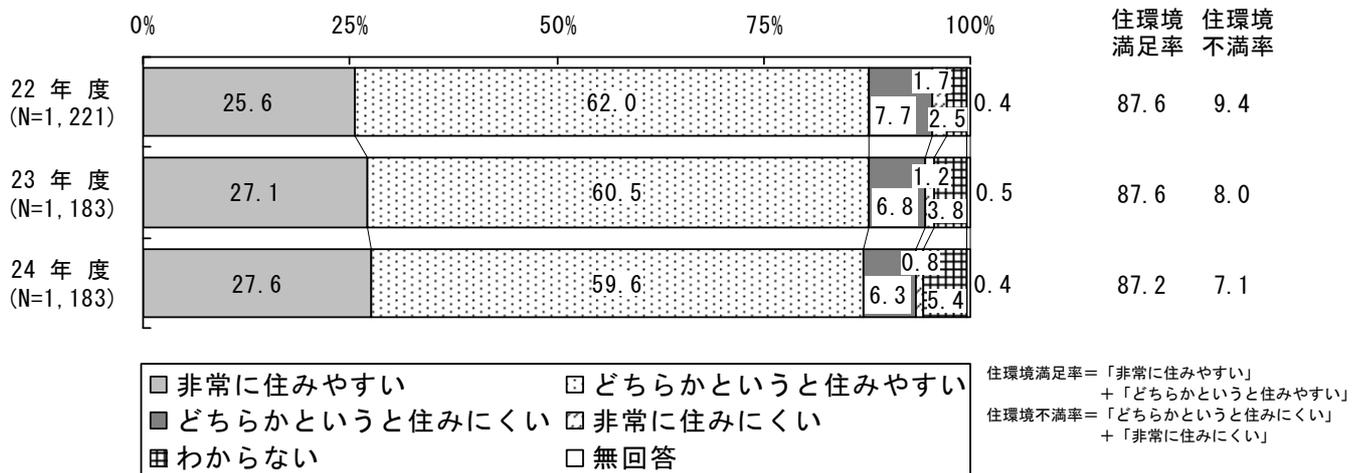
問2 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(〇はひとつ)



\*\*\* 三島市の“住環境満足率”は 87.2% \*\*\*

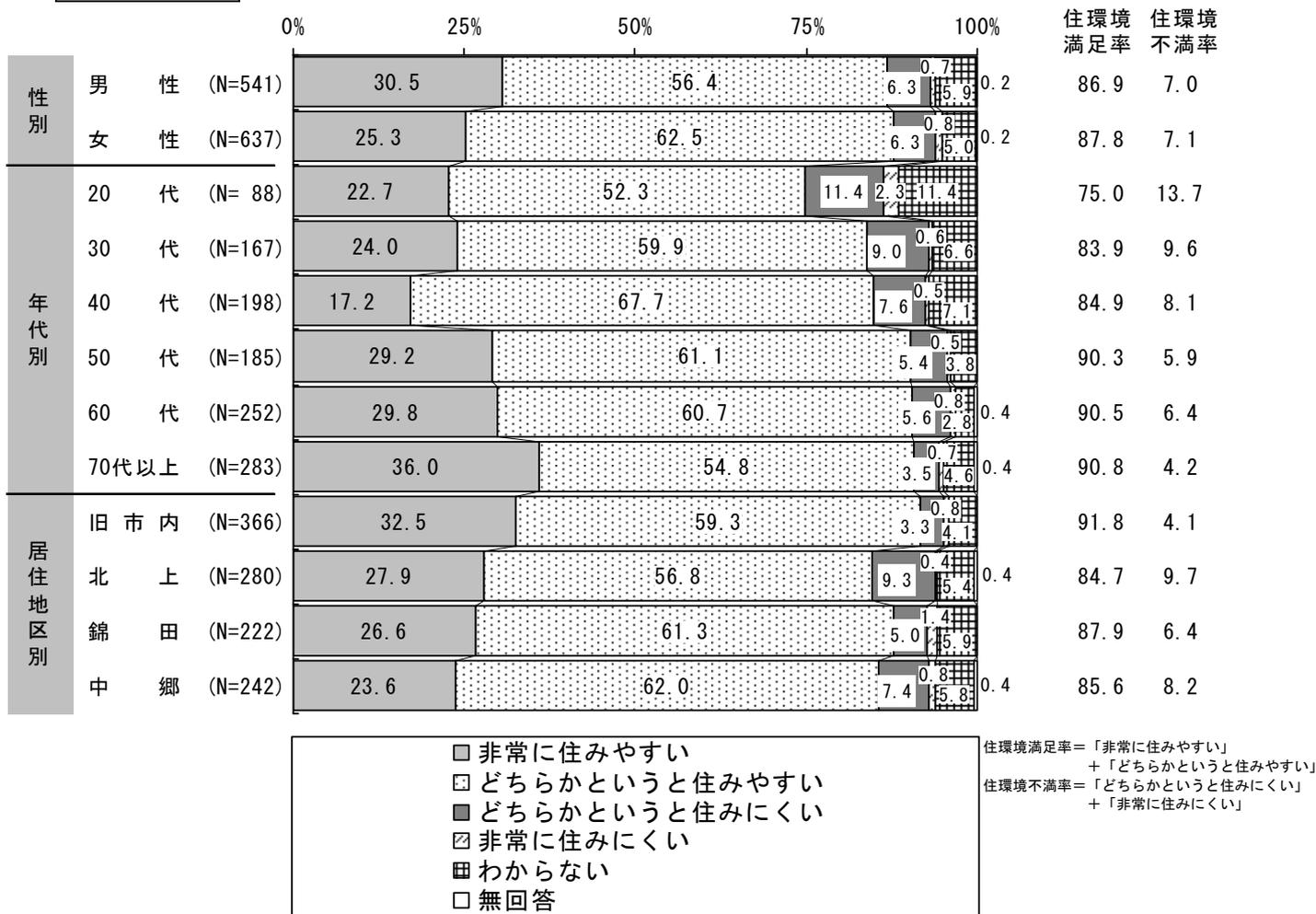
三島市の住みやすさについて聞いたところ、「非常に住みやすい」(27.6%)、「どちらかというに住みやすい」(59.6%)を合わせた“住環境満足率”は87.2%となっている。一方、「どちらかというに住みにくい」(6.3%)、「非常に住みにくい」(0.8%)を合わせた“住環境不満率”は7.1%となっている。

【時系列比較】



時系列でみると、“住環境満足率”(87.2%)は、22年度調査(87.6%)や23年度調査(87.6%)と同様の傾向を示し、約9割を占めている。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、“住環境満足率”（男性 86.9%、女性 87.8%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも8割台半ばとなっている。

**年代別**

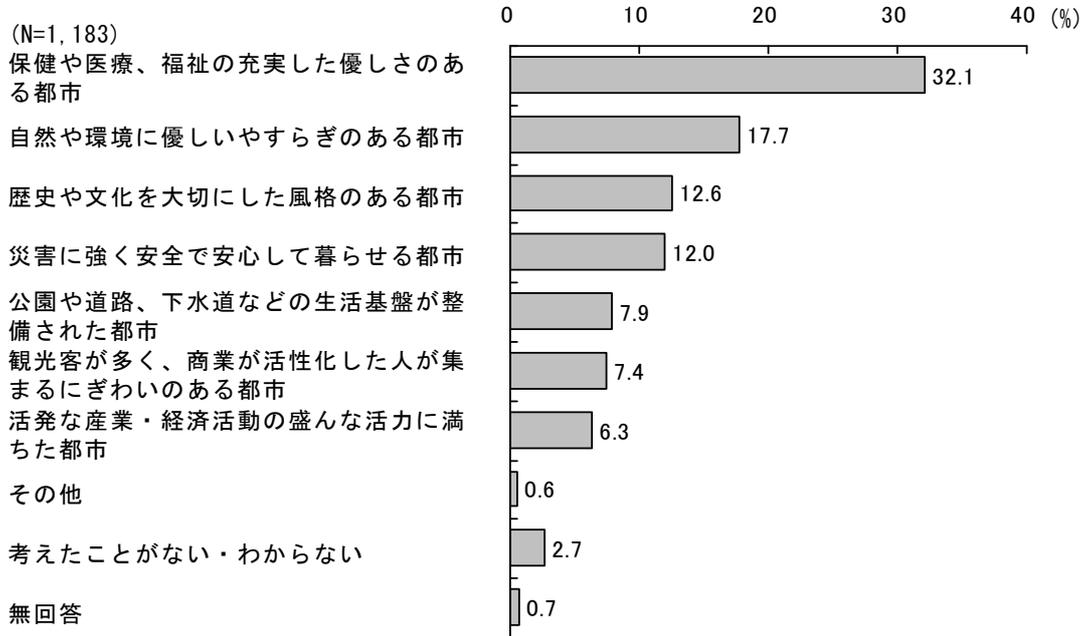
年代別でみると、“住環境満足率”は、70代以上（90.8%）、60代（90.5%）、50代（90.3%）で9割を占め、多くなっている。20代（75.0%）では7割半ばとなっている。また、「非常に住みやすい」は、70代以上（36.0%）が多く、40代（17.2%）が少なくなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、“住環境満足率”は、旧市内（91.8%）が多く、次いで錦田（87.9%）、中郷（85.6%）、北上（84.7%）となっている。

3) 三島市が将来どのような町になったらよいと思うか

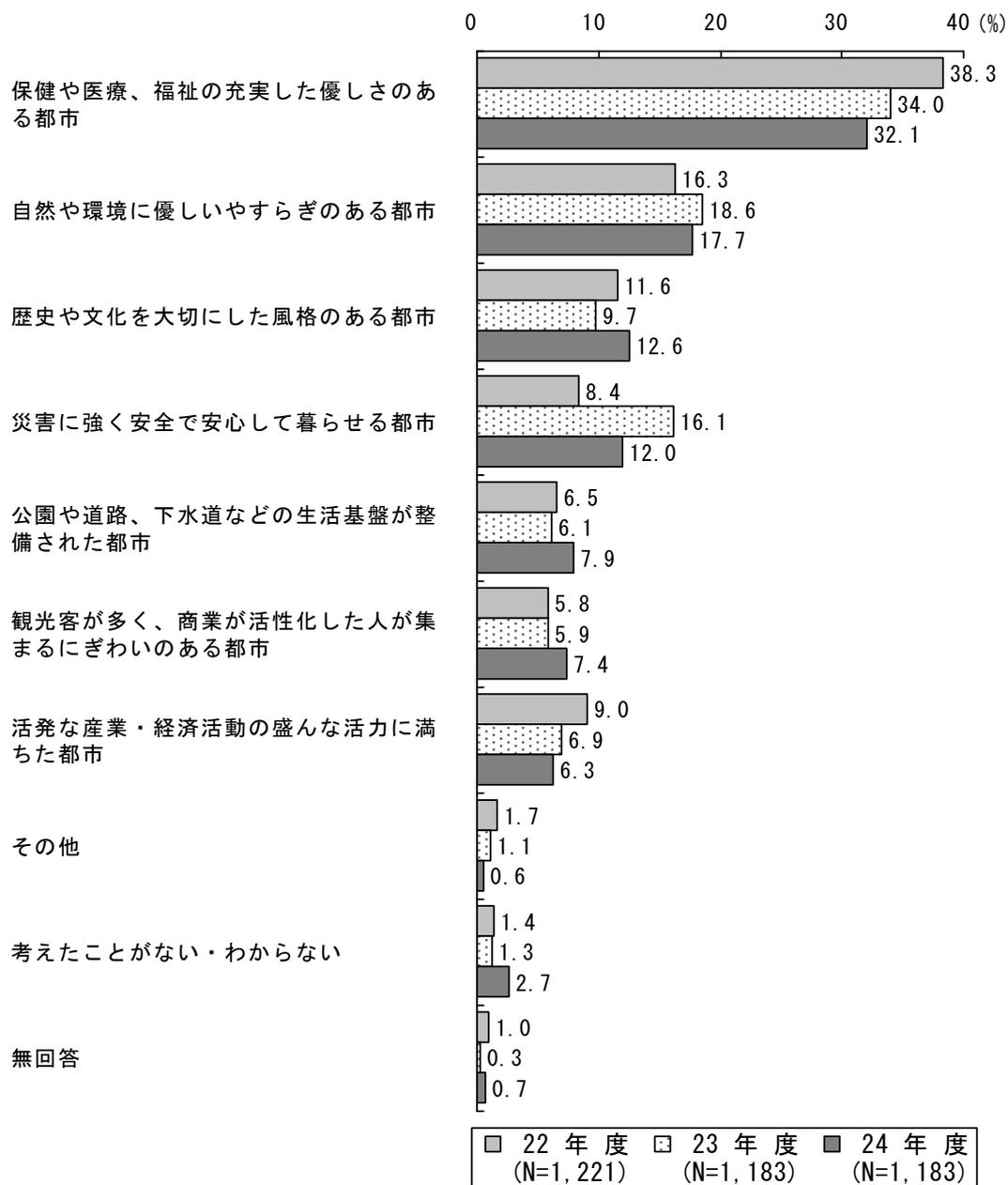
問3 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(○はひとつ)



**\*\*\* 将来の都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が 32.1% \*\*\***

三島市がどのような町になったらよいと思うかについて聞いたところ、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(32.1%)が最も多く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」(17.7%)、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」(12.6%)、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」(12.0%)などとなっている。

【時系列比較】



時系列で見ると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(32.1%)は、22年度調査(38.3%)以降微減傾向にある。また、「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」(12.6%)は、23年度調査(9.7%)に比べ多くなっており、「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」(12.0%)は、23年度調査(16.1%)に比べ少なくなっている。

【属性別比較】

単位：(%)

		調査数	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	歴史や文化を大切にした風格のある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	その他	考えたことがない・わからない	無回答
性別	男性	541	29.9	17.6	15.2	8.1	9.6	8.5	7.6	0.7	2.4	0.4
	女性	637	34.2	17.9	10.5	15.2	6.6	6.4	5.3	0.5	2.8	0.5
年代別	20代	88	22.7	19.3	12.5	13.6	6.8	11.4	6.8	1.1	5.7	0.0
	30代	167	33.5	18.6	7.2	8.4	12.0	8.4	7.2	1.2	3.0	0.6
	40代	198	31.8	13.6	11.6	10.6	11.6	8.6	8.6	1.0	2.5	0.0
	50代	185	35.7	15.7	15.1	9.2	5.9	8.1	5.4	1.1	3.2	0.5
	60代	252	29.4	21.8	14.3	11.1	8.7	8.7	4.8	0.0	0.4	0.8
	70代以上	283	35.3	17.0	13.1	17.3	3.9	3.2	6.4	0.0	3.5	0.4
居住地区別	旧市内	366	29.5	15.8	16.1	11.5	7.4	9.6	7.1	0.8	1.9	0.3
	北上	280	33.6	17.9	10.7	12.5	9.6	7.1	5.7	0.4	2.1	0.4
	錦田	222	30.6	24.3	12.2	10.8	5.4	5.0	7.7	0.9	2.7	0.5
	中郷	242	34.7	16.9	10.7	12.8	7.0	7.0	5.8	0.4	4.1	0.4

1位

2位

3位

性別

性別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」（男性 29.9%、女性 34.2%）が最も多くなっている。また、男性では「歴史や文化を大切にした風格のある都市」（15.2%）が3位であるのに対し、女性は「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」（15.2%）が3位となっている。

年代別

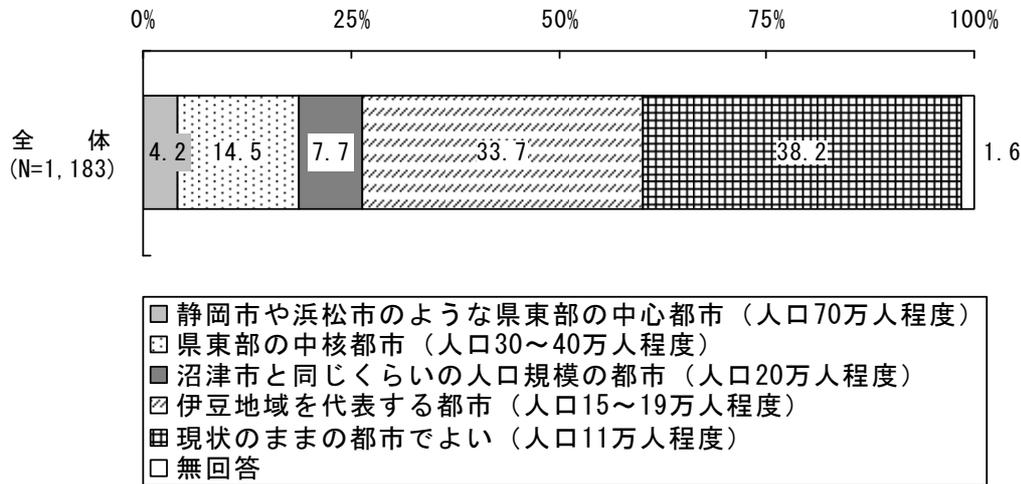
年代別でみると、いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多くなっている。「公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市」は、30代（12.0%）、40代（11.6%）で1割台となっている。また、「歴史や文化を大切にした風格のある都市」は、30代（7.2%）で1割未満と少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も多く、約3割となっている。また、「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」は、錦田（24.3%）が多くなっている。

#### 4) 将来の都市規模

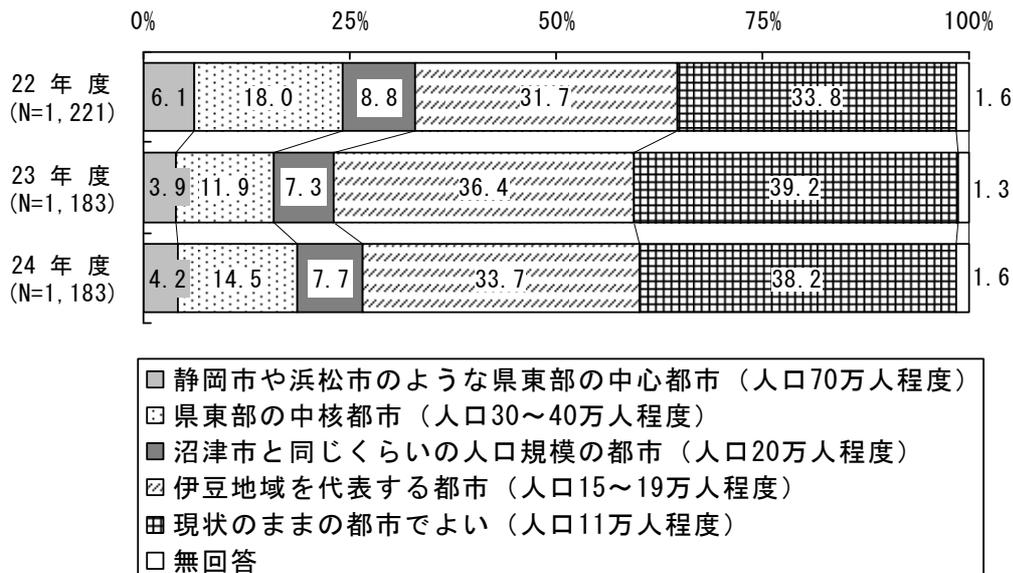
問4 あなたは、三島市を含むこの地域が将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。  
(〇はひとつ)



**\*\*\* 将来の都市規模は「現状のままの都市でよい(人口11万人程度)」が38.2% \*\*\***

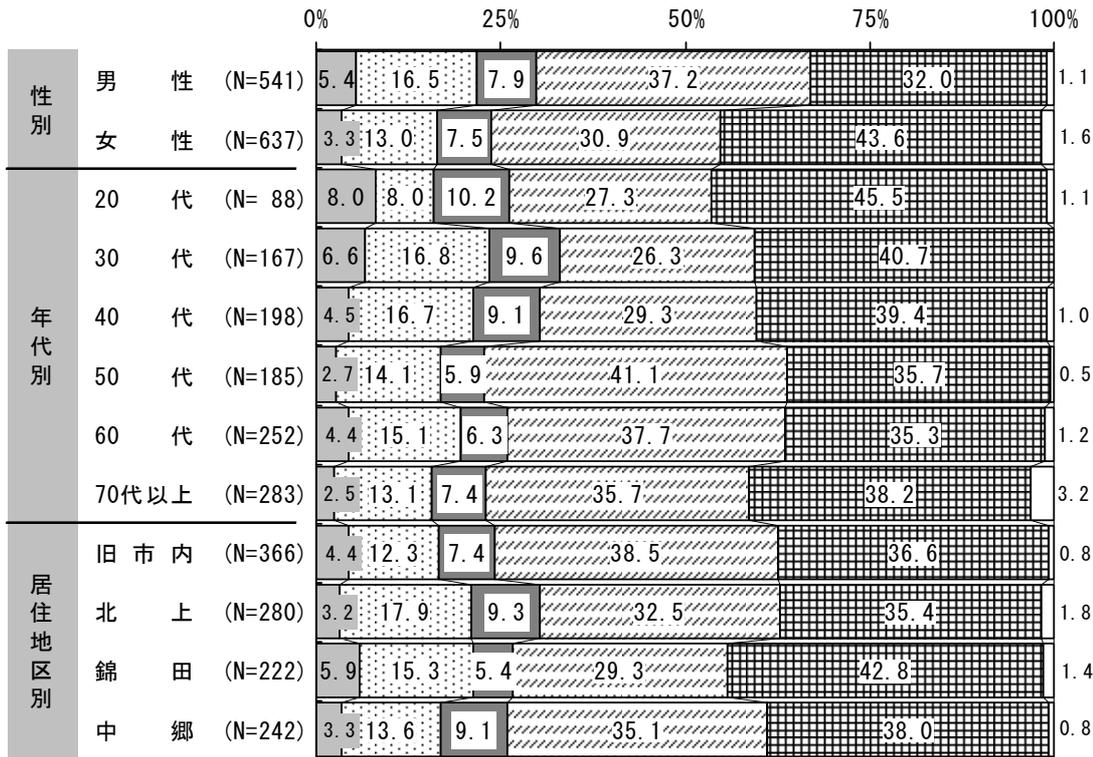
将来の都市規模について聞いたところ、「現状のままの都市でよい (人口11万人程度)」(38.2%)が最も多く、次いで「伊豆地域を代表する都市 (人口15~19万人程度)」(33.7%)、「県東部の中核都市 (人口30~40万人程度)」(14.5%)、「沼津市と同じくらいの人口規模の都市(人口20万人程度)」(7.7%)、「静岡市や浜松市のような県東部の中心都市 (人口70万人程度)」(4.2%)となっている。

#### 【時系列比較】



時系列で見ると、いずれの年度も「現状のままの都市でよい (人口11万人程度)」が最も多く、次いで「伊豆地域を代表する都市 (人口15~19万人程度)」となっている。

【属性別比較】



- 静岡市や浜松市のような県東部の中心都市（人口70万人程度）
- ▣ 県東部の中核都市（人口30～40万人程度）
- 沼津市と同じくらいの人口規模の都市（人口20万人程度）
- ▣ 伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）
- ▣ 現状のままの都市でよい（人口11万人程度）
- 無回答

性別

性別でみると、男性は「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」（37.2%）が最も多く、女性は「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」（43.6%）が最も多くなっている。

年代別

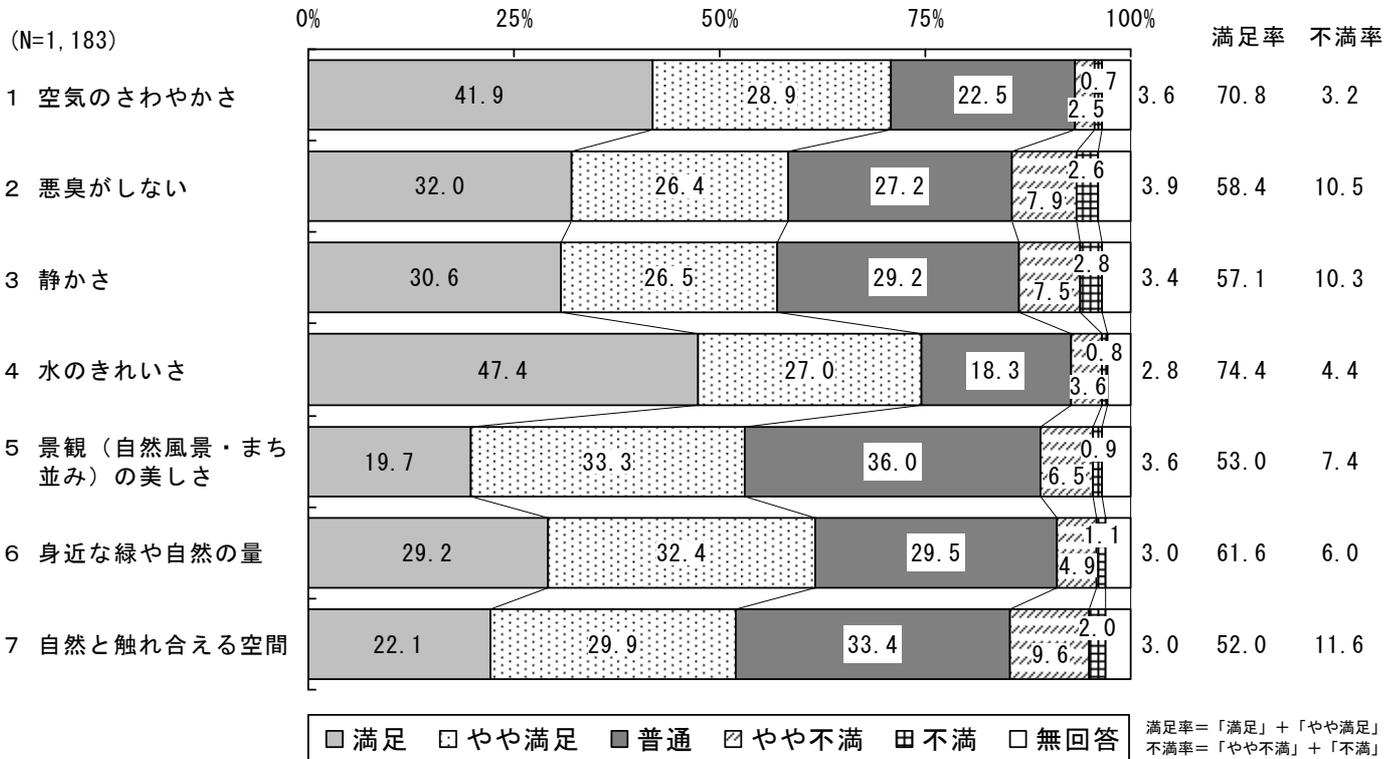
年代別でみると、「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」は、20代（45.5%）が最も多く、次いで30代（40.7%）、40代（39.4%）と、年代が上がるほど少なくなっている。また、「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」は、50代（41.1%）、60代（37.7%）、70代以上（35.7%）と、50代以上で3割を超えている。

居住地区別

居住地区別でみると、「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」は、旧市内（38.5%）が、「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」は、錦田（42.8%）が多くなっている。

## 5) 生活環境の満足度

問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。(それぞれ〇はひとつ)



### \*\*\* 生活環境の満足率は、『空気のさわやかさ』と『水のきれいさ』で7割以上 \*\*\*

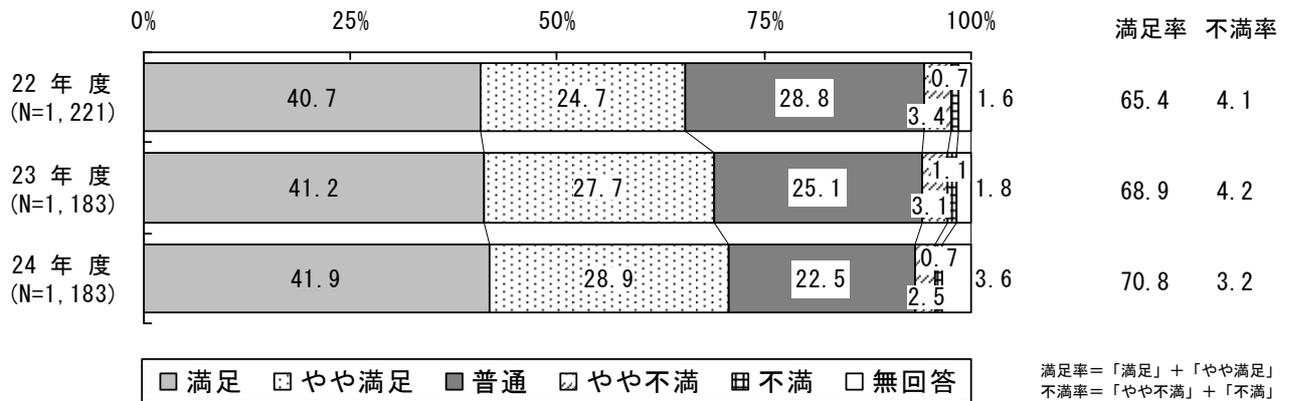
生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っている。

“満足率”は、『1 空気のさわやかさ』（70.8%）、『4 水のきれいさ』（74.4%）で7割を超えている。また、「満足」は、『4 水のきれいさ』（47.4%）、『1 空気のさわやかさ』（41.9%）が多く、『5 景観（自然風景・まち並み）の美しさ』（19.7%）、『自然と触れ合える空間』（22.1%）は約2割となっている。

一方、“不満率”は『7 自然と触れ合える空間』（11.6%）、『2 悪臭がしない』（10.5%）及び『3 静かさ』（10.3%）で1割を超えている。

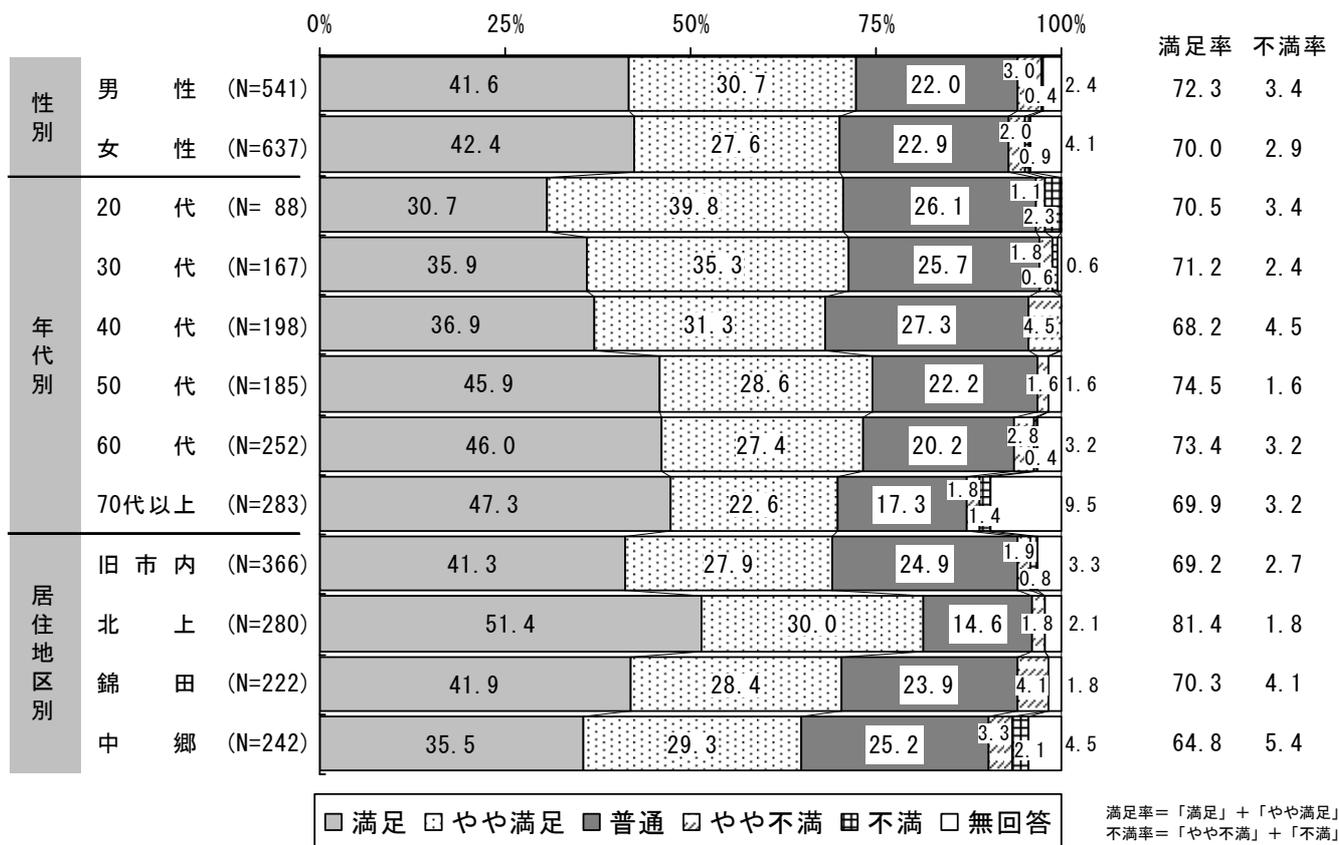
① 空気のさわやかさ

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（70.8%）は、22年度調査（65.4%）以降微増傾向にある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 72.3%、女性 70.0%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割となっている。

年代別

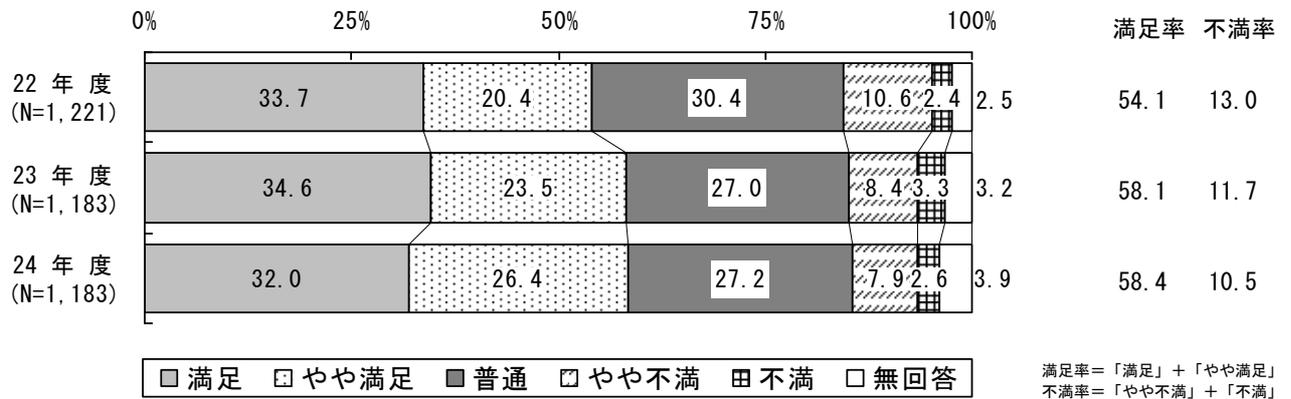
年代別でみると、「満足率」は50代（74.5%）が多く、次いで60代（73.4%）となっている。「満足」は、50代（45.9%）、60代（46.0%）、70代以上（47.3%）と年代が上がるにつれ多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は北上（81.4%）で最も多く、「満足」（51.4%）は半数を超えている。

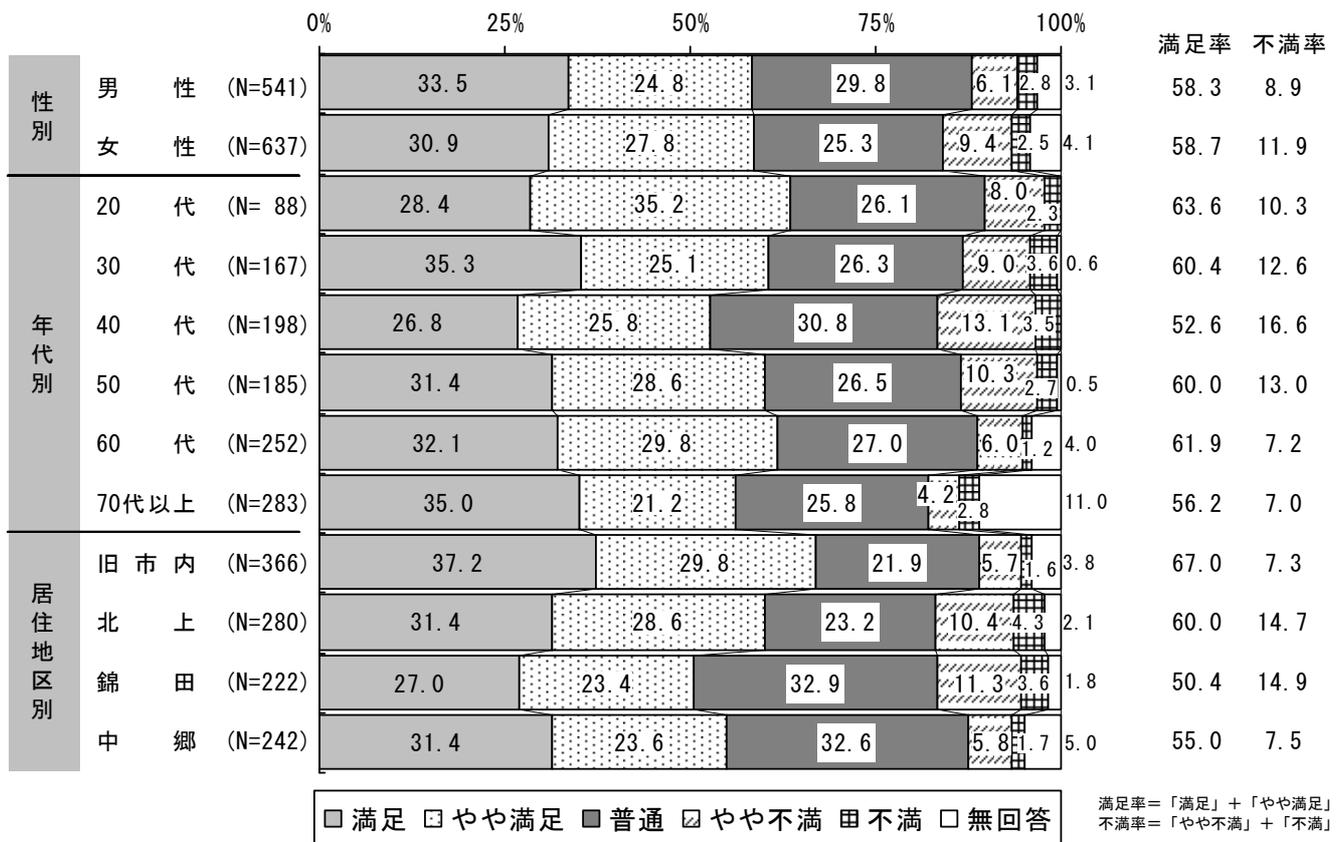
② 悪臭がしない

【時系列比較】



時系列でみると、“満足率”（58.4%）は、22年度調査（54.1%）以降微増傾向にある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 58.3%、女性 58.7%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっている。

年代別

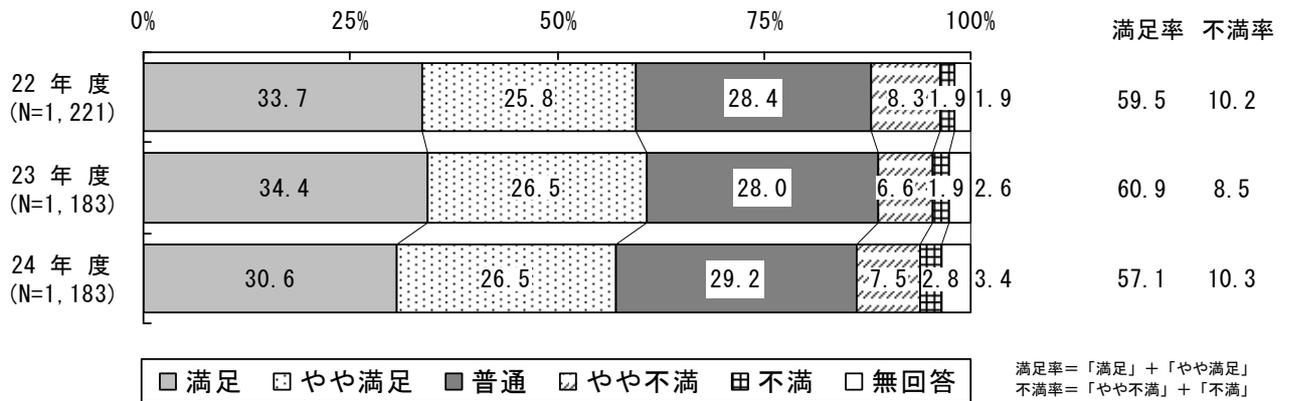
年代別でみると、「満足率」は20代（63.6%）が最も多く、次いで60代（61.9%）、30代（60.4%）と多く、40代（52.6%）は約5割と少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は旧市内（67.0%）で最も多く、次いで北上（60.0%）となっている。また、「普通」は旧市内（21.9%）、北上（23.2%）で2割台と少なくなっている。

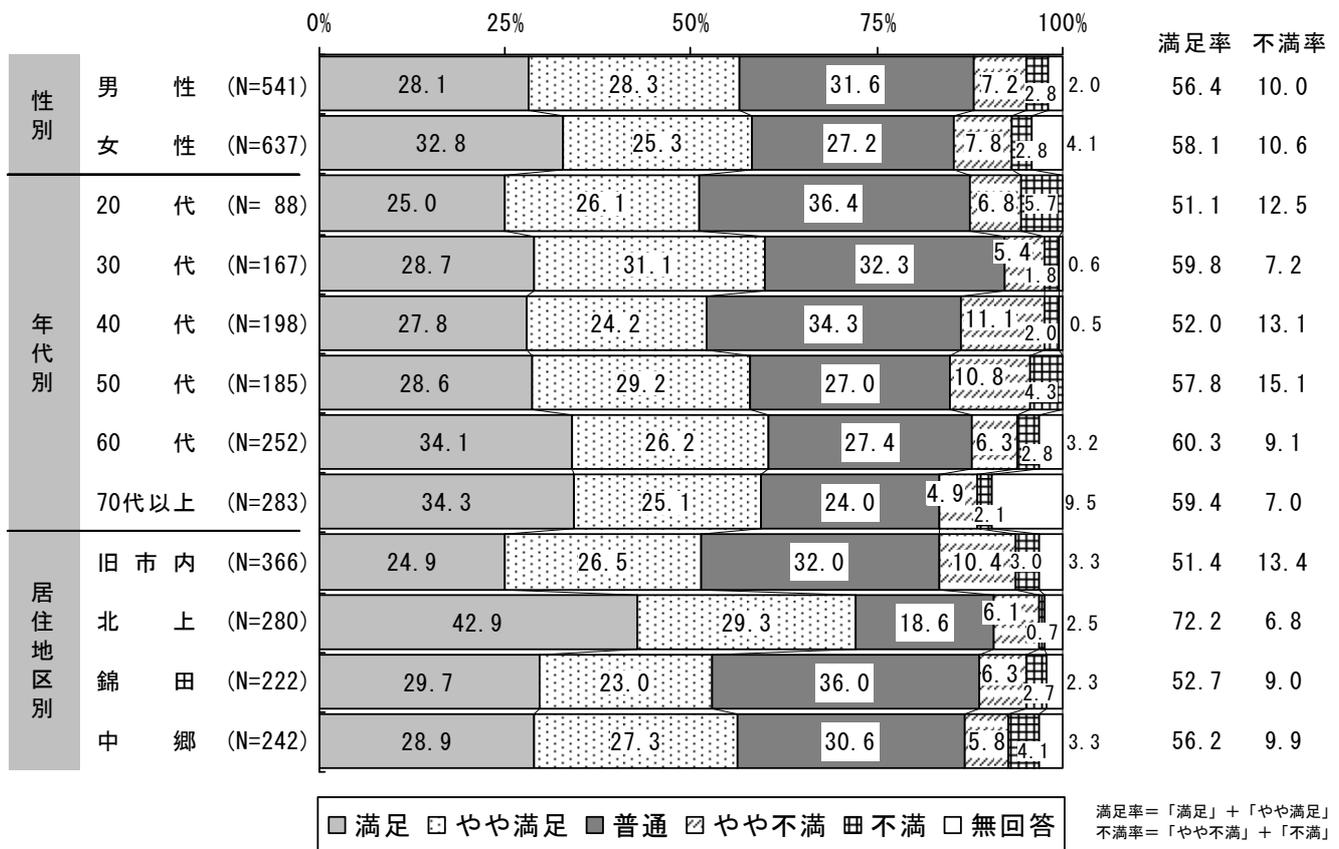
③ 静かさ

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（57.1%）は、22年度調査（59.5%）や23年度調査（60.9%）と同様の傾向を示し、約6割を占めている。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、“満足率”（男性 56.4%、女性 58.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割台半ばとなっている。

**年代別**

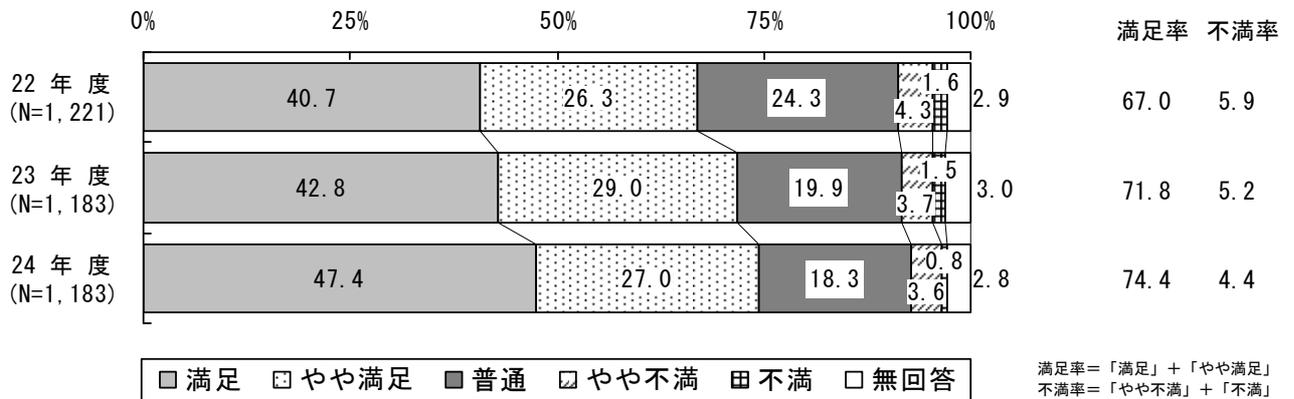
年代別でみると、“満足率”は60代（60.3%）、30代（59.8%）、70代以上（59.4%）で多くなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、“満足率”は北上（72.2%）で最も多く、7割となっている。一方、“不満率”は旧市内（13.4%）で多くなっている。

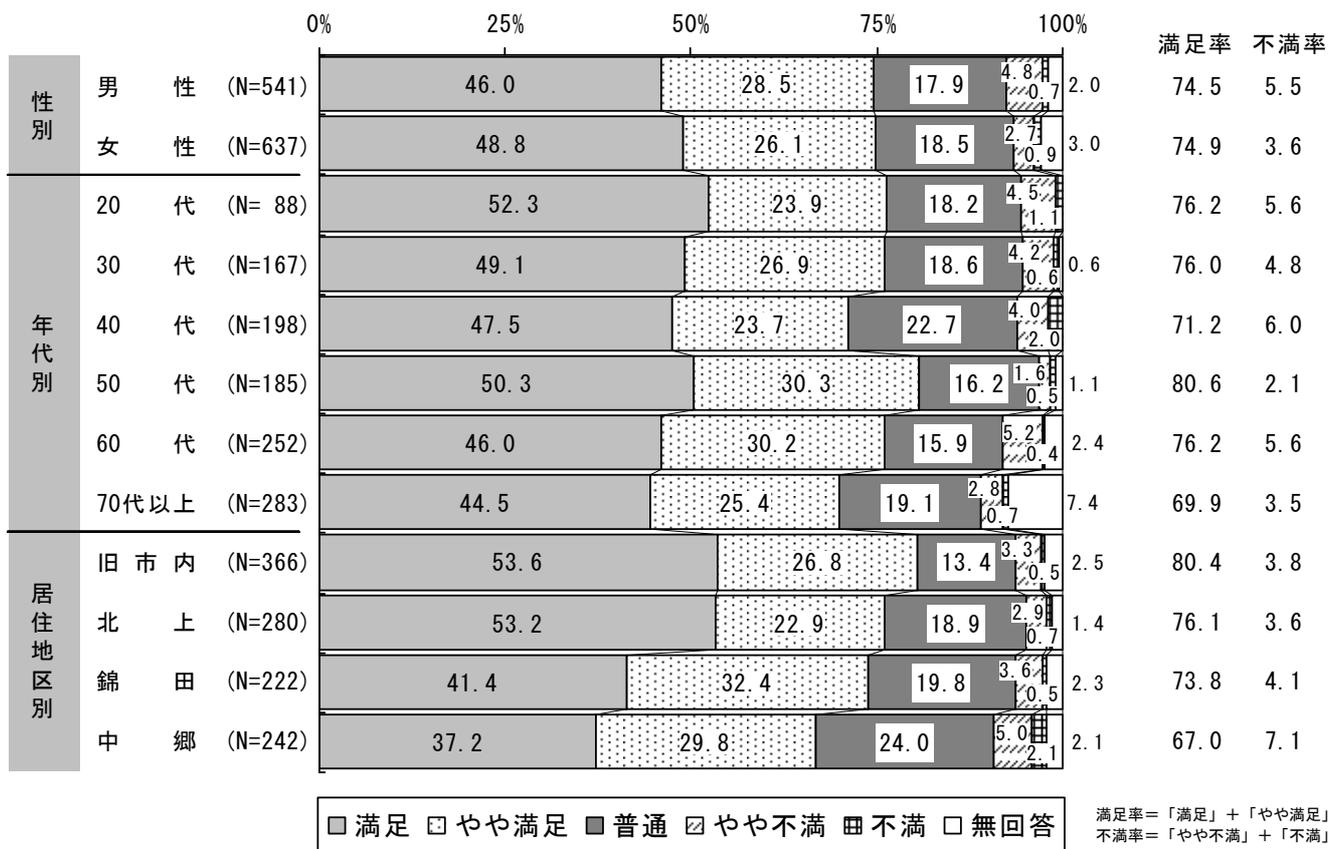
④ 水のきれいさ

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（74.4%）は、22年度調査（67.0%）以降増加傾向にある。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「満足率」（男性 74.5%、女性 74.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割台半ばとなっている。

**年代別**

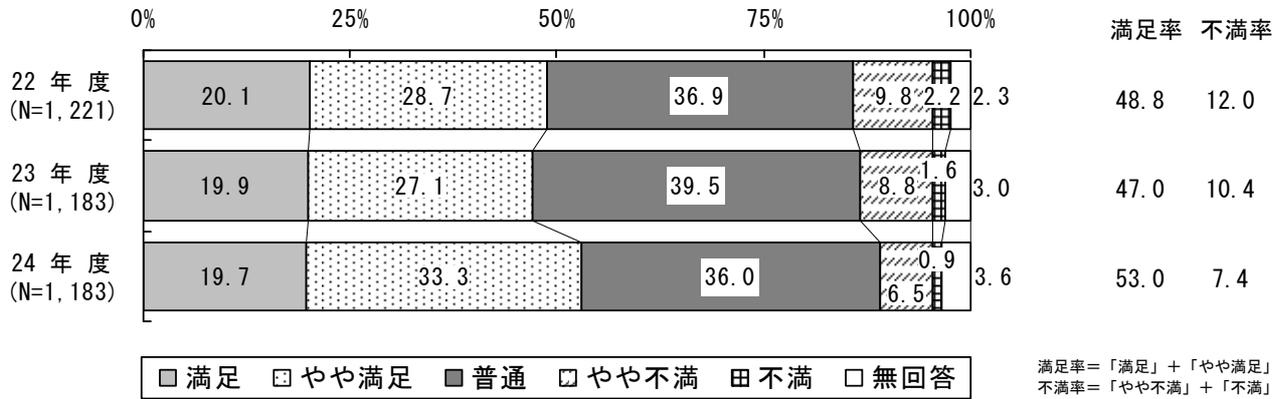
年代別でみると、「満足率」は50代（80.6%）で最も多く、次いで20代、60代（76.2%）となっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「満足率」は、旧市内（80.4%）で最も多くなっている。「満足」は、旧市内（53.6%）、北上（53.2%）で多く、5割台半ばとなっている。

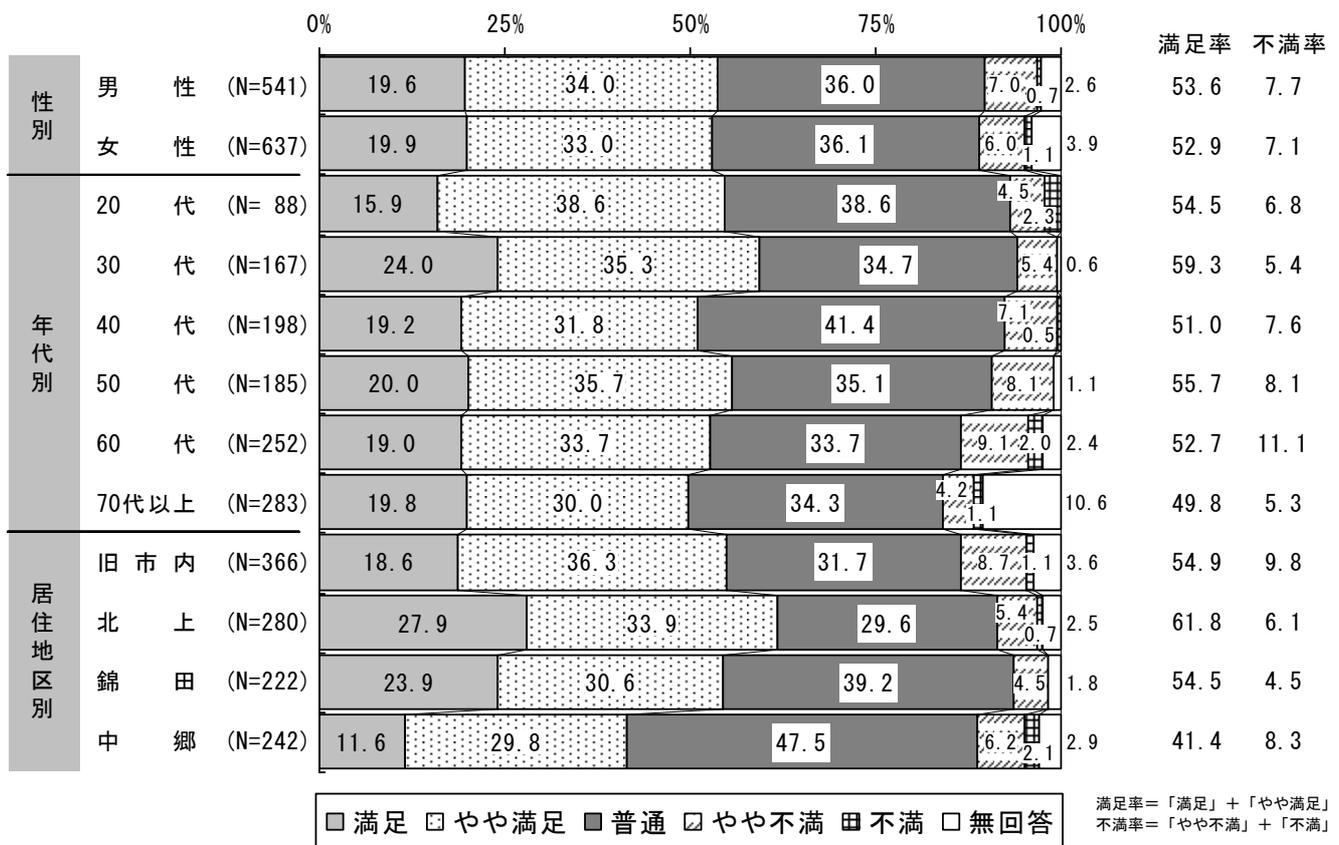
⑤ 景観（自然風景・まち並み）の美しさ

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（53.0%）は、22年度調査（48.8%）、23年度調査（47.0%）に比べ4ポイント以上増加している。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 53.6%、女性 52.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えている。

年代別

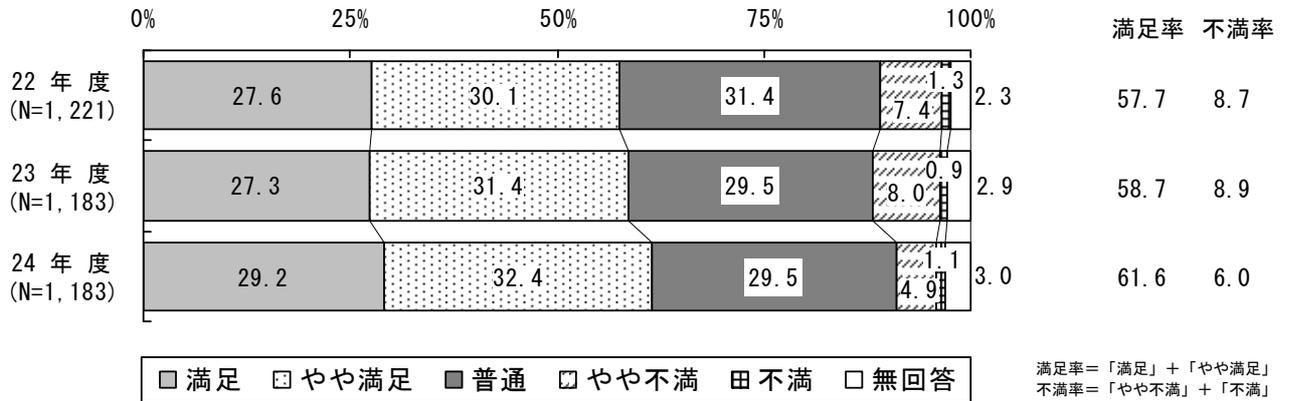
年代別でみると、「満足率」は30代（59.3%）が最も多く、次いで50代（55.7%）、20代（54.5%）となっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は北上（61.8%）で最も多くなっている。一方で、中郷（41.4%）では約4割と少なくなっている。

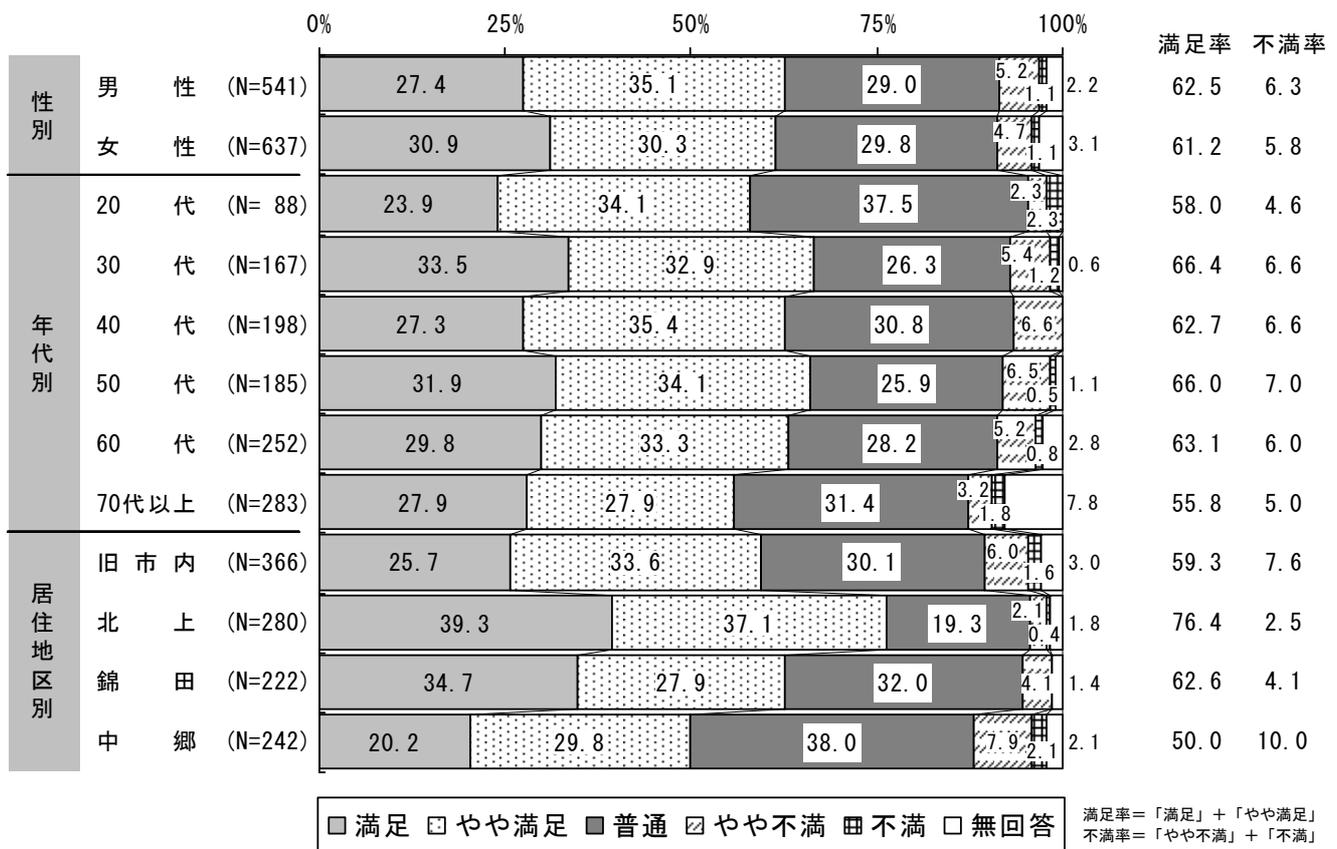
⑥ 身近な緑や自然の量

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（61.6%）は22年度調査（57.7%）以降微増傾向にある。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「満足率」（男性 62.5%、女性 61.2%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも6割となっている。

**年代別**

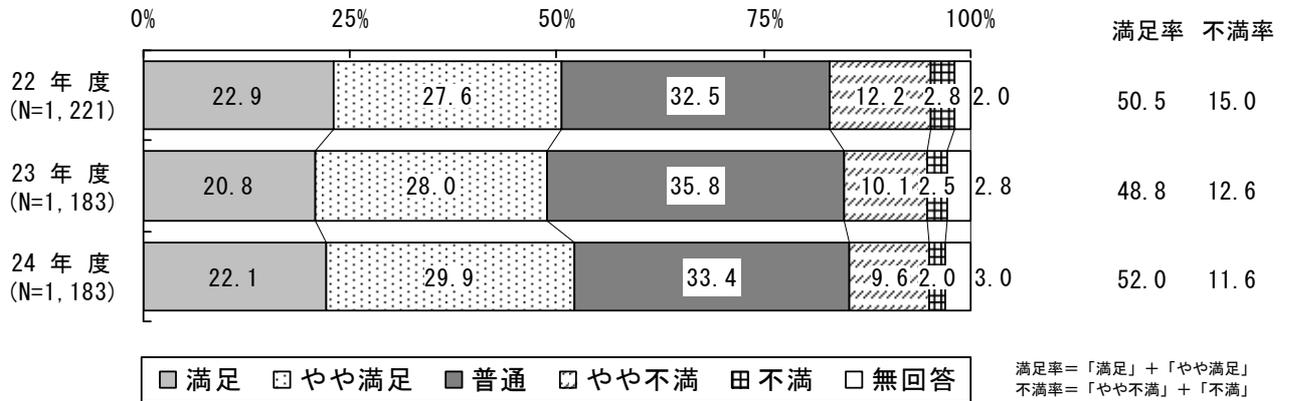
年代別でみると、「満足率」は30代（66.4%）で多く、次いで50代（66.0%）となっている。「普通」は20代（37.5%）で3割台半ばと多くなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「満足率」は、北上（76.4%）で最も多く、中郷（50.0%）では5割と少なくなっている。

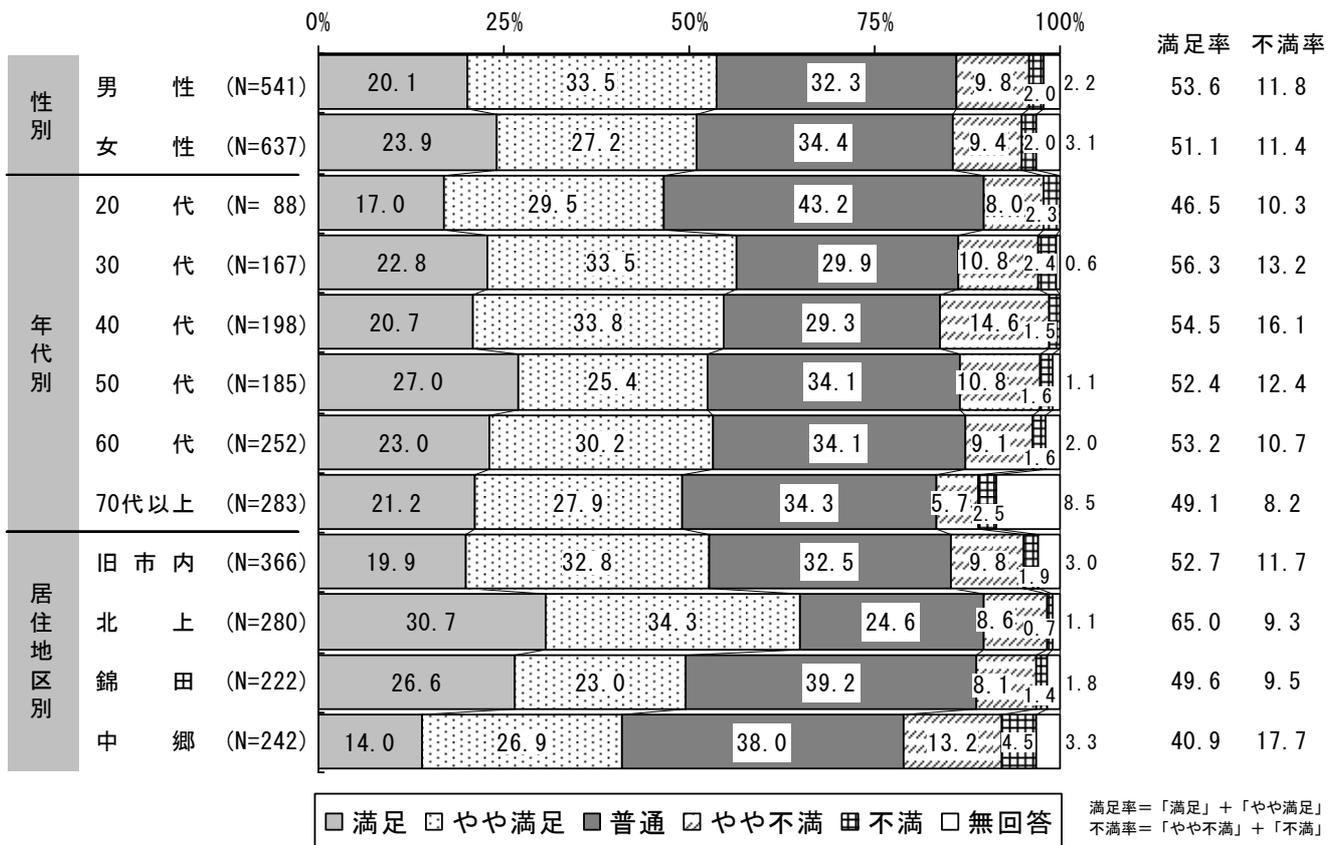
⑦ 自然と触れ合える空間

【時系列比較】



時系列で見ると、“満足率”（52.0%）は、22年度調査（50.5%）や23年度調査（48.8%）と同様の傾向を示し、約5割を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「満足率」（男性 53.6%、女性 51.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えている。

年代別

年代別でみると、「満足率」は30代（56.3%）で最も多く、一方、20代（46.5%）で少なくなっている。「普通」は20代（43.2%）が4割を超えている。

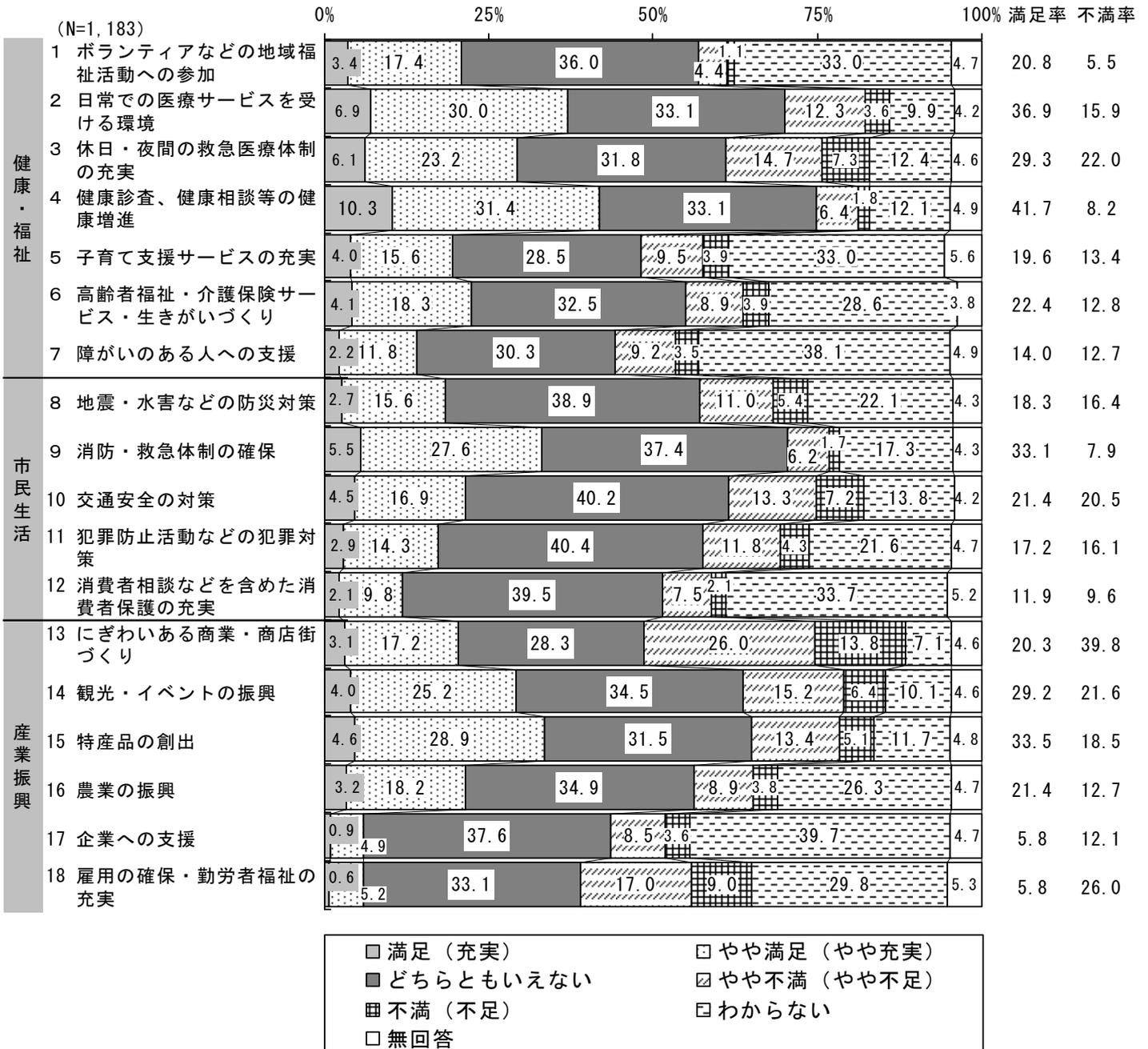
居住地区別

居住地区別でみると、「満足率」は北上（65.0%）で最も多く、一方、中郷（40.9%）では4割と少なくなっている。「満足」は中郷（14.0%）、旧市内（19.9%）で少なくなっている。また、「普通」は北上（24.6%）で少なくなっている。

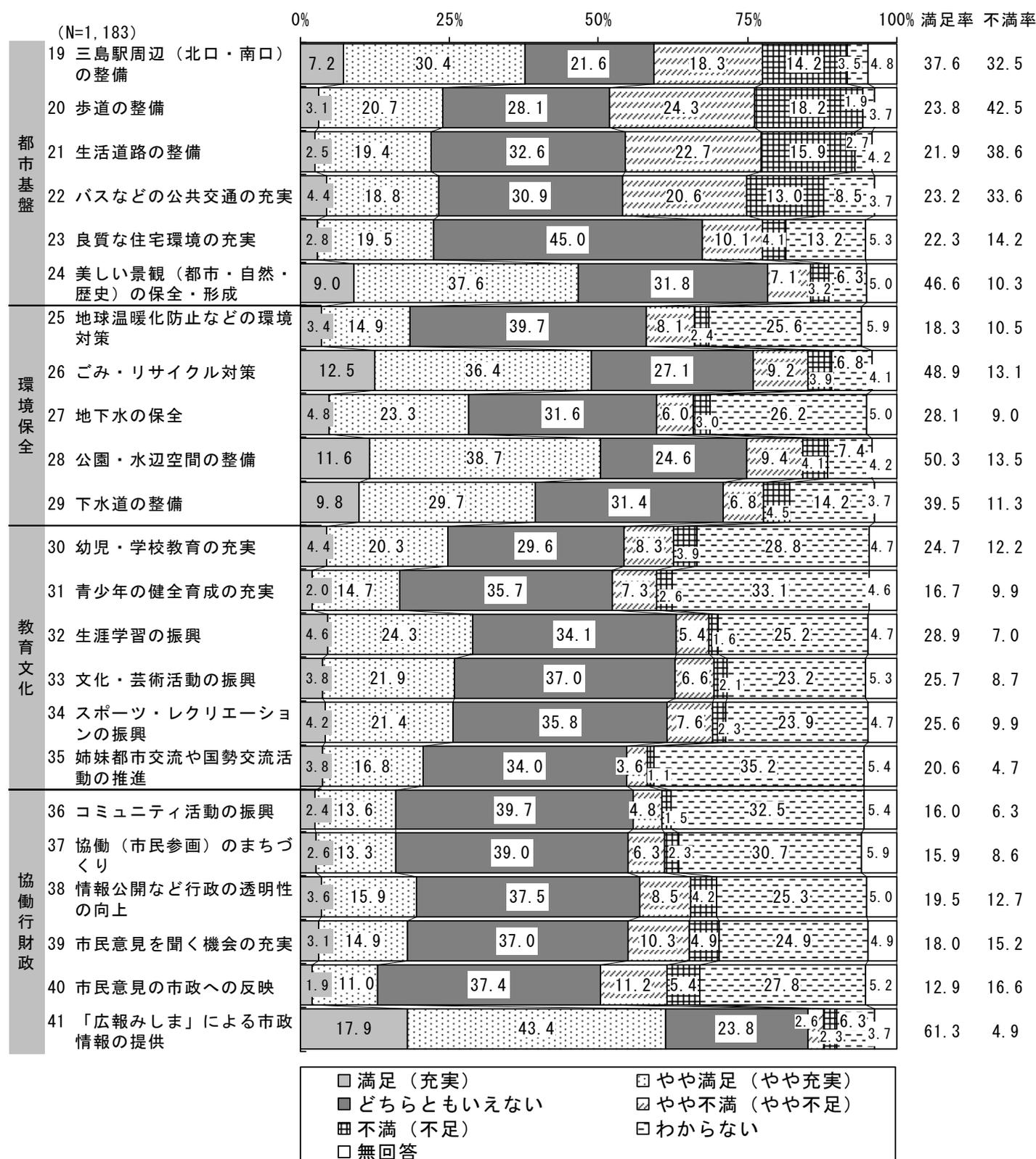
### 3 『市の取り組みの満足度』について

#### 1) 三島市の施策に対する満足（充実）度

問6 毎日の暮らしを通じて、市が行なっている施策に対する満足（充実）度についてお答えください。  
1～41の項目ごとに該当する番号を選んでください。（それぞれ○はひとつ）



満足率＝「満足（充実）」＋「やや満足（やや充実）」  
 不満率＝「やや不満（やや不足）」＋「不満（不足）」



**\*\*\* 三島市の施策の満足率は「「広報みしま」による市政情報の提供」が 61.3%、  
不満率は「歩道の整備」が 42.5% \*\*\***

三島市の施策に対する満足（充実）度について聞いたところ、“満足率”は、健康福祉に関する項目では『4 健康診査、健康相談等の健康増進』（41.7%）、市民生活に関する項目では『9 消防・救急体制の確保』（33.1%）、産業振興に関する項目では『15 特産品の創出』（33.5%）、都市基盤に関する項目では『24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成』（46.6%）、環境保全に関する項目では『28 公園・水辺空間の整備』（50.3%）、教育文化に関する項目では『32 生涯学習の振興』（28.9%）、協働行財政に関する項目では『41 「広報みしま」による市政情報の提供』（61.3%）が最も多くなっている。

“不満率”は、健康福祉に関する項目では『3 休日・夜間の救急医療体制の充実』（22.0%）、市民生活に関する項目では『10 交通安全の対策』（20.5%）、産業振興に関する項目では『13 にぎわいのある商業・商店街づくり』（39.8%）、都市基盤に関する項目では『20 歩道の整備』（42.5%）、環境保全に関する項目では“満足率”にもある『28 公園・水辺空間の整備』（13.5%）、教育文化に関する項目では『30 幼児・学校教育の充実』（12.2%）、協働行財政に関する項目では『40 市民意見の市政への反映』（16.6%）がそれぞれ最も多くなっている。

#### 満足率上位5項目

順位	項目	分類	満足率
1	41 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	61.3%
2	28 公園・水辺空間の整備	環境保全	50.3%
3	26 ごみ・リサイクル対策	環境保全	48.9%
4	24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成	都市基盤	46.6%
5	4 健康診査、健康相談等の健康増進	健康・福祉	41.7%

#### 不満率上位5項目

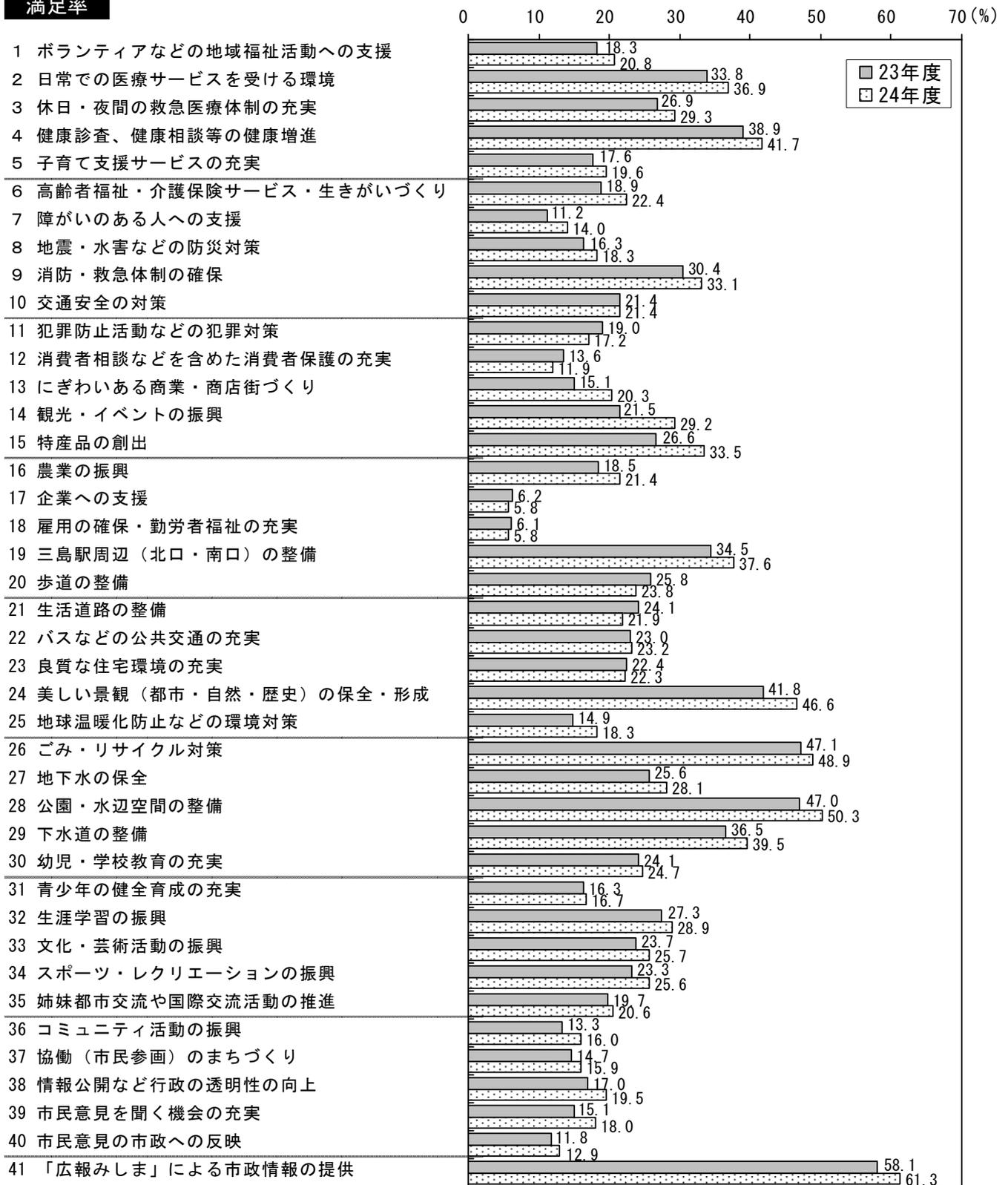
順位	項目	分類	不満率
1	20 歩道の整備	都市基盤	42.5%
2	13 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	39.8%
3	21 生活道路の整備	都市基盤	38.6%
4	22 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	33.6%
5	19 三島駅周辺（北口・南口）の整備	都市基盤	32.5%

“満足率”が多い上位5項目は、『41 「広報みしま」による市政情報の提供』（61.3%）、『28 公園・水辺空間の整備』（50.3%）、『26 ごみ・リサイクル対策』（48.9%）、『24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成』（46.6%）、『4 健康診査、健康相談等の健康増進』（41.7%）であり、環境保全に関する項目が2つ含まれている。

“不満率”が多い上位5項目は、『20 歩道の整備』（42.5%）、『13 にぎわいのある商業・商店街づくり』（39.8%）、『21 生活道路の整備』（38.6%）、『22 バスなどの公共交通の充実』（33.6%）、『19 三島駅周辺（北口・南口）の整備』（32.5%）であり、都市基盤に関する項目が4つ含まれている。

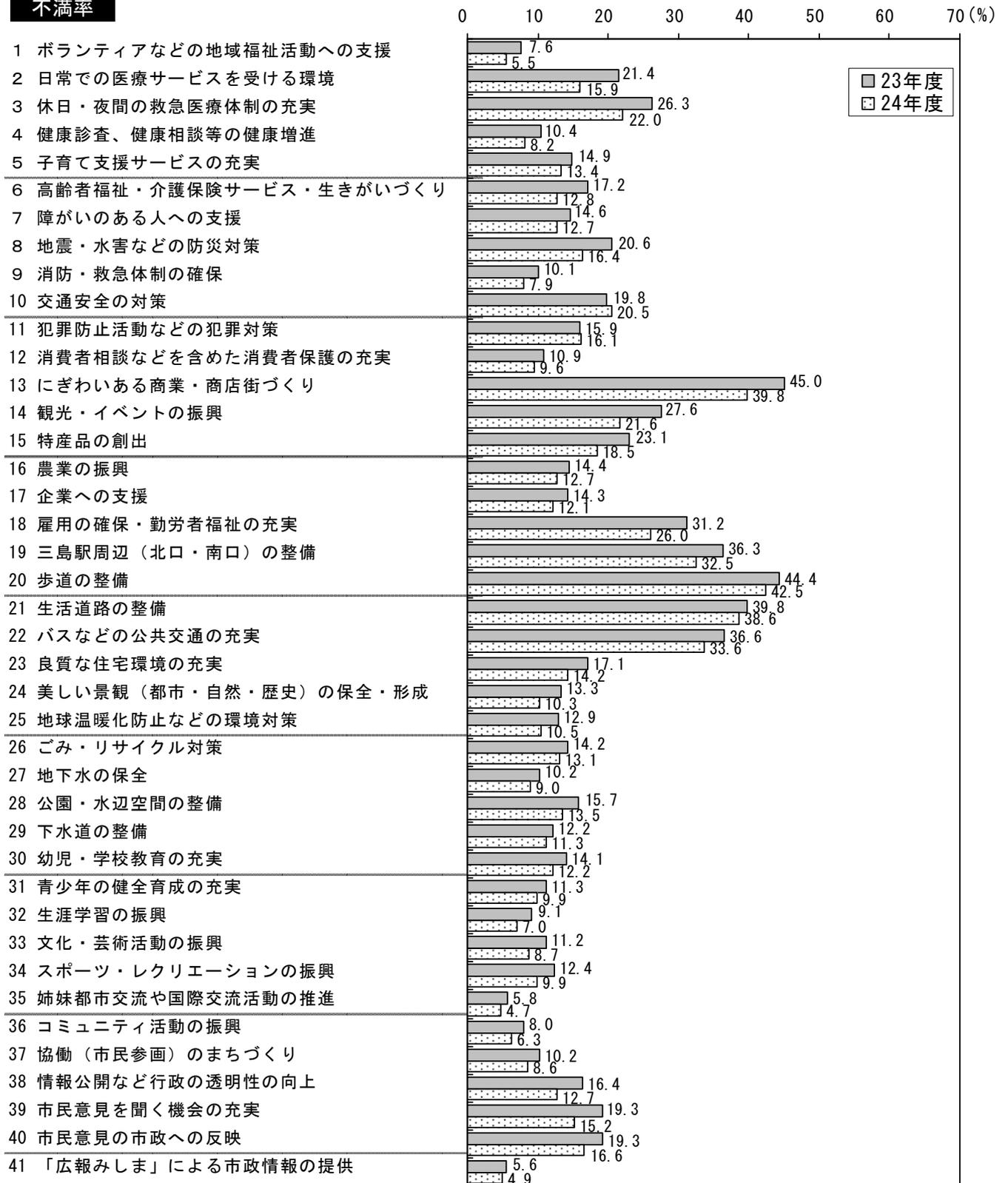
【時系列比較】

満足率



時系列で見ると、“満足率”は、41項目中33項目で23年度調査に比べ高くなっており、特に、『14 観光・イベントの振興』(29.2%)は、23年度調査(21.5%)に比べ7.7ポイント高くなっている。また、41項目中7項目では23年度調査に比べ“満足率”は低く、『10 交通安全の対策』(21.4%)は23年度調査(21.4%)と同じ割合となっている。

不満率

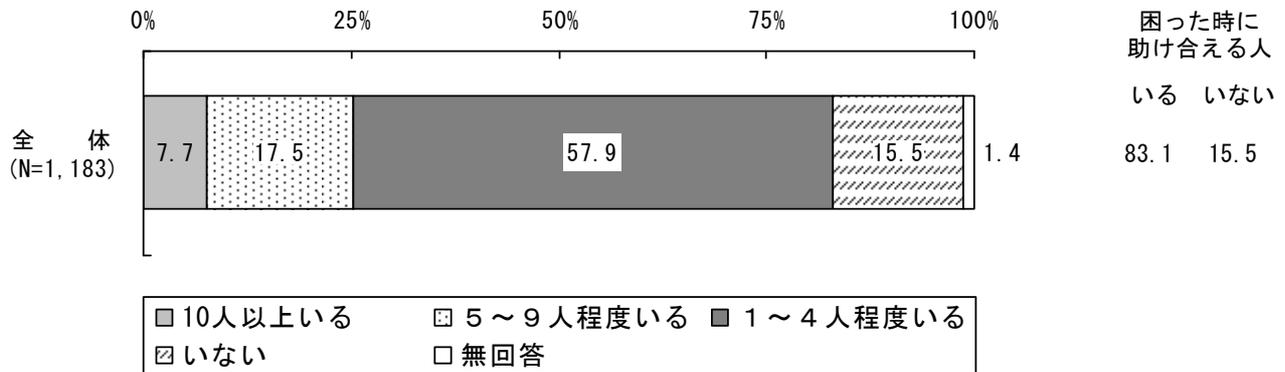


時系列で見ると、“不満率”は、41項目中39項目で23年度調査に比べ低くなっており、“満足率”と同様に、『14 観光・イベントの振興』（21.6%）は23年度調査（27.6%）に比べ6.0ポイント低くなっている。一方、『10 交通安全の対策』、『11 犯罪防止活動などの犯罪対策』は、23年度調査に比べ“不満率”がわずかに高くなっている。

## 4 『総合計画の指標に関する項目』について

### 1) 困ったときに助け合える人の有無

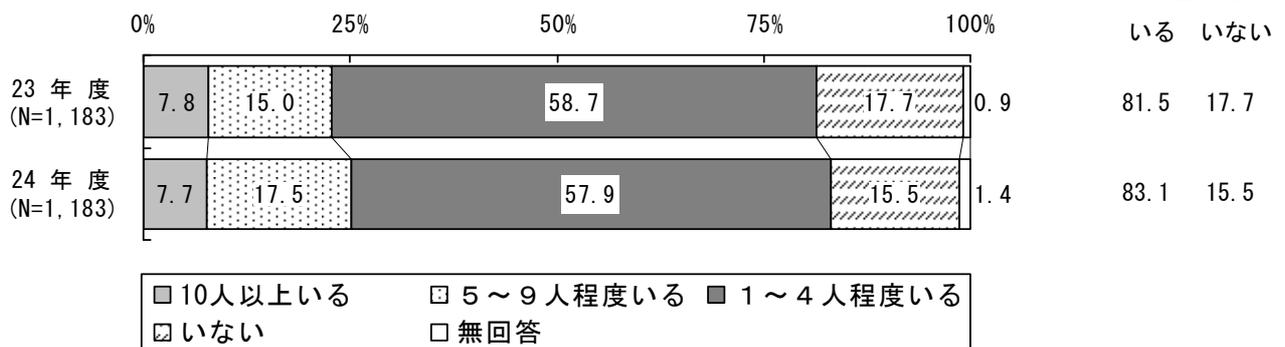
問7 困ったときに助け合うことができる人が近所にいますか。(〇はひとつ)



**\*\*\* 困った時に助け合える人が“いる”人は 83.1% \*\*\***

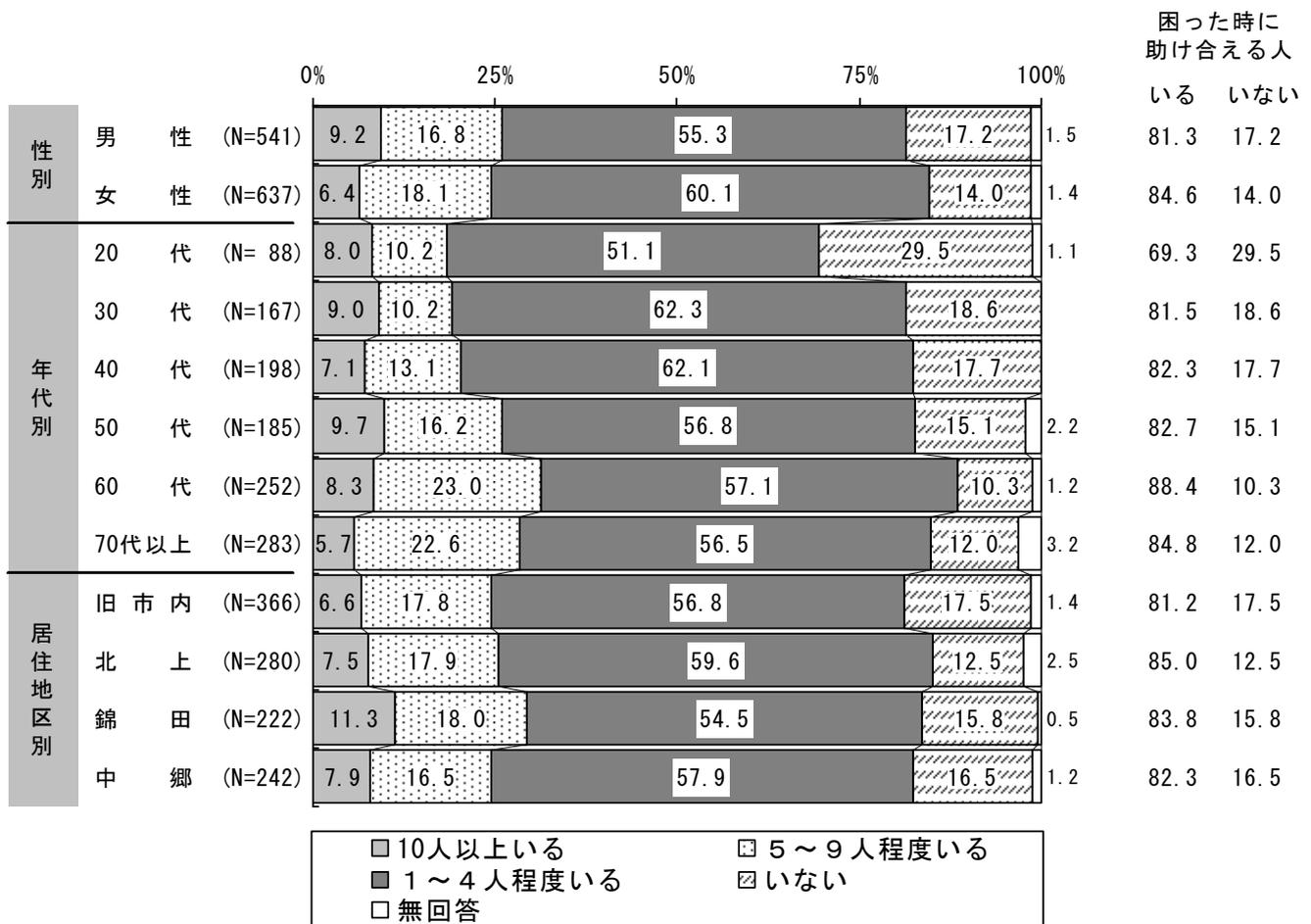
困ったときに助け合える人の有無について聞いたところ、「1～4人程度いる」(57.9%)が最も多く、「5～9人程度いる」(17.5%)、「10人以上いる」(7.7%)を合わせた困った時に助け合える人が“いる”は83.1%となっている。一方、「いない」は15.5%となっている。

#### 【時系列比較】



時系列で見ると、困った時に助け合える人が“いる”(83.1%)は、23年度調査(81.5%)と同様の傾向を示し、8割を超えている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、困った時に助け合える人が“いる”（男性 81.3%、女性 84.6%）で、男性・女性とも 8 割を超えている。「1～4 人程度いる」は、女性（60.1%）が、男性（55.3%）より多くなっている。

年代別

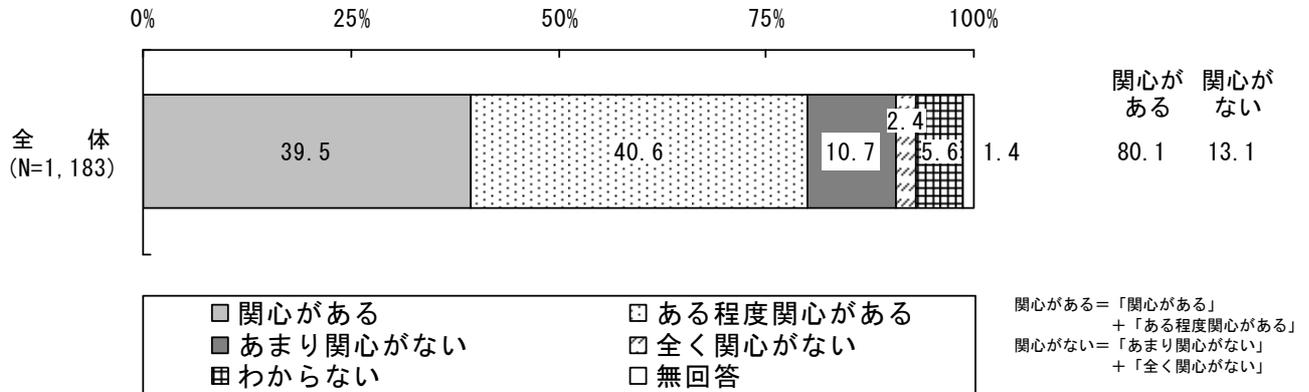
年代別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、60 代（88.4%）が最も多くなっている。一方、困った時に助け合える人が“いない”は、20 代（29.5%）が多くなっている。また、「5～9 人程度いる」は、60 代（23.0%）、70 代以上（22.6%）で 2 割を超え多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、北上（85.0%）が多く、次いで錦田（83.8%）となっている。「10 人以上いる」は、錦田（11.3%）が多くなっている。

## 2) 食育への関心度

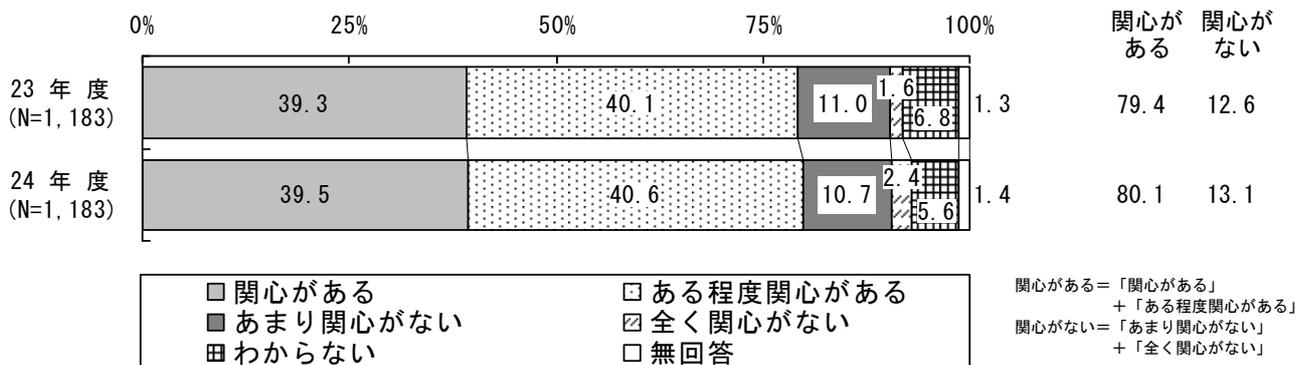
問8 食育に関心がありますか。(〇はひとつ)



### \*\*\* 食育に“関心がある”のは 80.1% \*\*\*

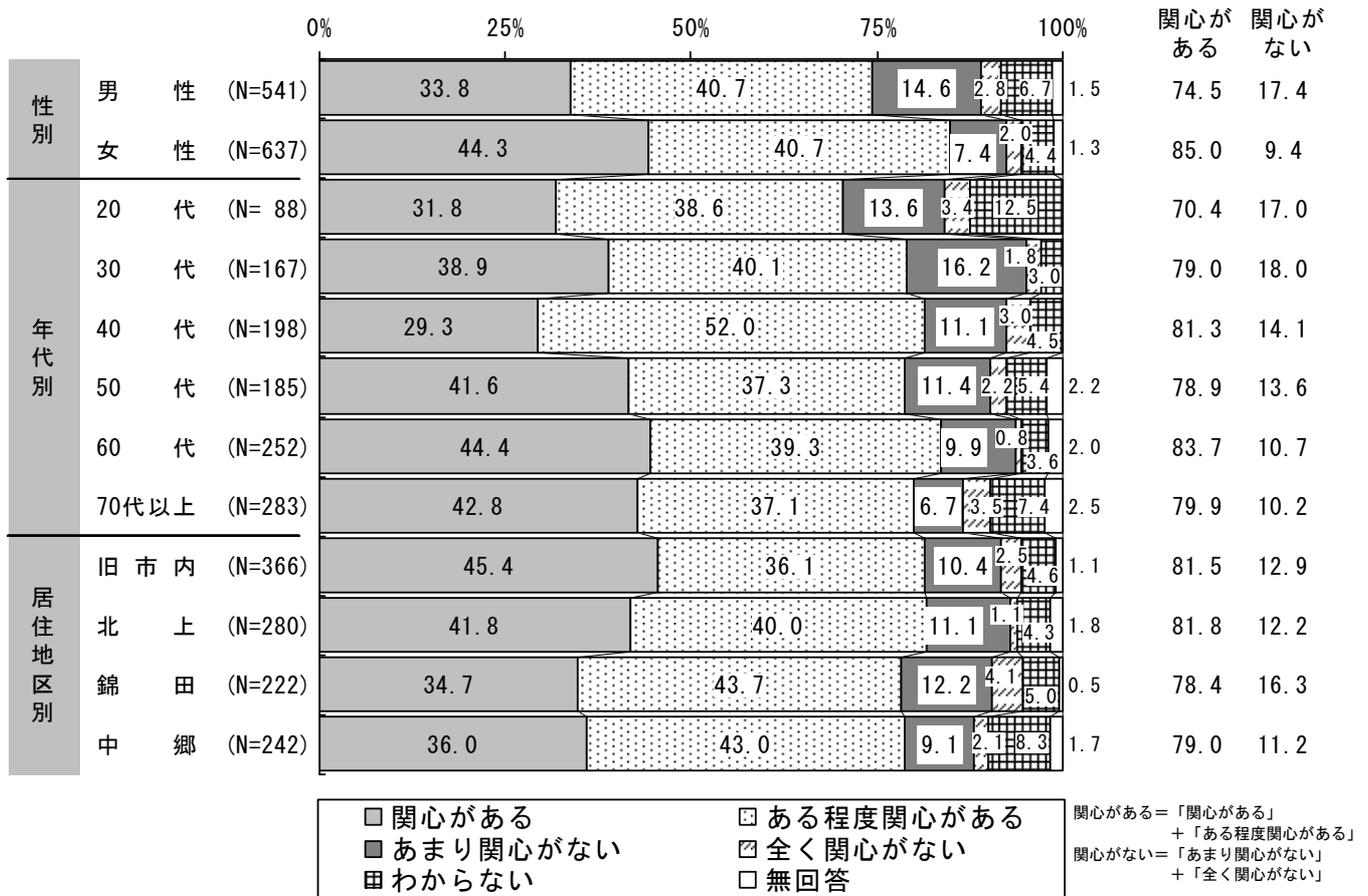
食育への関心度について聞いたところ、「ある程度関心がある」(40.6%)、「関心がある」(39.5%)を合わせた“関心がある”は80.1%となっている。一方、「あまり関心がない」(10.7%)、「全く関心がない」(2.4%)を合わせた“関心がない”は13.1%となっている。

#### 【時系列比較】



時系列でみると、“関心がある”(80.1%)は、23年度調査(79.4%)と同様の傾向を示し、約8割となっている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、女性(85.0%)が、男性(74.5%)より多くなっている。「関心がある」でも同様の傾向を示し、女性(44.3%)が、男性(33.8%)より多くなっている。

年代別

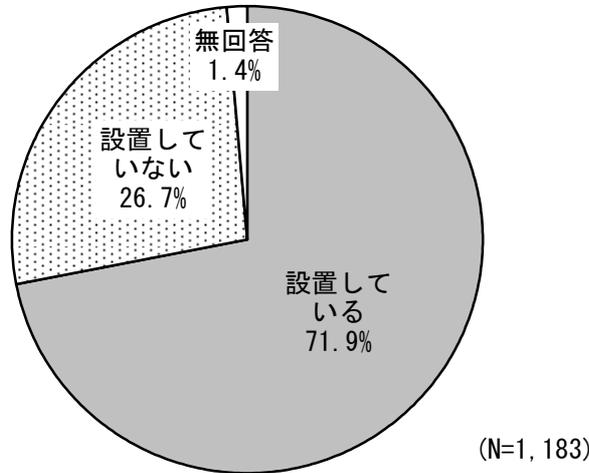
年代別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、60代(83.7%)が多く、一方、20代(70.4%)は7割にとどまっている。「関心がある」は、60代(44.4%)、70代以上(42.8%)、50代(41.6%)で4割を超えている。また「ある程度関心がある」は、40代(52.0%)で半数を占め、多くなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた、食育に“関心がある”は、北上(81.8%)が最も多くなっている。「関心がある」は、旧市内(45.4%)が多くなっている。

### 3) 住宅用火災警報器の設置状況

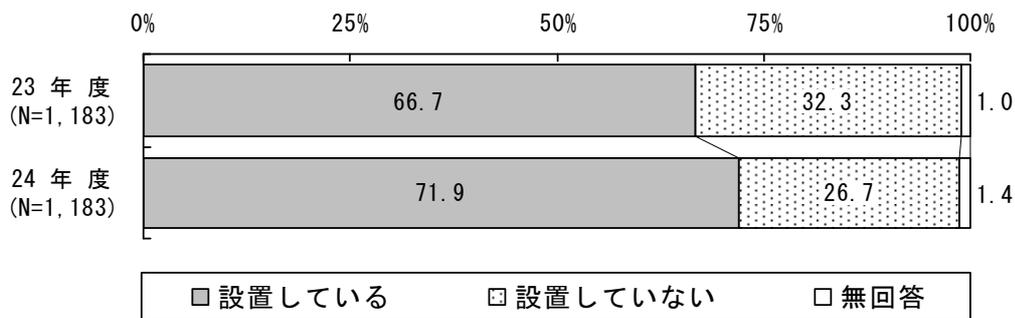
問9 住宅用火災警報器を設置していますか。(〇はひとつ)



**\*\*\* 住宅用火災警報器を「設置している」のは71.9% \*\*\***

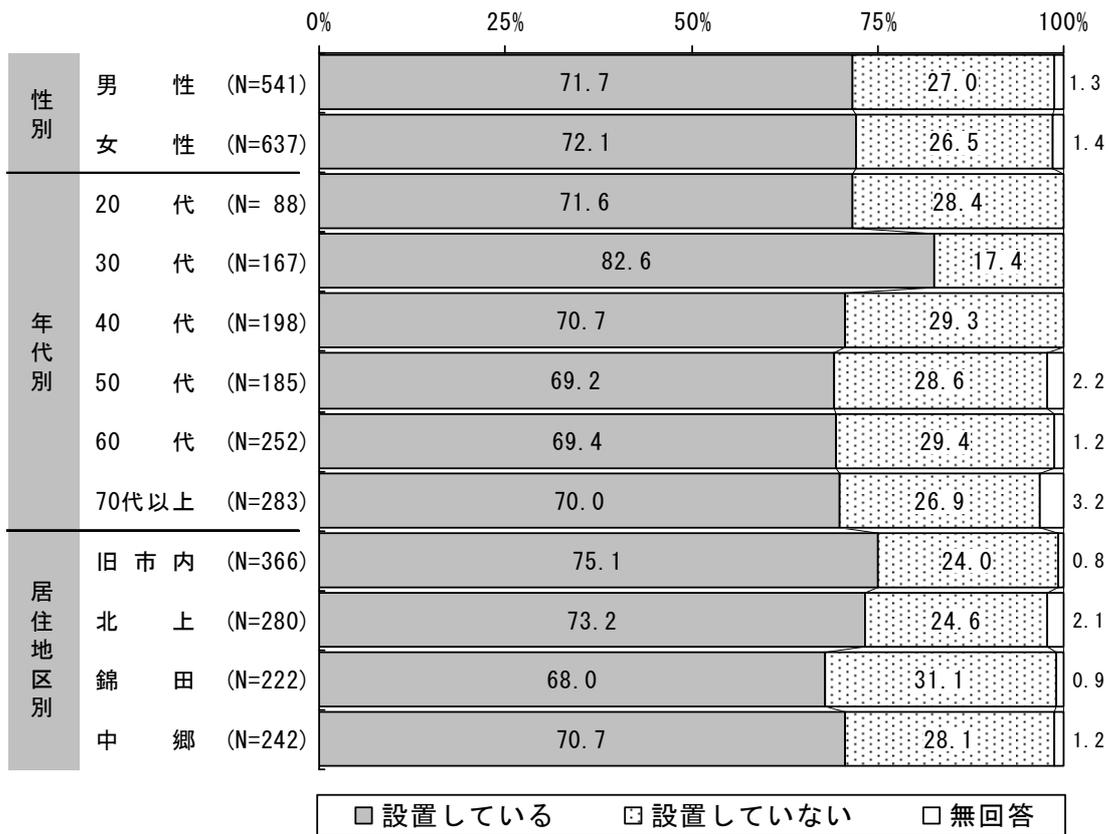
住宅用火災警報器の設置状況について聞いたところ、「設置している」(71.9%)は7割となっている。一方、「設置していない」(26.7%)は、およそ4人に1人の割合となっている。

#### 【時系列比較】



時系列でみると、「設置している」(71.9%)は、23年度調査(66.7%)に比べ増加傾向にある。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「設置している」（男性 71.7%、女性 72.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割を超えている。

**年代別**

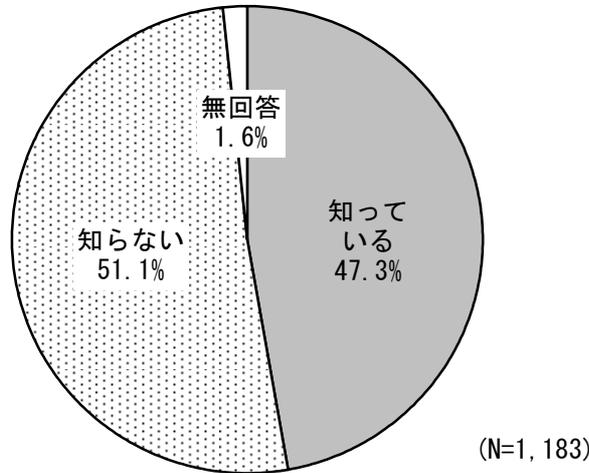
年代別でみると、「設置している」は、30代（82.6%）が多くなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「設置している」は、旧市内（75.1%）で最も多くなっている。一方、「設置していない」は、錦田（31.1%）で多く、3割を超えている。

#### 4) 市民相談室での消費生活相談実施の認知度

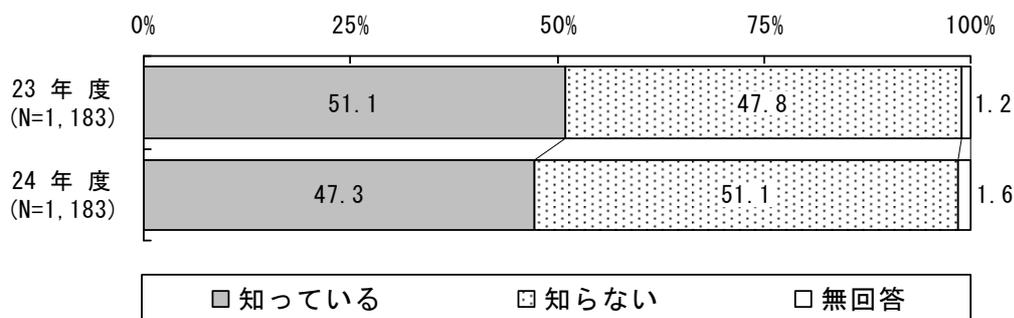
問10 市民相談室で消費生活相談を行なっていることを知っていますか。(〇はひとつ)



\*\*\* 市民相談室での消費生活相談実施の認知度は47.3% \*\*\*

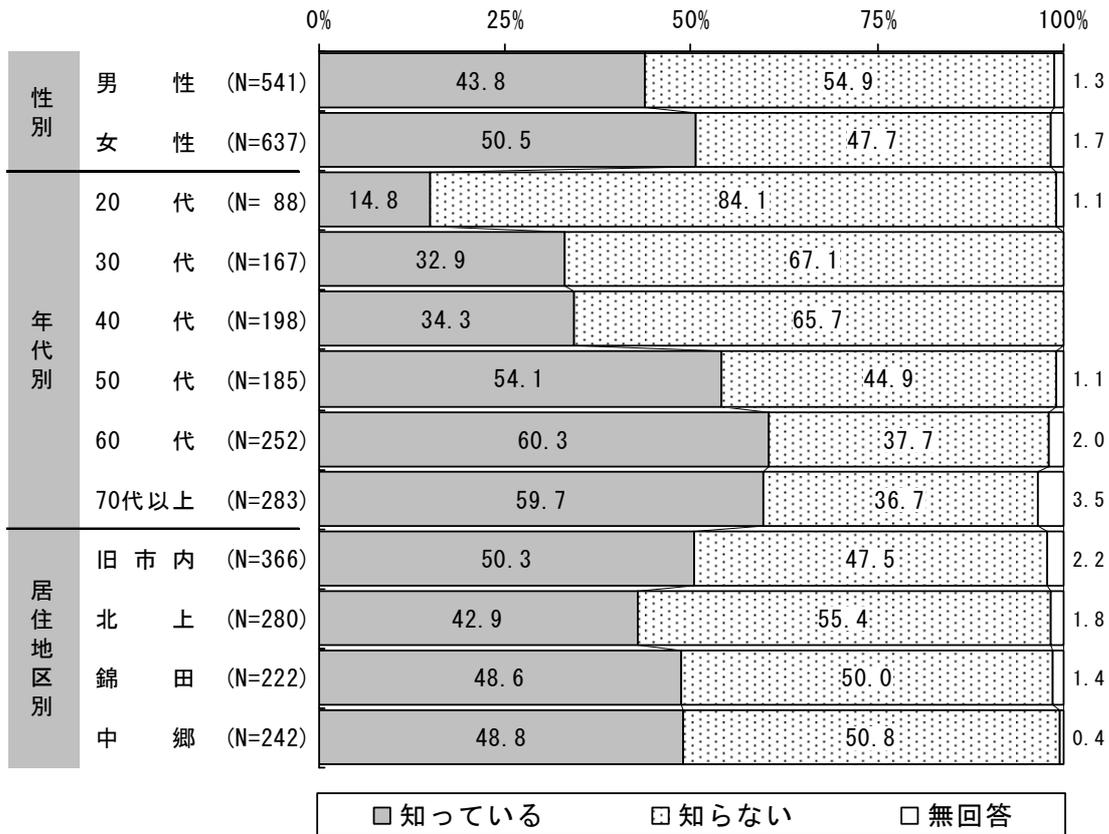
市民相談室での消費生活相談実施の認知について聞いたところ、「知らない」(51.1%)が「知っている」(47.3%)をわずかに上回っている。

#### 【時系列比較】



時系列でみると、「知っている」(47.3%)は、23年度調査(51.1%)に比べ微減傾向となっている。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「知っている」は、女性（50.5%）が、男性（43.8%）より多くなっている。

**年代別**

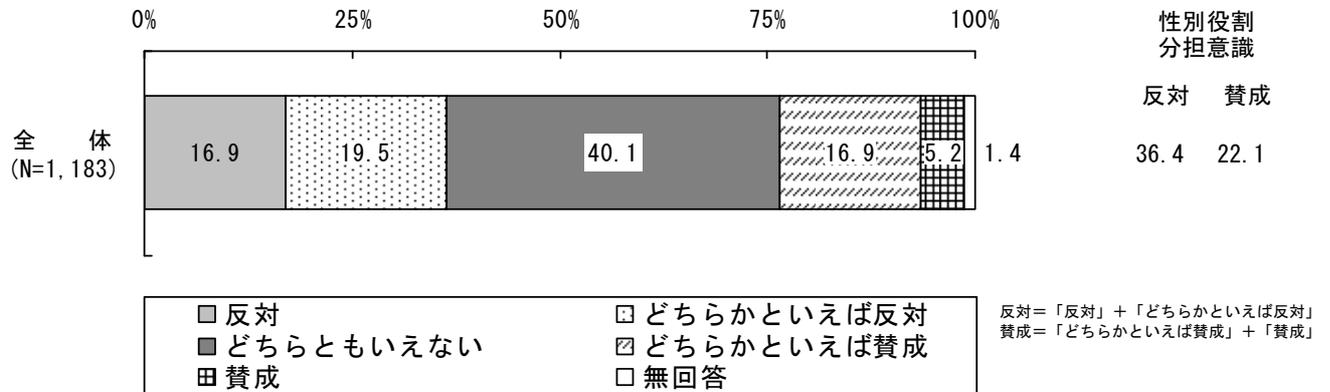
年代別でみると、「知っている」は、60代（60.3%）で最も多く、年齢が下がるにつれ、「知っている」が少なくなる傾向となり、20代（14.8%）は、1割台半ばにとどまっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「知っている」は、旧市内（50.3%）で最も多く、一方、北上（42.9%）では約4割となっている。

## 5) 性別役割分担意識の賛否度

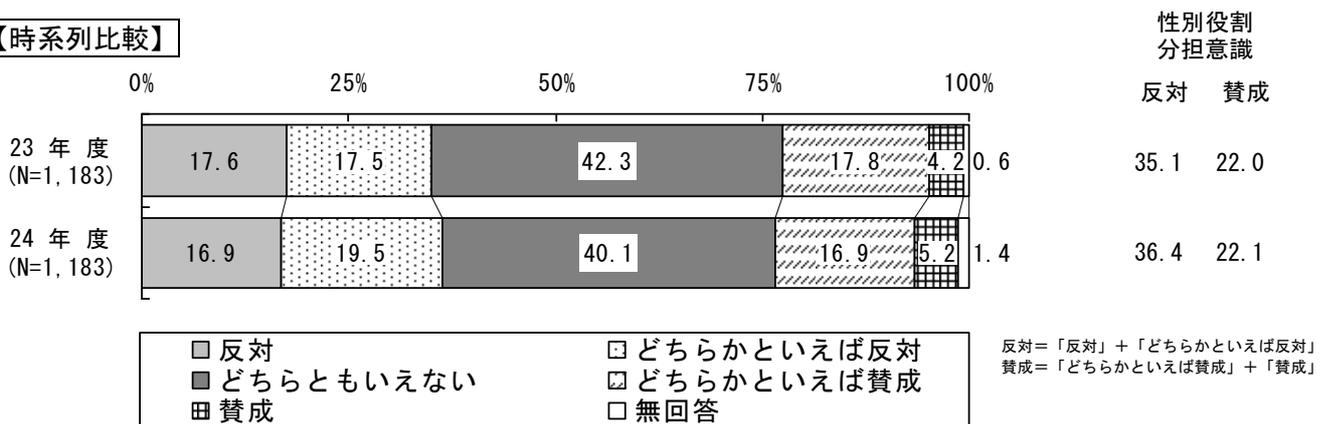
問 1 1 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方をどう思いますか。(○はひとつ)



### \*\*\* 性別役割分担意識に、“反対”は 36.4% \*\*\*

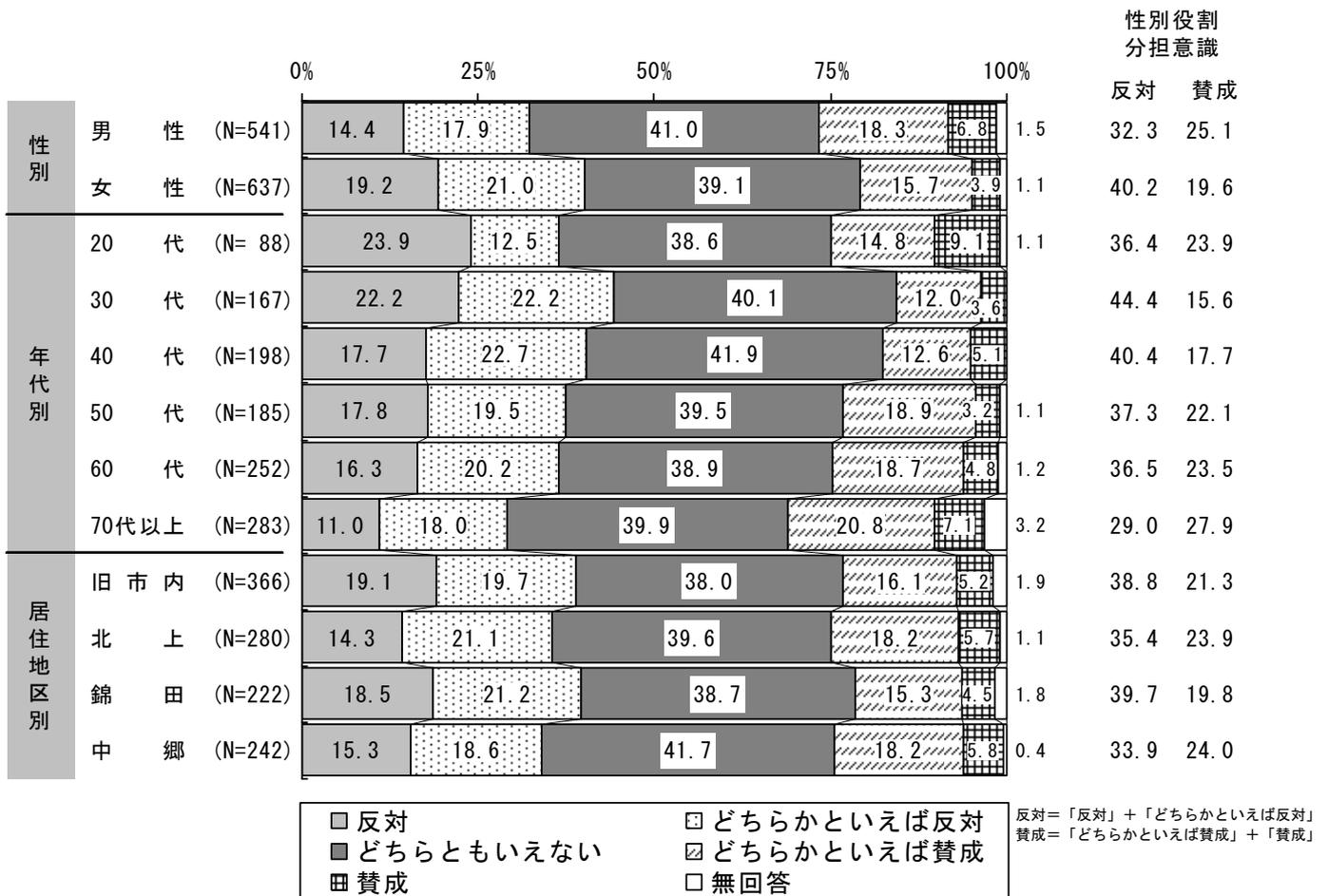
性別役割分担意識の賛否について聞いたところ、「どちらともいえない」と答えた中間派が 40.1% となっている。「どちらかといえば反対」(19.5%)、「反対」(16.9%) を合わせた“反対”は 36.4% となっており、一方、「どちらかといえば賛成」(16.9%)、「賛成」(5.2%) を合わせた“賛成”は 22.1% となっている。

#### 【時系列比較】



時系列でみると、“反対”(36.4%) は、23 年度調査 (35.1%) と同様の傾向を示し、3 割台半ばとなっている。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は、女性（40.2%）が、男性（32.3%）より多くなっている。

**年代別**

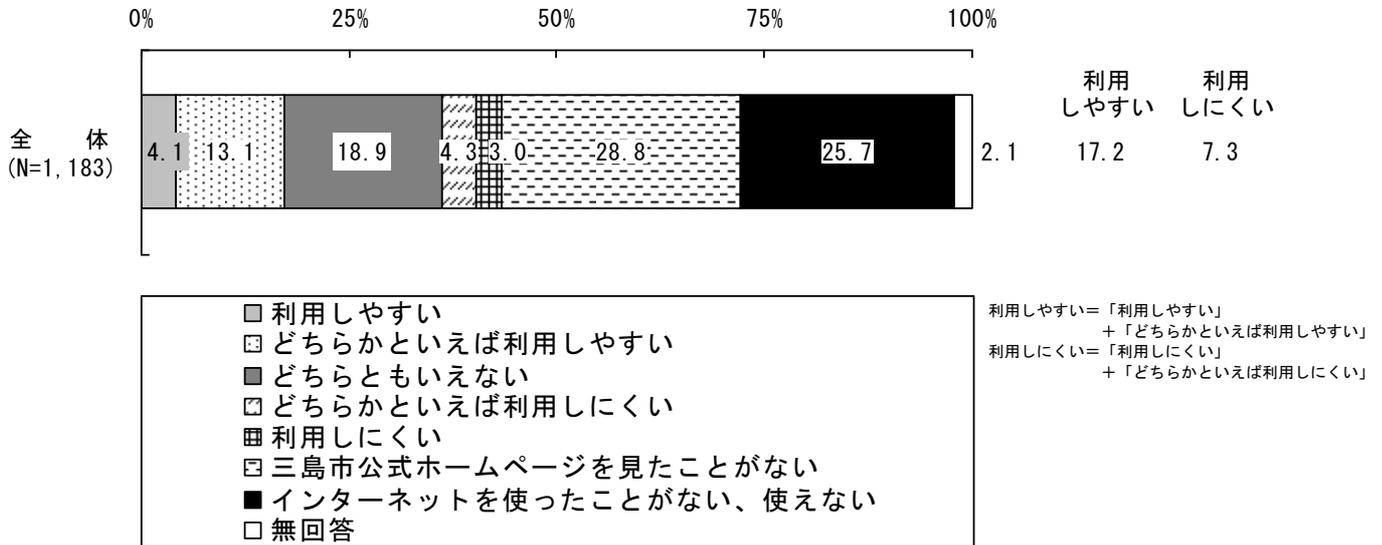
年代別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は30代（44.4%）が最も多くなっている。「反対」は年代が上がるにつれ少なくなっており、70代以上（11.0%）では1割となっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた“反対”は、錦田（39.7%）が最も多く、次いで旧市内（38.8%）となっている。

## 6) 三島市の公式ホームページの利用のしやすさ

問 1 2 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(○はひとつ)

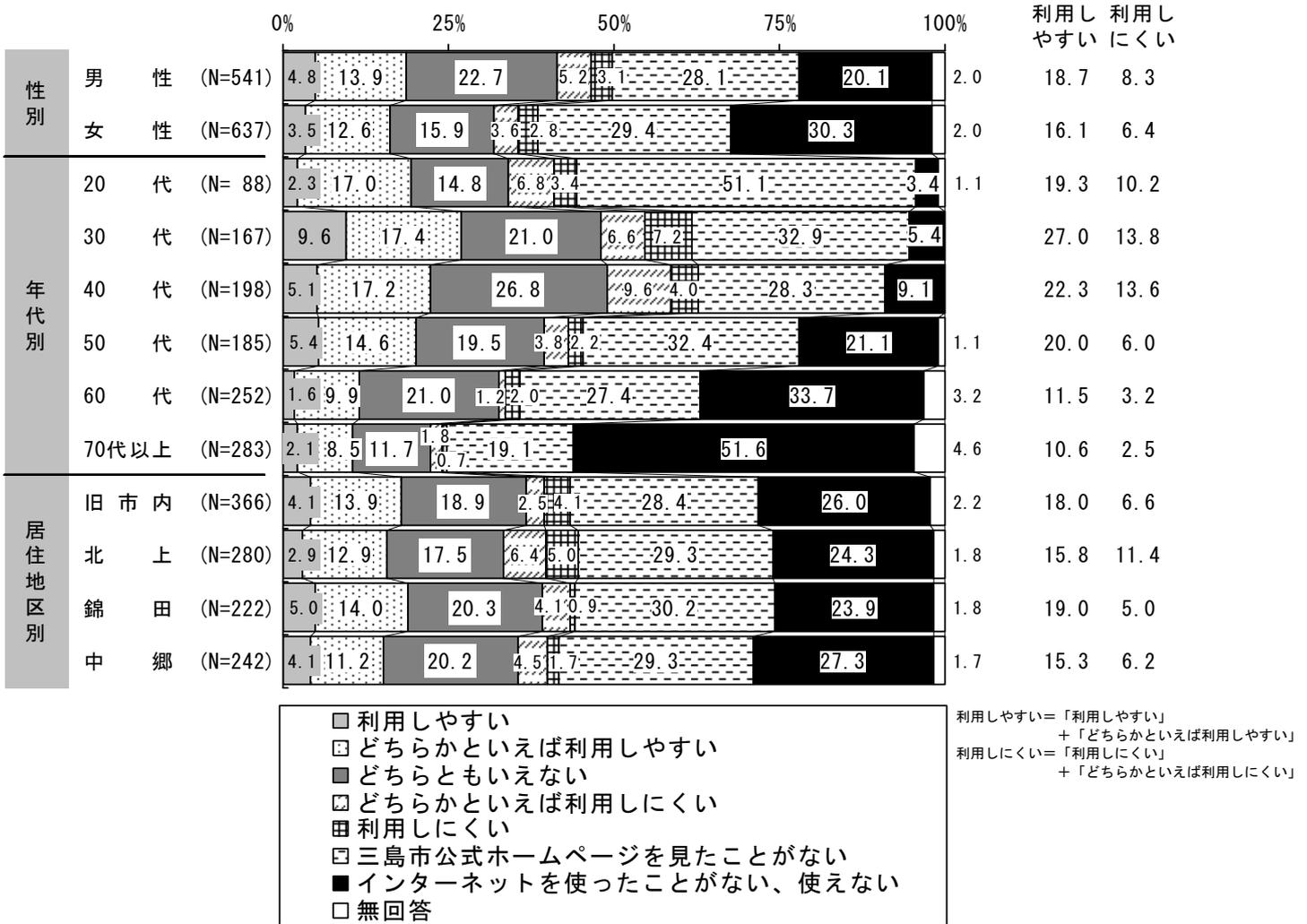


### \*\*\* 三島市の公式ホームページの“利用者”は 43.4% “利用しやすい”は 17.2% \*\*\*

三島市の公式ホームページの利用のしやすさについて聞いたところ、「利用しやすい」(4.1%)、「どちらかといえば利用しやすい」(13.1%)を合わせた“利用しやすい”は17.2%となっている。一方、「どちらかといえば利用しにくい」(4.3%)、「利用しにくい」(3.0%)を合わせた“利用しにくい”は7.3%となっている。これらを合わせた“利用者”は43.4%となっている。

また、「三島市公式ホームページを見たことがない」(28.8%)、「インターネットを使ったことがない、使えない」(25.7%)を合わせた“未利用者”は54.5%と半数を占めている。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「利用しやすい」と「どちらかといえば利用しやすい」を合わせた“利用しやすい”（男性 18.7%、女性 16.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも1割台半ばとなっている。また、「インターネットを使ったことがない、使えない」は、女性（30.3%）が、男性（20.1%）より多くなっている。

年代別

年代別でみると、「利用しやすい」と「どちらかといえば利用しやすい」を合わせた“利用しやすい”は、30代（27.0%）で最も多く、20代を除き、年代が上がるにつれ少なくなり、70代以上（10.6%）では1割にとどまっている。「三島市公式ホームページを見たことがない」は、20代（51.1%）で半数を超えている。また、「インターネットを使ったことがない、使えない」は、年代が上がるにつれて多くなっており、70代以上（51.6%）では半数を超えている。

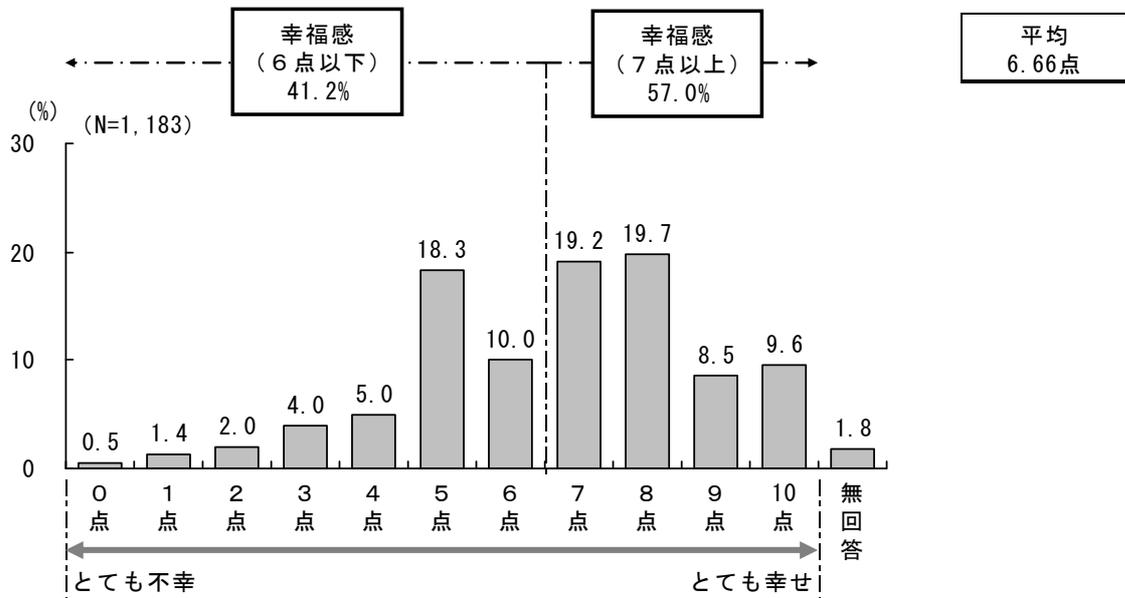
居住地区別

居住地区別でみると、「利用しやすい」と「どちらかといえば利用しやすい」を合わせた“利用しやすい”は、錦田（19.0%）が多くなっている。一方、“利用しにくい”は、北上（11.4%）が多くなっている。

## 5 『幸福度と健康づくり』について

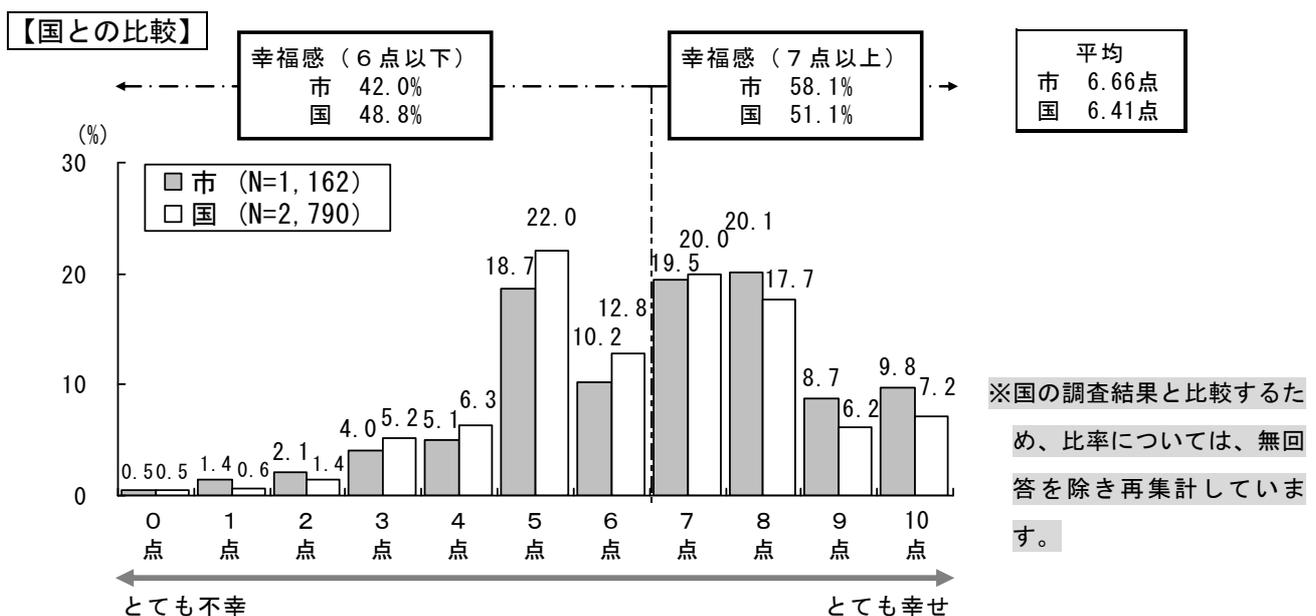
### 1) 幸福感

問13 現在あなたは、どの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点ぐらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。



\*\*\* 現在の幸福感の平均は 6.66 点、平均以上は 57.0% \*\*\*

現在の幸福感について聞いたところ、「8点」(19.7%)、「7点」(19.2%)、「5点」(18.3%)が多くなっている。平均は 6.66 点で、平均点以上の“幸福感 (7点以上)” (57.0%) は5割台半ばとなっている。



“幸福感 (7点以上)” (58.1%) は、国の調査 (51.1%) に比べ7ポイント高くなっている。

【属性別比較】

単位：(%)

単位：(%)

		調査数	0点 (とても不幸)	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答	幸福感 (6点以下)	幸福感 (7点以上)	平均
性別	男性	541	0.7	0.9	1.7	5.0	6.3	22.2	9.4	20.9	18.9	6.5	5.9	1.7	46.2	52.2	6.37点
	女性	637	0.3	1.7	2.4	3.1	3.8	15.1	10.5	17.9	20.4	10.4	12.7	1.7	36.9	61.4	6.90点
年代別	20代	88	1.1	0.0	3.4	5.7	8.0	17.0	4.5	22.7	13.6	10.2	11.4	2.3	39.7	57.9	6.57点
	30代	167	1.2	1.2	0.6	3.6	3.0	14.4	11.4	20.4	22.8	10.8	10.8	0.0	35.4	64.8	6.95点
	40代	198	0.0	2.0	4.0	5.6	5.6	13.6	11.1	20.7	19.2	9.6	8.6	0.0	41.9	58.1	6.55点
	50代	185	0.5	1.6	3.2	2.7	7.6	21.6	10.8	19.5	16.8	8.1	4.9	2.7	48.0	49.3	6.28点
	60代	252	0.4	0.8	1.6	3.2	3.2	19.4	11.5	22.6	20.2	6.7	8.7	1.6	40.1	58.2	6.71点
	70代以上	283	0.4	1.8	0.7	3.9	4.6	21.6	8.1	13.8	21.6	7.8	12.7	3.2	41.1	55.9	6.77点
居住地区別	旧市内	366	0.0	1.6	1.6	4.1	4.1	17.2	10.9	21.0	20.2	8.2	8.7	2.2	39.5	58.1	6.70点
	北上	280	0.4	0.7	1.8	2.9	2.9	16.1	7.5	20.7	24.3	11.8	9.3	1.8	32.3	66.1	7.00点
	錦田	222	0.9	0.9	1.8	3.6	4.1	21.6	9.0	16.7	20.7	6.3	12.2	2.3	41.9	55.9	6.70点
	中郷	242	0.8	0.8	2.9	4.5	7.4	19.0	12.8	18.2	14.9	8.3	9.9	0.4	48.2	51.3	6.44点

1位

2位

3位

性別

性別でみると、“幸福感（7点以上）”は、女性（61.4%）が、男性（52.2%）より多くなっている。

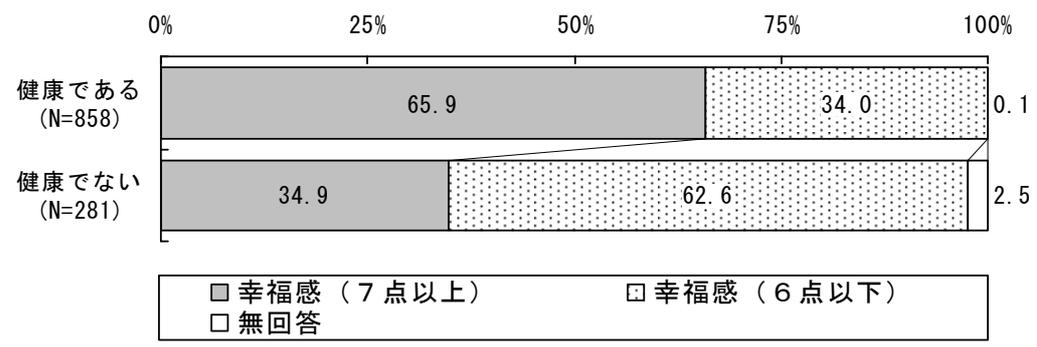
年代別

年代別でみると、“幸福感（7点以上）”は、30代（64.8%）で最も多くなっている。一方、50代（49.3%）で5割未満と少なくなっている。

居住地区別

居住地区別でみると、“幸福感（7点以上）”は、北上（66.1%）で最も多く、中郷（51.3%）は約5割と少なくなっている。

**【健康状態別の幸福感】**

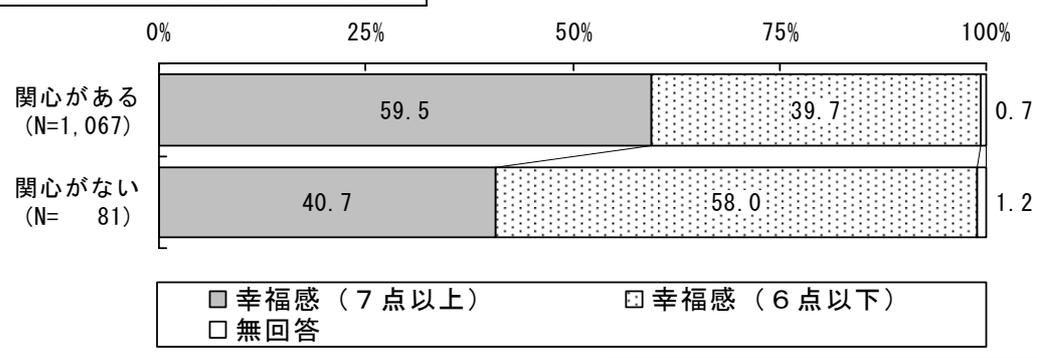


※健康状態については、p53の問15を参照。『健康である』=「健康である」+「どちらかといえば健康である」  
『健康でない』=「健康でない」+「どちらかといえば健康でない」

**健康状態別**

健康状態別の幸福感をみると、『健康である』人は“幸福感（7点以上）”（65.9%）が多くなっている。

**【健康づくりへの関心度別の幸福感】**

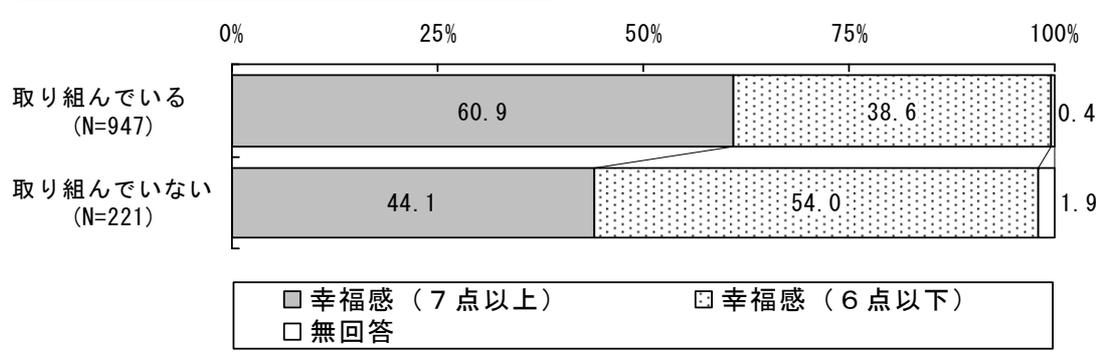


※健康づくりへの関心度については、p55の問16を参照。

**健康づくりへの関心度別**

健康づくりへの関心度別の幸福感をみると、『関心がある』人は“幸福感（7点以上）”（59.5%）が6割と多くなっている。

**【健康づくりの取り組み状況別の幸福感】**



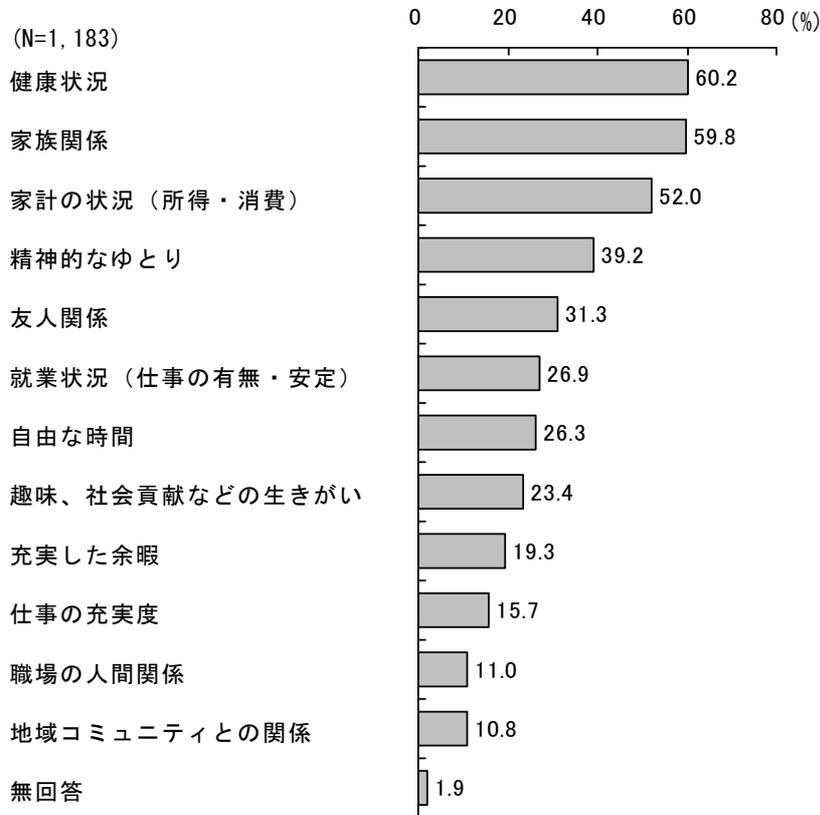
※健康づくりの取り組み状況については、p57の問17を参照。

**健康づくりへの関心度と取り組み状況別**

健康づくりの取り組み状況別の幸福感をみると、『取り組んでいる』人は“幸福感（7点以上）”（60.9%）が6割と多くなっている。

2) 幸福感を判断する際の重視事項

問14 問13で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(〇はいくつでも)

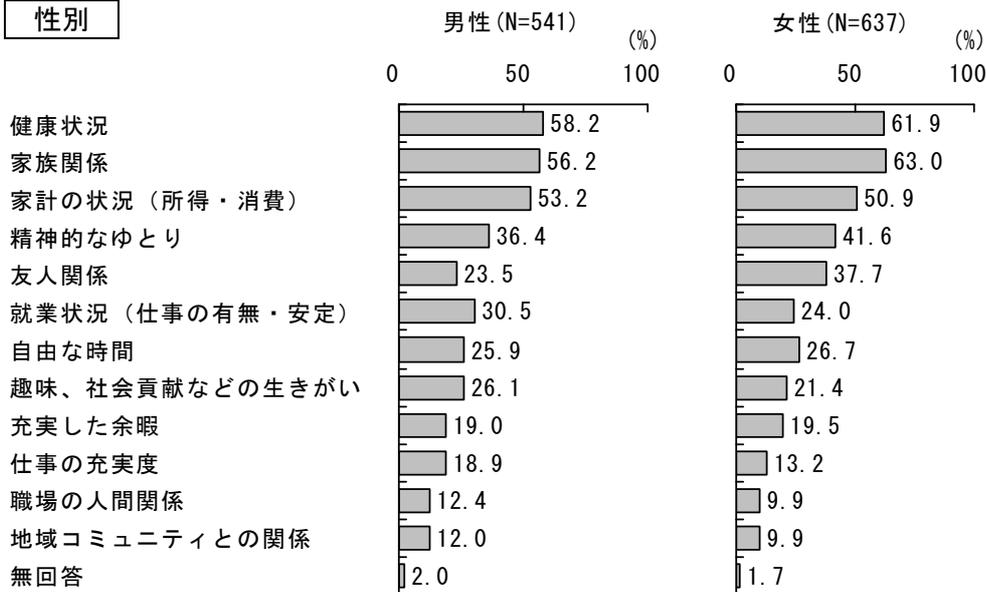


\*\*\* 幸福感を判断する際に重視した事項は「健康状況」が60.2% \*\*\*

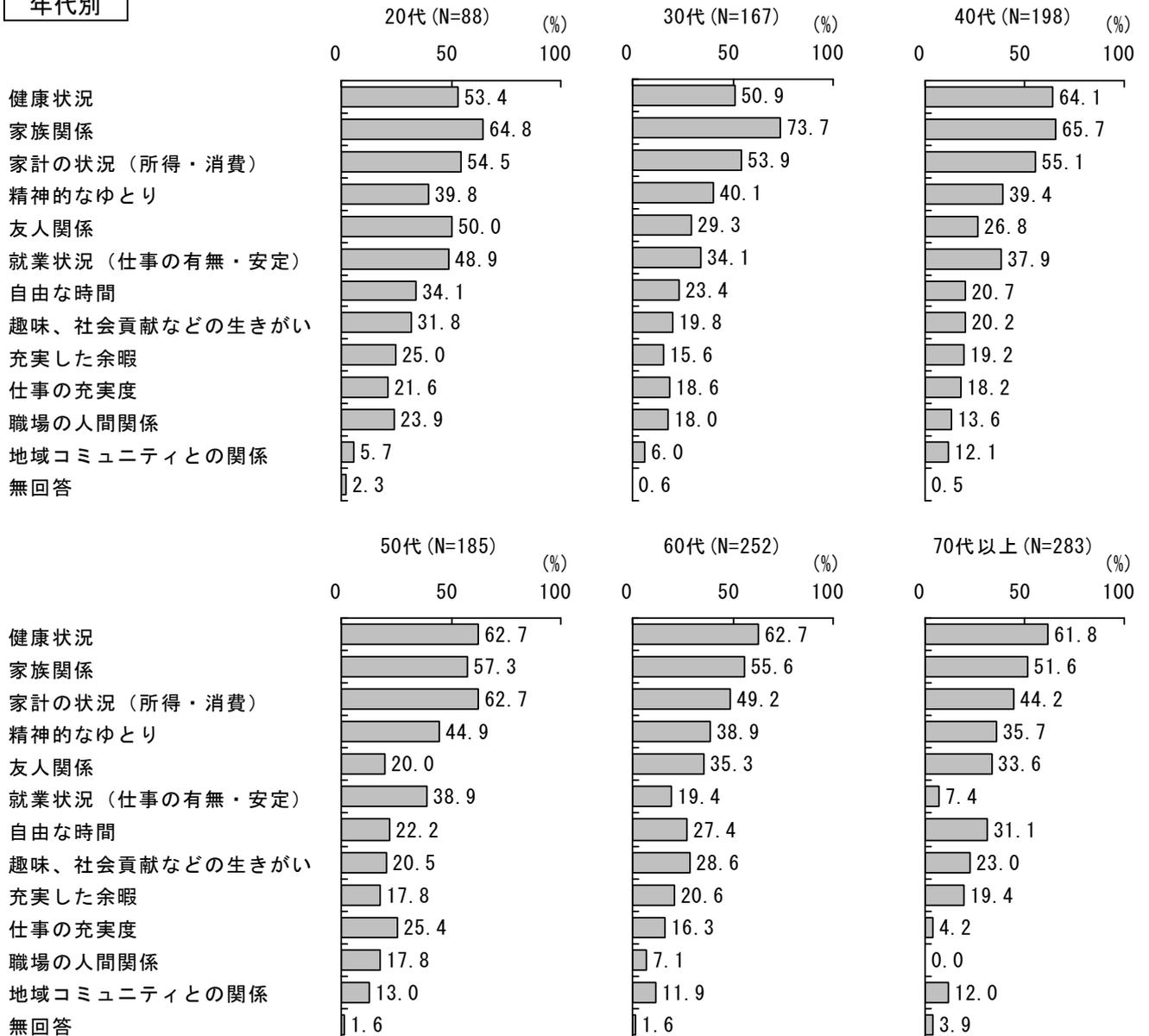
幸福感を判断する際の重視事項について聞いたところ、「健康状況」(60.2%)、「家族関係」(59.8%)、「家計の状況 (所得・消費)」(52.0%) などとなっている。

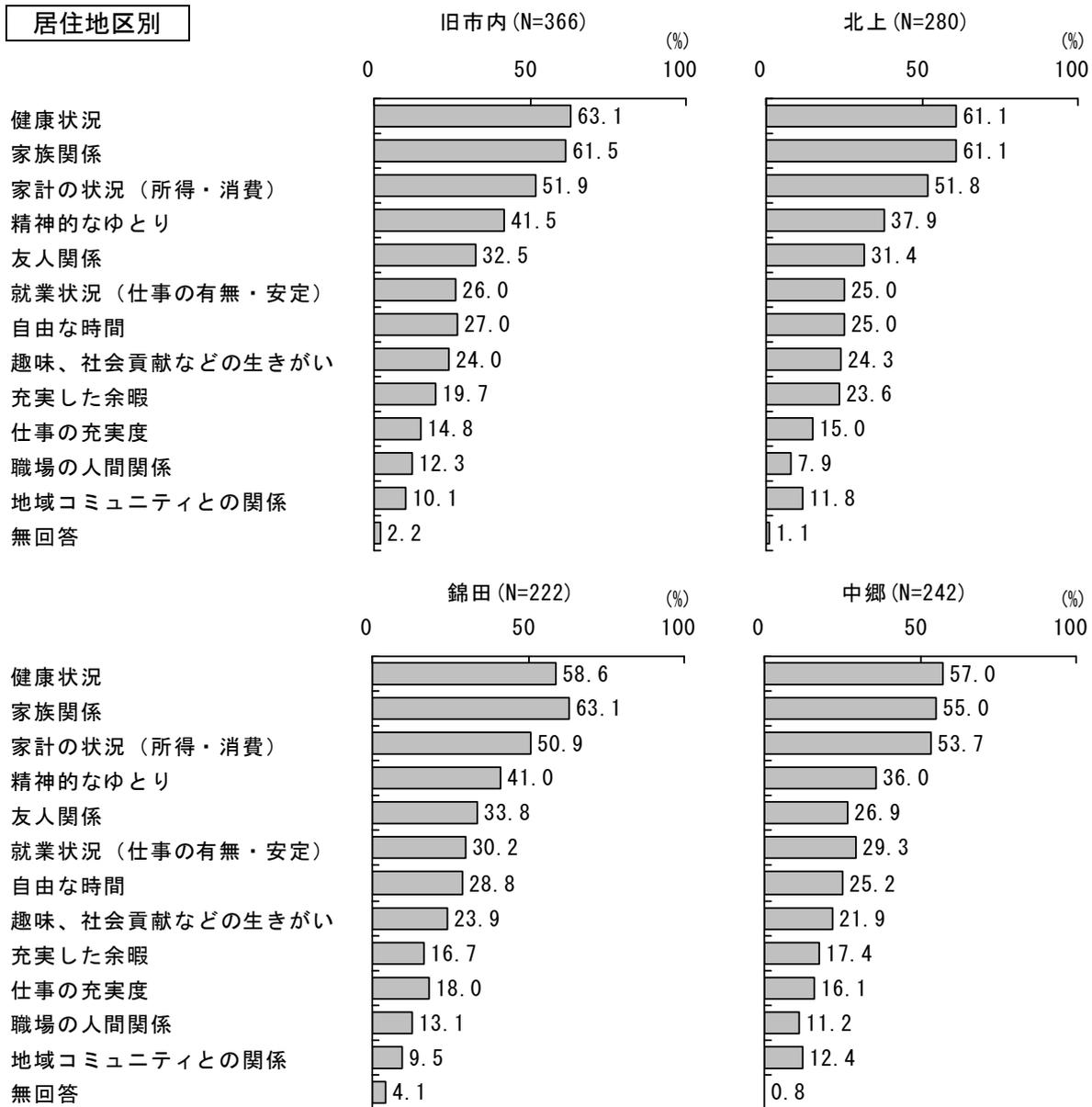
【属性別比較】

性別



年代別





**性別**

性別でみると、「友人関係」は、女性 (37.7%) が、男性 (23.5%) より多くなっている。

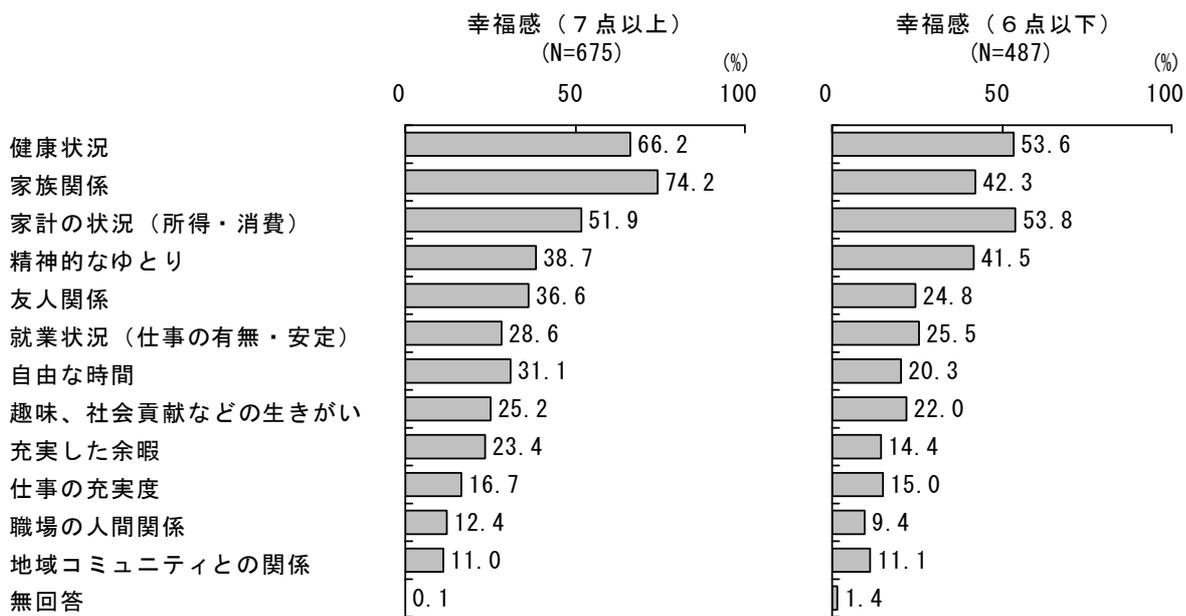
**年代別**

年代別でみると、「友人関係」は、20代 (50.0%) が多くなっており、「就業状況 (仕事の有無・安定)」 (48.9%) や「職場の人間関係」 (23.9%) でも多くなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「充実した余暇」は、北上 (23.6%) で多くなっている。また、「家族関係」は、中郷 (55.0%) で少なくなっており、「友人関係」でも同様の傾向を示している。

**【幸福感別の幸福感を判断する際の重視事項】**

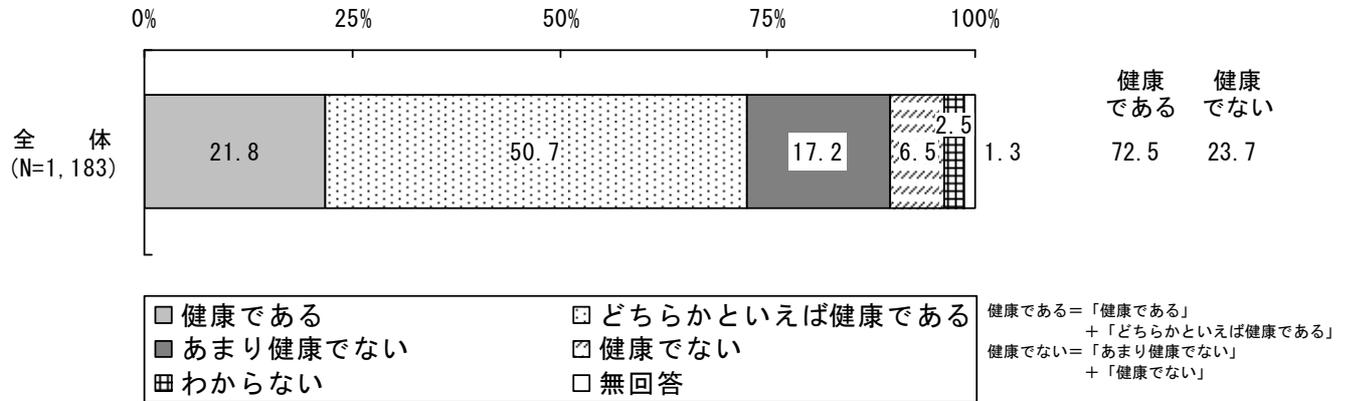


**幸福感別**

幸福感別の幸福感を判断する際の重視事項をみると、「家族関係」は“幸福 (7点以上)” (74.2%) が、“幸福 (6点以下)” (42.3%) より大幅に多くなっており、「健康状況」や「友人関係」、「自由な時間」でも同様の傾向がみられる。

3) 健康状態

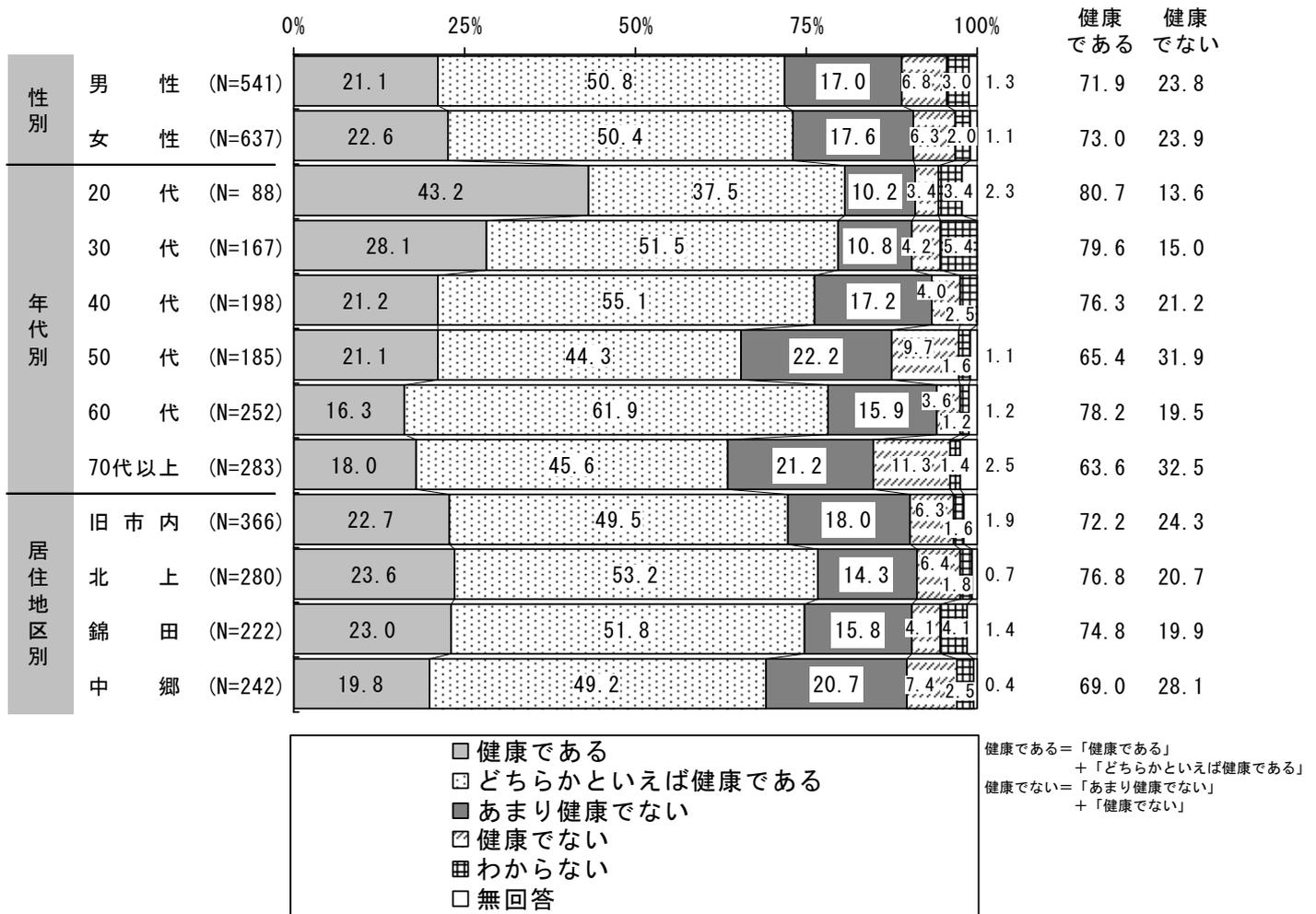
問15 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(○はひとつ)



**\*\*\* 現在健康であると感じている人は72.5% \*\*\***

健康状態について聞いたところ、「健康である」(21.8%)、「どちらかといえば健康である」(50.7%)を合わせた“健康である”は72.5%となっている。一方、「あまり健康でない」(17.2%)、「健康でない」(6.5%)を合わせた“健康でない”は23.7%となっている。

**【属性別比較】**



**性別**

性別でみると、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”（男性 71.9%、女性 73.0%）は、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割となっている。

**年代別**

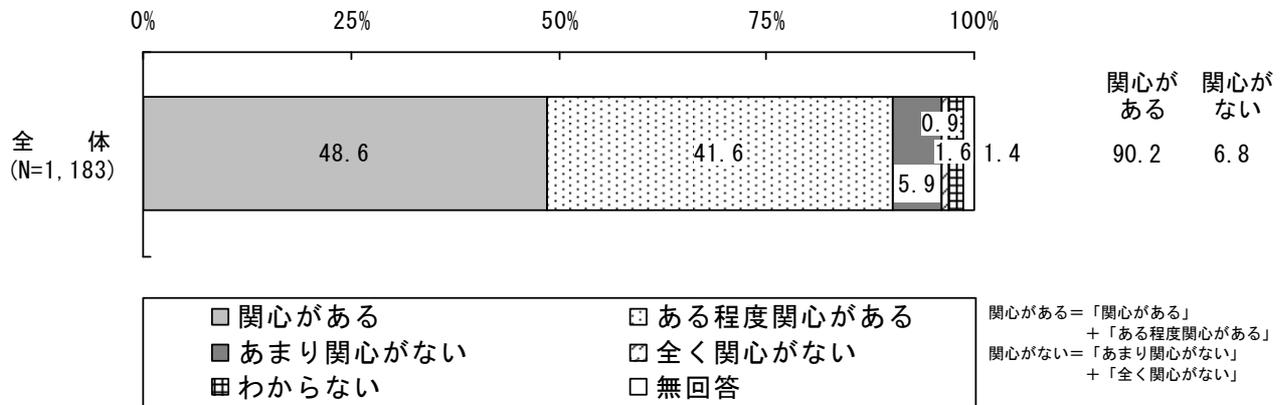
年代別でみると、「健康である」は、70代以上（18.0%）を除き、年代が上がるにつれて少なくなっている。「どちらかといえば健康である」は、60代（61.9%）で6割を超え多くなっている。また、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”は70代以上（63.6%）で少なくなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた“健康である”は、北上（76.8%）で多く、次いで「錦田」（74.8%）となっている。一方、「健康でない」は、中郷（28.1%）で最も多くなっている。

4) 健康づくりへの関心度

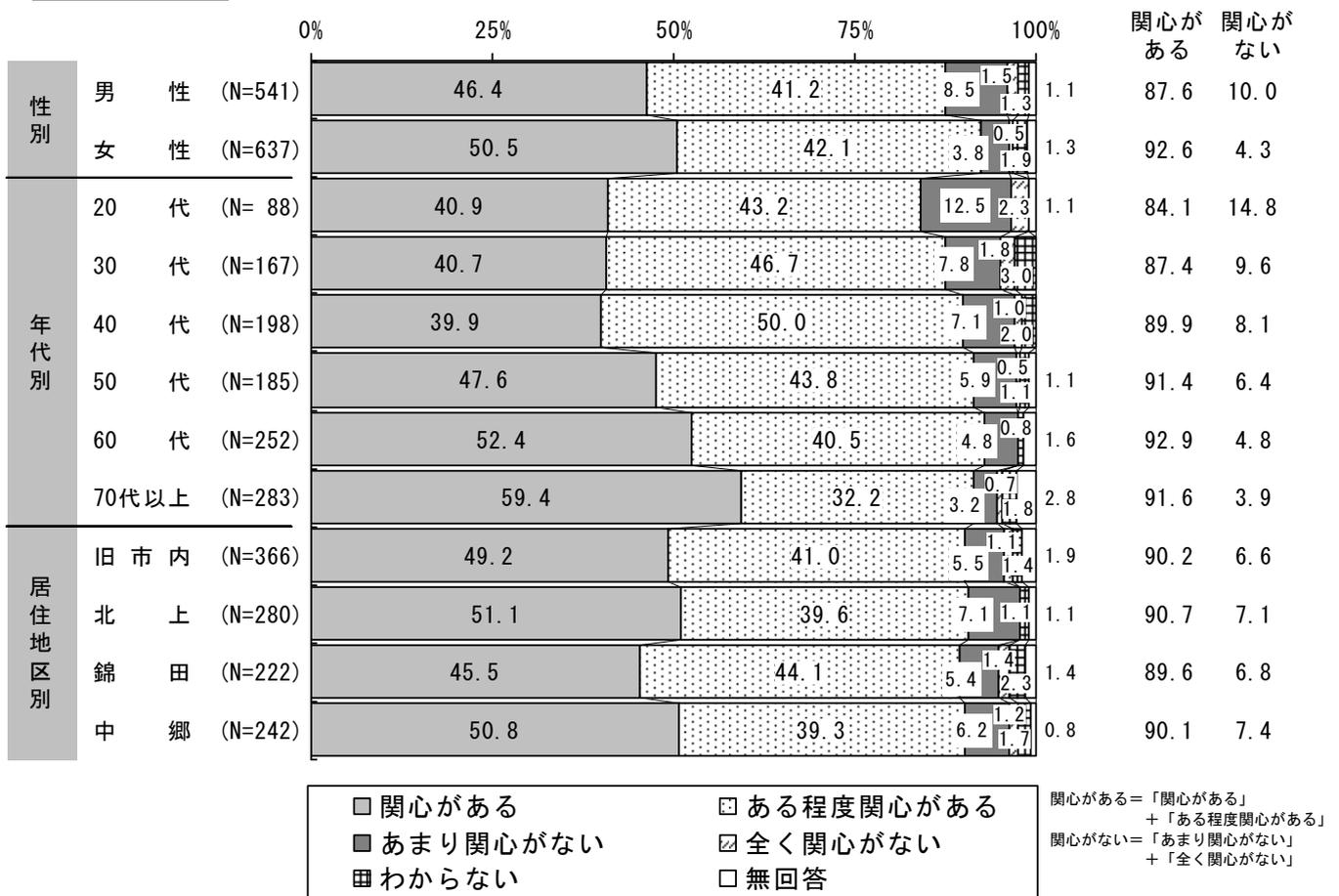
問16 あなたは、健康づくりに関心がありますか。(〇はひとつ)



\*\*\* 健康づくりに“関心がある”のは90.2% \*\*\*

健康づくりへの関心度について聞いたところ、「関心がある」(48.6%)が最も多く、「ある程度関心がある」(41.6%)を合わせた“関心がある”は90.2%となっている。一方、「あまり関心がない」(5.9%)、「全く関心がない」(0.9%)を合わせた“関心がない”は6.8%となっている。

【属性別比較】



**性別**

性別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”（男性 87.6%、女性 92.6%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性ともおよそ9割となっている。

**年代別**

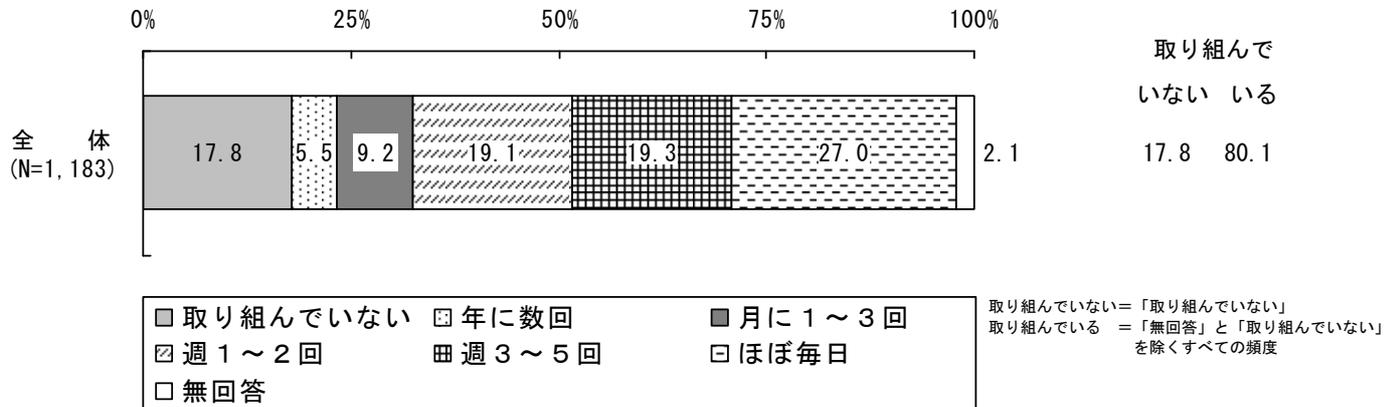
年代別でみると、「関心がある」は、70代以上（59.4%）が6割と最も多く、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”は、20代（14.8%）で1割を超え、多くなっている。

**居住地区別**

居住地区別でみると、「関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた“関心がある”は、北上（90.7%）、「旧市内」（90.2%）などとなっており、居住地区による大きな差はみられない。

5) 健康づくりの取り組み頻度

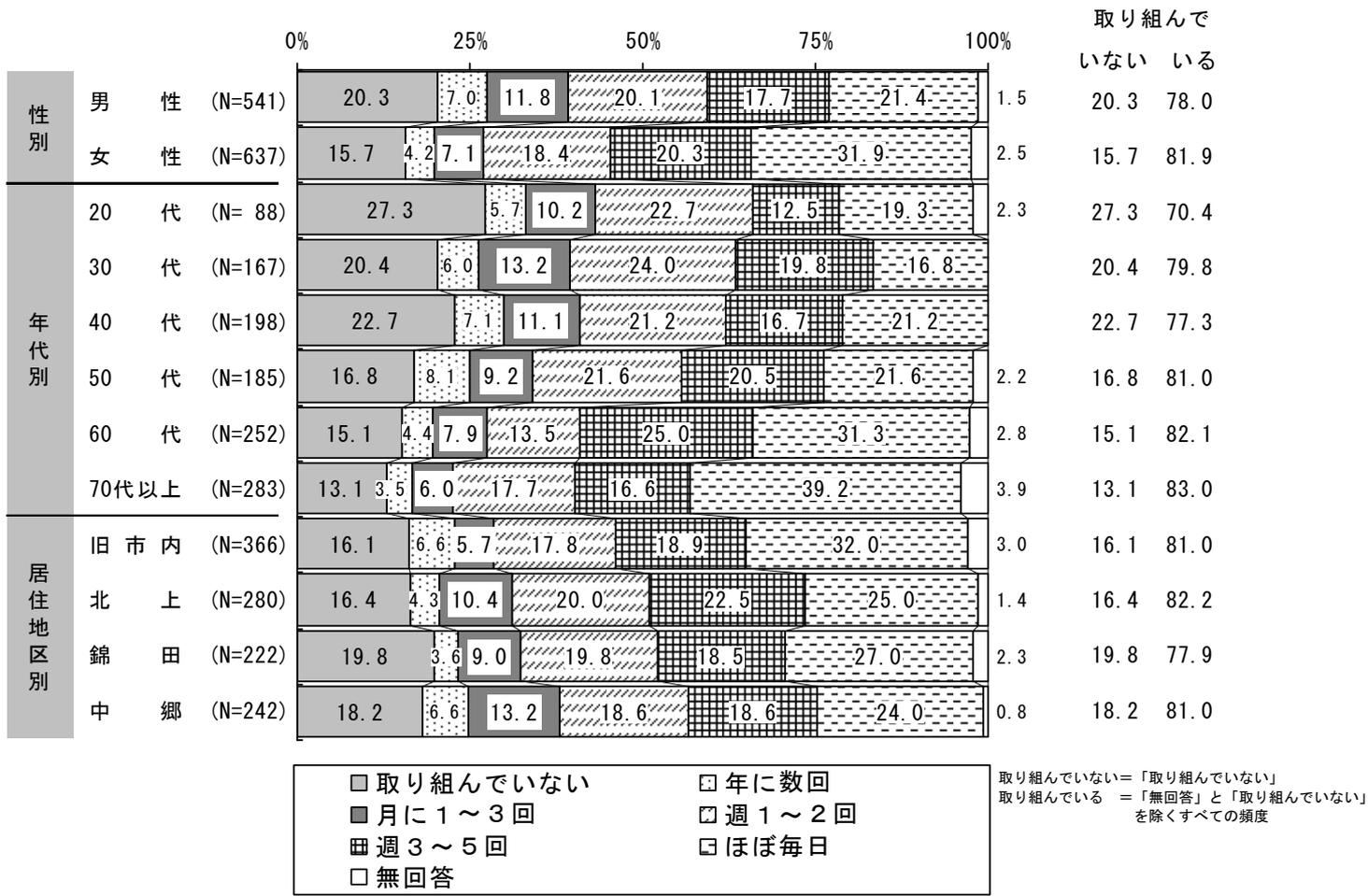
問17 あなたは、日常生活で健康の維持・増進のために意識して健康づくりに取り組んでいますか。  
 (例：バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠など) (○はひとつ)



**\*\*\* 健康づくりに“取り組んでいる”のは80.1%、うち「ほぼ毎日」が27.0% \*\*\***

健康づくりの取り組み頻度について聞いたところ、「ほぼ毎日」(27.0%)が最も多く、次いで「週3～5回」(19.3%)、「週1～2回」(19.1%)となっており、「月に1～3回」(9.2%)、「年に数回」(5.5%)を合わせた“取り組んでいる”は80.1%となっている。一方、「取り組んでいない」(17.8%)はおおよそ2割となっている。

**【属性別比較】**



**性別**

性別で見ると、「参加している」（男性 78.0%、女性 81.9%）で、男性・女性ともおよそ8割となっている。「ほぼ毎日」は、女性（31.9%）が男性（21.4%）より多くなっている。

**年代別**

年代別で見ると、「ほぼ毎日」は、70代以上（39.2%）、60代（31.3%）で多くなっている。一方、「参加していない」は20代（27.3%）が多くなっている。

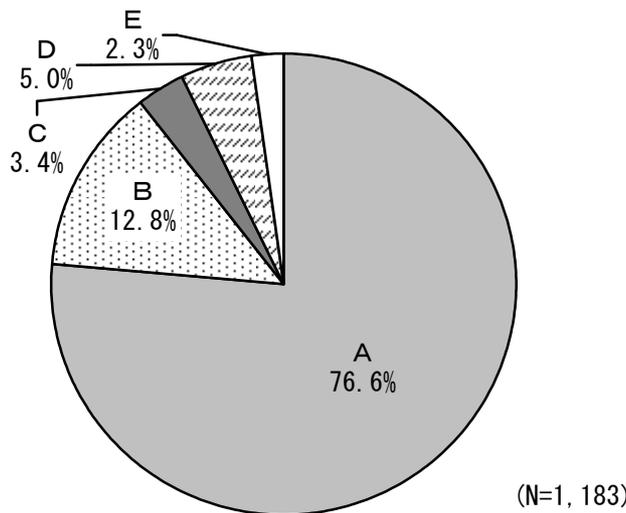
**居住地区別**

居住地区別で見ると、「参加している」は、北上（82.2%）で最も多くなっている。また、「ほぼ毎日」は、旧市内（32.0%）で3割を超え多くなっている。

【問 16 健康づくりへの関心度×問 17 健康づくりの取り組みの有無】

問 16 健康づくりへの関心の有無と、問 17 健康づくりの取り組みの有無をクロスして5つのグループを析出したのが下図である。

		問 16 健康づくりへの関心度		
		関心がある	関心がない わからない	不明
問 17 健康づくりの 取り組み状況	取り組んでいる	A	C	E
	取り組んでいない	B	D	
	不明			E



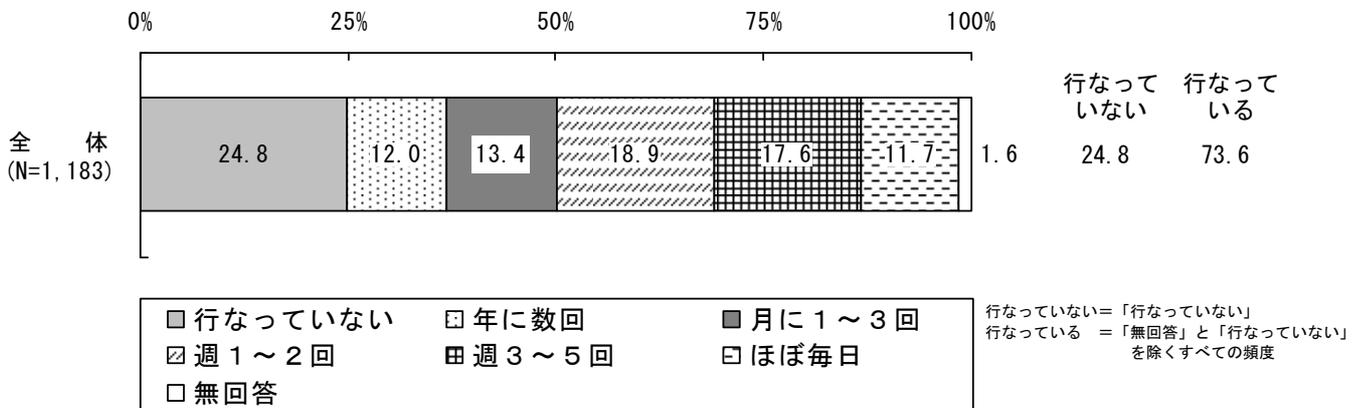
- A : 関心があり、取り組んでいる
- ▣ B : 関心はあるが、取り組んでいない
- C : 関心はないが（わからないを含む）、取り組んでいる
- ▣ D : 関心がなく（わからないを含む）、取り組んでいない
- E : 関心・取り組みのいずれか、または両方が不明

\*\*\* 健康づくりに関心があり、実際に取り組んでいるが 76.6% \*\*\*

問 16 の健康づくりへの関心度と問 17 の健康づくりの取り組みの有無を掛け合わせたところ、問 16 で“関心がある”と回答し、問 17 で“取り組んでいる”と回答した「A : 関心があり、取り組んでいる」(76.6%) が最も多く 7割半ばとなっており、次いで、「B : 関心はあるが、取り組んでいない」(12.8%) が 1割を超え多くなっている。

## 6) この1年間の運動頻度

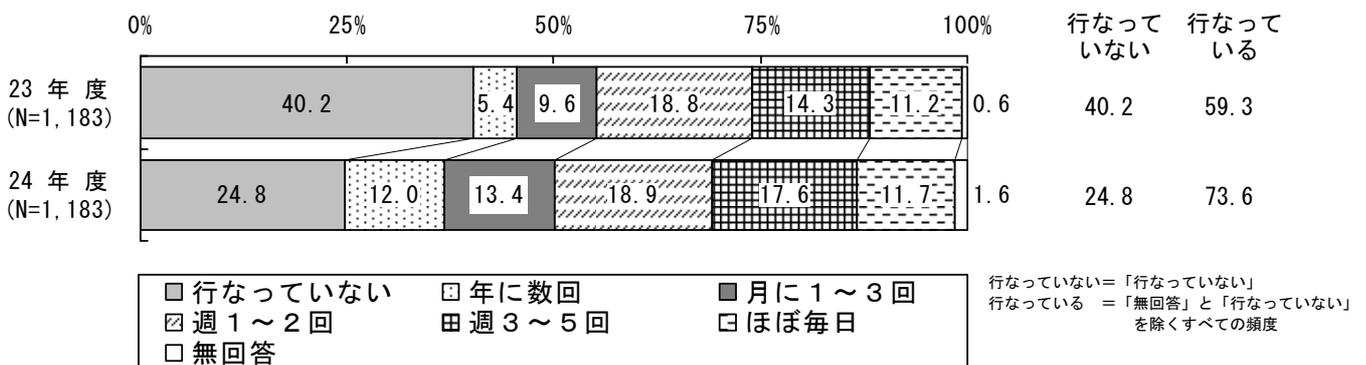
問18 あなたは、この1年で1回30分以上の運動を行なっていますか。(運動には、ジョギングやウォーキングも含まれます。)(○はひとつ)



**\*\*\* 運動を行なっている人は73.6% \*\*\***

この1年間の運動頻度について聞いたところ、行なっている場合には「週1~2回」(18.9%)、「週3~5回」(17.6%)が多く、「月に1~3回」(13.4%)、「年に数回」(12.0%)、「ほぼ毎日」(11.7%)を合わせた“行なっている”割合は73.6%となっている。一方、「行なっていない」(24.8%)は、4人に1人の割合となっている。

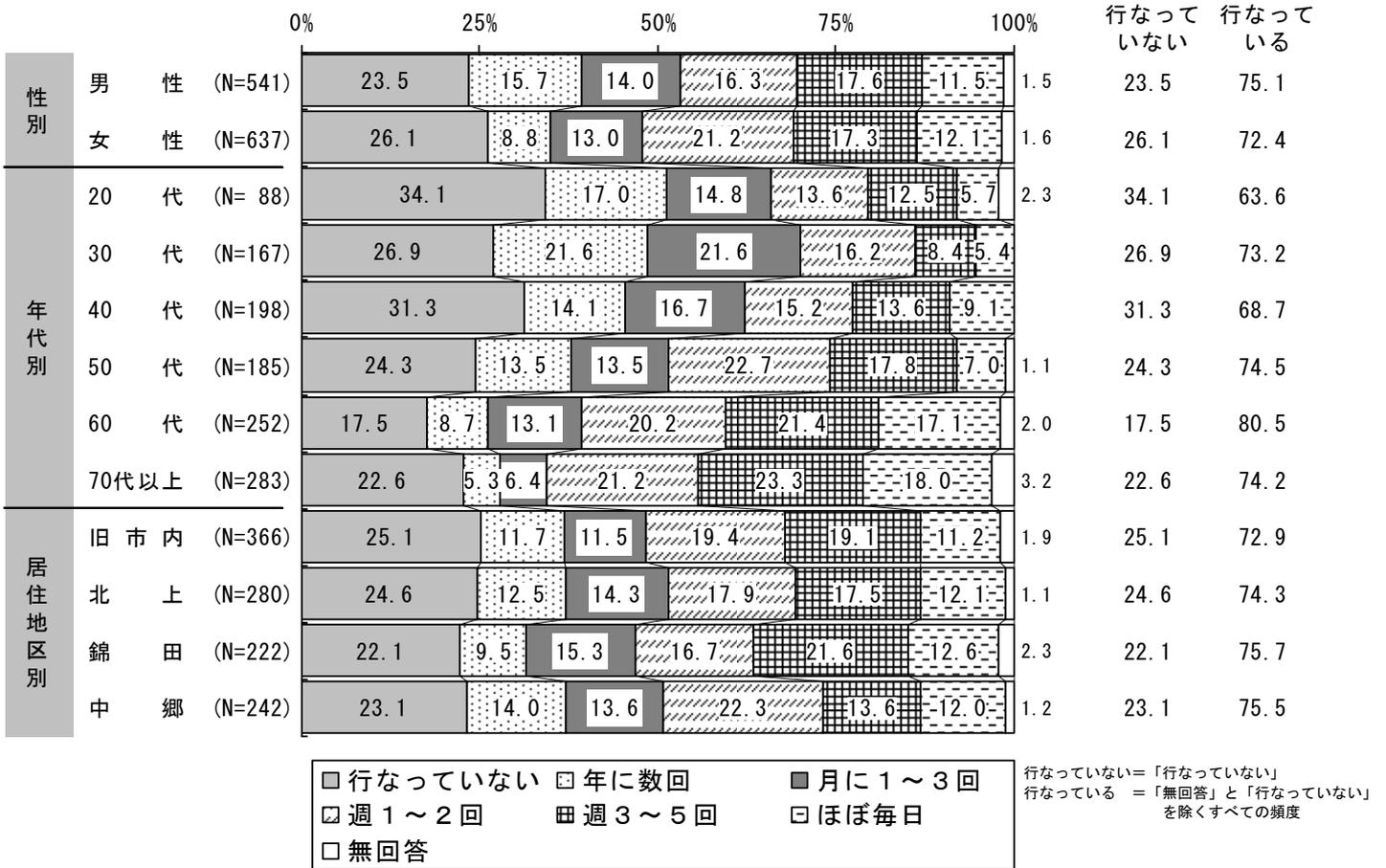
### 【時系列比較】



※23年度は「あなたは、1回30分以上の運動を行なっていますか。」という設問文章で調査を行なった。

時系列で見ると、“行なっている”(73.6%)は、23年度調査(59.3%)に比べ増加し、7割台半ばとなっている。但し、23年度は「この1年で」という期間を定める文言がなかったため、このような結果となっている可能性がある。

【属性別比較】



性別

性別でみると、「行っている」（男性 75.1%、女性 72.4%）は、男性・女性とも7割台となっている。「週1~2回」は、女性（21.2%）が男性（16.3%）より多くなっている。また、「年に数回」は男性（15.7%）が女性（8.8%）より多くなっている。

年代別

年代別でみると、「行っている」は60代（80.5%）で8割を超え多く、一方、20代（63.6%）は少なくなっている。「ほぼ毎日」は70代以上（18.0%）、60代（17.1%）で多くなっている。また、「行っていない」は、20代（34.1%）、40代（31.3%）で3割を超え多くなっている。

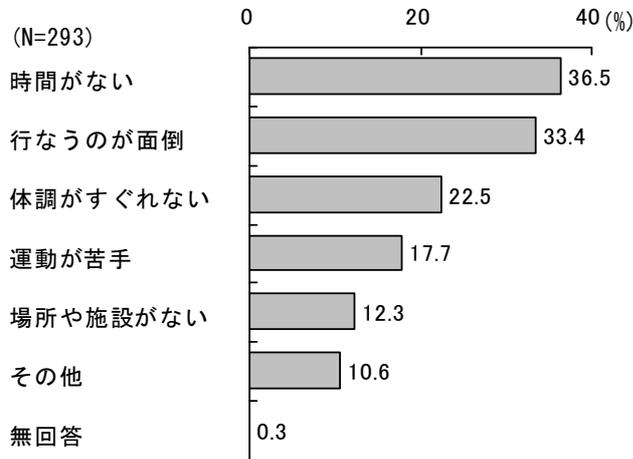
居住地区別

居住地区別でみると、「行っている」は、錦田（75.7%）、中郷（75.5%）となっている。「週1~2回」は中郷（22.3%）で2割を超え多くなっている。

## 7) 運動を行わない理由

※問18で、「行っていない」と回答された方にお伺いします。

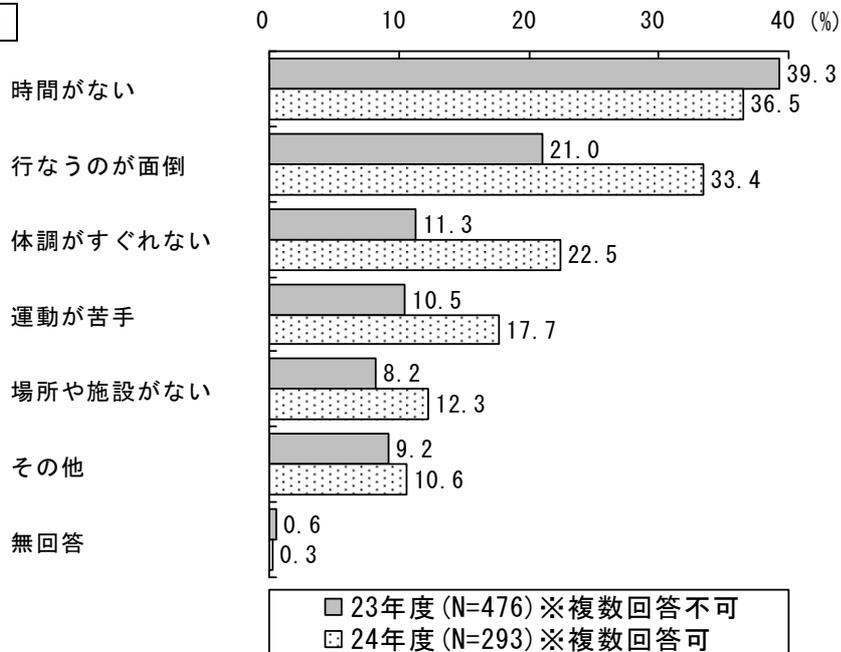
問18-1 運動を行わない理由はなんですか。(〇はあてはまるものすべて)



\*\*\* 運動を行わない理由は「時間がない」が36.5% \*\*\*

この1年間で運動を行なわなかったと回答した人に、運動を行わない理由について聞いたところ、「時間がない」(36.5%)が最も多く、次いで「行なうのが面倒」(33.4%)、「体調がすぐれない」(22.5%)などとなっている。

### 【時系列比較】

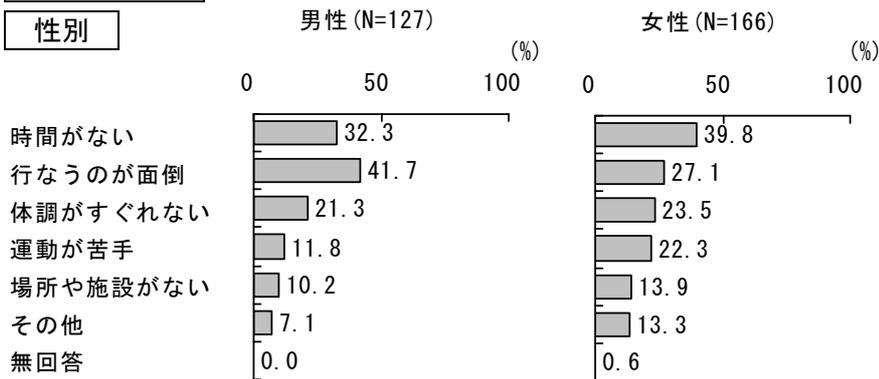


※23年度は複数回答不可で回答いただいた。

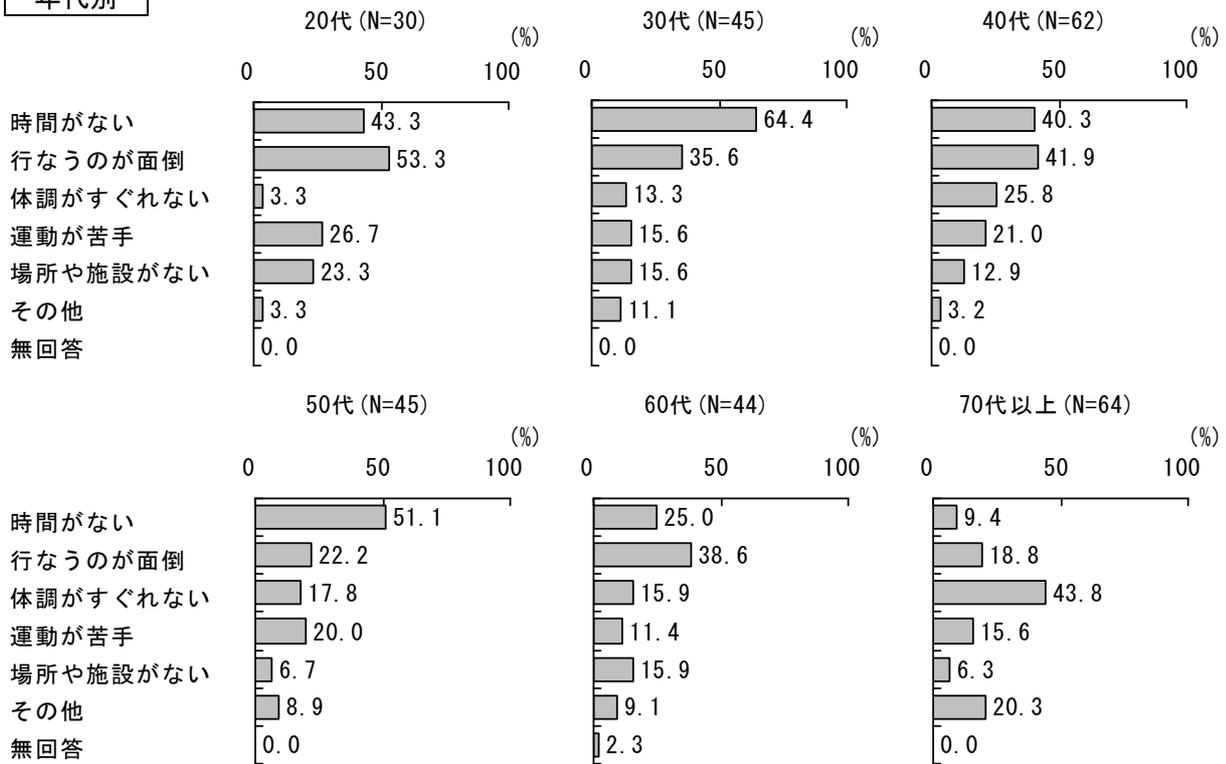
時系列で見ると、「時間がない」(39.3%)を除くすべての項目で23年度調査より増加している。但し、23年度は複数回答不可での回答であったため、このような結果となっている可能性がある。

【属性別比較】

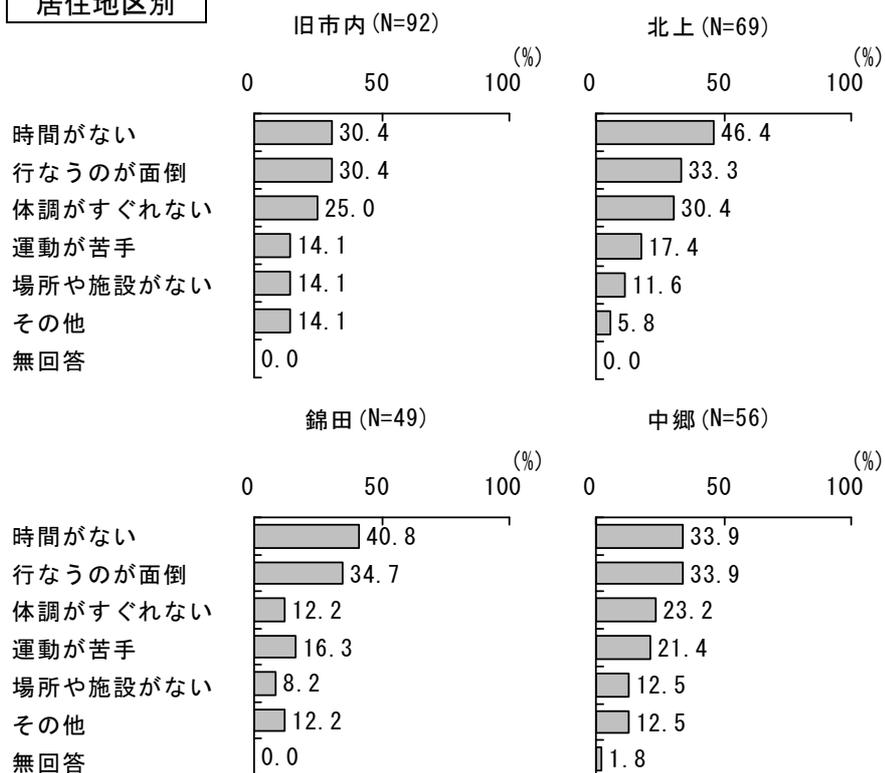
性別



年代別



## 居住地区別



## 性別

性別でみると、「行なうのが面倒」は、男性（41.7%）が、女性（27.1%）より大幅に多くなっている。また、「運動が苦手」は、女性（22.3%）が、男性（11.8%）より多くなっている。

## 年代別

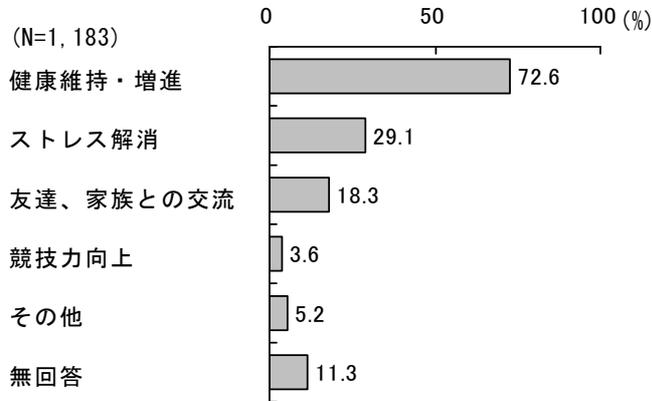
年代別でみると、「時間がない」は、20代から50代にかけて多くなっている。「行なうのが面倒」は、20代（53.3%）で半数を超え多くなっている。「体調がすぐれない」は、70代以上（43.8%）で4割を超え、多くなっている。

## 居住地区別

居住地区別でみると、「時間がない」は、北上（46.4%）、錦田（40.8%）で4割と多くなっている。また、「体調がすぐれない」は、錦田（12.2%）で1割と少なくなっている。

8) 運動を行なう理由

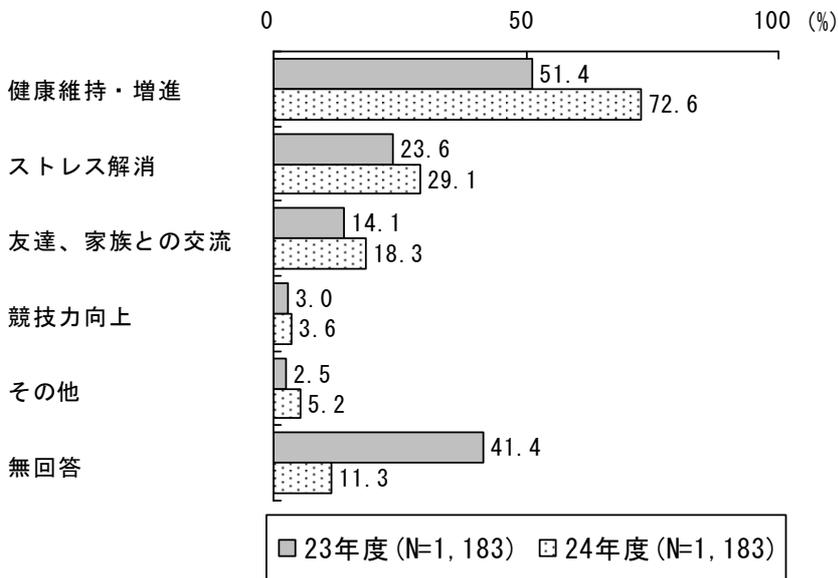
問19 あなたが運動を行なう理由はなんですか。(〇はあてはまるものすべて)



\*\*\* 運動を行なう理由は「健康維持・増進」が72.6% \*\*\*

運動を行なう理由について聞いたところ、「健康維持・増進」(72.6%)が最も多く7割を超えている。次いで「ストレス解消」(29.1%)、「友達、家族との交流」(18.3%)となっている。

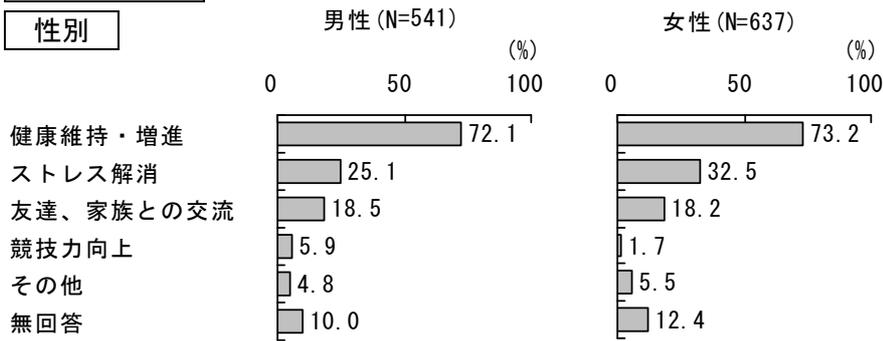
【時系列比較】



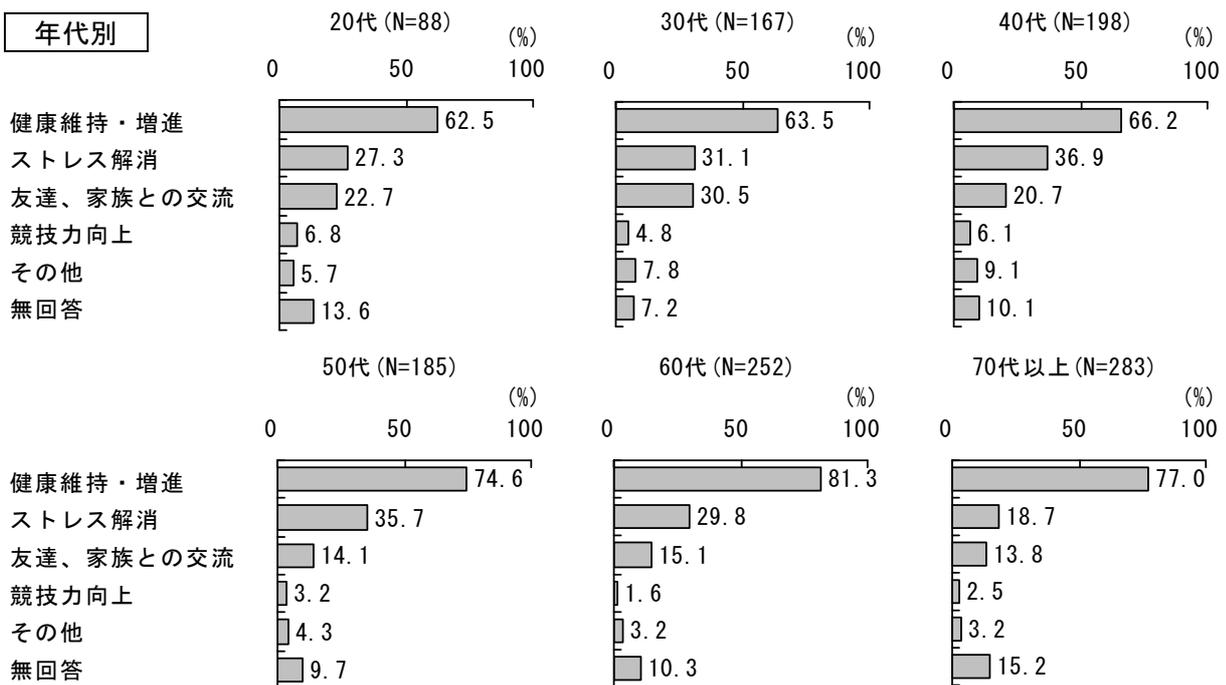
時系列で見ると、すべての項目で23年度調査より増加している。「健康維持・増進」(72.6%)は23年度調査(51.4%)に比べ大幅に増加し7割を超えている。

【属性別比較】

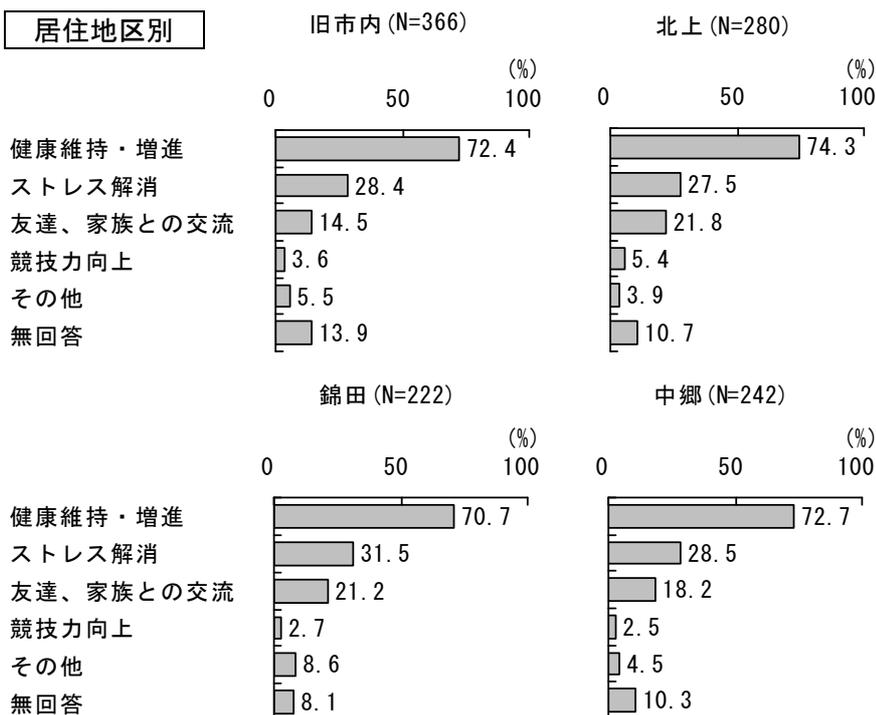
性別



年代別



居住地区別



### 性別

性別でみると、「ストレス解消」は、女性（32.5%）が、男性（25.1%）より多くなっている。

### 年代別

年代別でみると、「健康維持・増進」は、50代以上で7割を超え、多くなっている。また、「友達、家族との交流」は、30代（30.5%）で3割と多くなっている。

### 居住地区別

居住地区別でみると、「友達、家族との交流」は、旧市内（14.5%）で少なくなっている。